

cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第84図18・19のとおりである。

第168号土坑 (第83図)

J-15グリッドに位置し、第21号溝跡と重複する。平面は長径459cm、短径162cmの大型で、長軸方向はN-60°-Eである。深さは84cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第169号土坑 (第83図)

H-14グリッドに位置し、第199号溝跡と重複している。平面は長径105cm、短径84cmの楕円形で、長軸方向はN-77°-Eである。深さは15cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第84図20~28のとおりである。

第170号土坑 欠番

第171号土坑 (第83図)

J-14・15グリッドに位置し、第201・217号溝跡と重複している。平面は長径291cm、短径243cmのいびつな長方形で、長軸方向はN-22°-Wである。深さは69cmと深く、壁面は斜めに立ち上がる。

出土遺物は非常に多く、図示できたものは第85・86図1~69のとおりである。1は灰軸陶器塚の転用碗、2の灰軸陶器塚は完形である。主体となるのは、底部糸切痕のある須恵器杯(4~21)と、須恵器高台付塚(22~45)である。他に鉢(61)、羽釜(62)、碗形萍(69)、粗製の土師器甕(65)等もある。

第172号土坑 (第83図)

H-I-16グリッドに位置し、第233号溝跡と重複している。平面は長径198cm、短径120cm以上、長軸方向はN-15°-Wである。深さは25cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図1~3のとおりである。

第173号土坑 (第83図)

I-16グリッドに位置し、第63号住居跡と重複している。土坑のほうが新しい時期である。平面は長径180cm、短径129cmのいびつな楕円形、長軸方向はN-35°-Wである。深さは33cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図4~7のとおりである。

第174号土坑 (第83図)

I-15グリッドに位置し、第199号溝跡と重複している。平面は長径129cm、短径72cm、長軸方向はN-34°-Wである。深さは30cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第175号土坑 (第88図)

J-K-9グリッドに位置する。平面は長径168cm、短径108cmの楕円形で、長軸方向はN-0°である。深さは12cmと浅い。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図8・9のとおりである。

第176号土坑 (第88図)

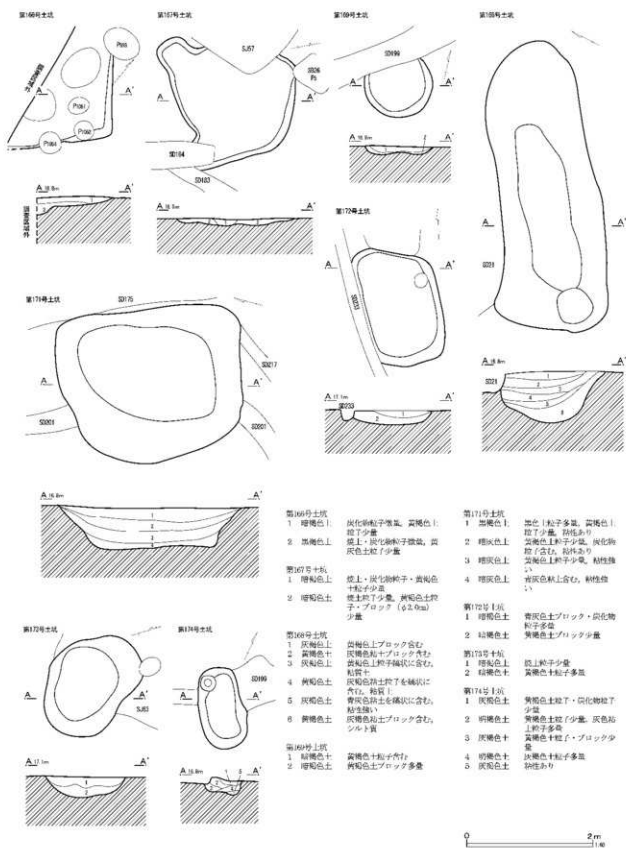
J-15グリッドに位置し、第202号溝跡と重複している。平面は長径204cm、短径84cmの楕円形で、長軸方向はN-0°である。深さは24cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図10~15のとおりである。14は外面をヘラケズリ調整しており、油煙が付着している。

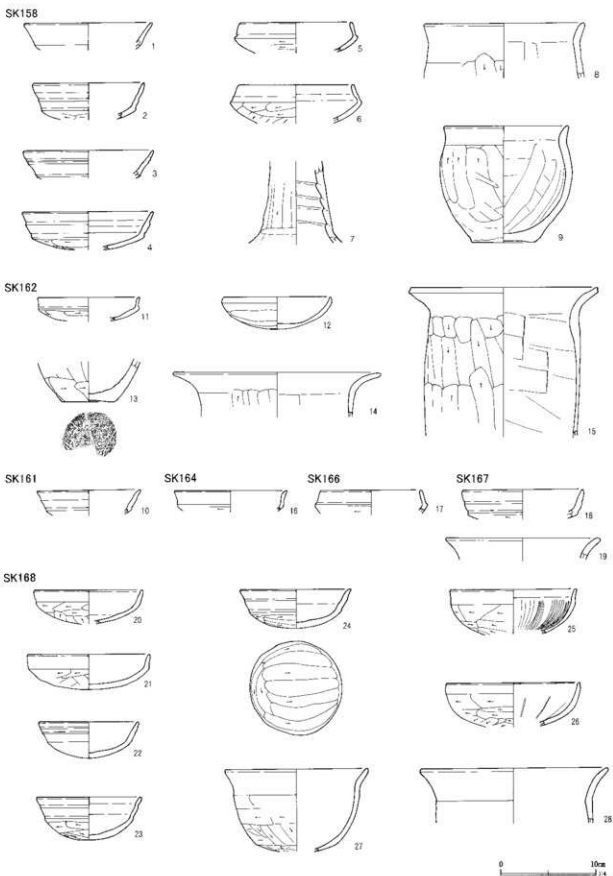
第177号土坑 (第88図)

I-16グリッドに位置する。第222号溝跡と重複するが、土坑の方が新しい。平面は長径189cm、短径129cmのいびつな楕円形で、長軸方向はN-27°-Eである。深さは54cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図16~18のとおりである。

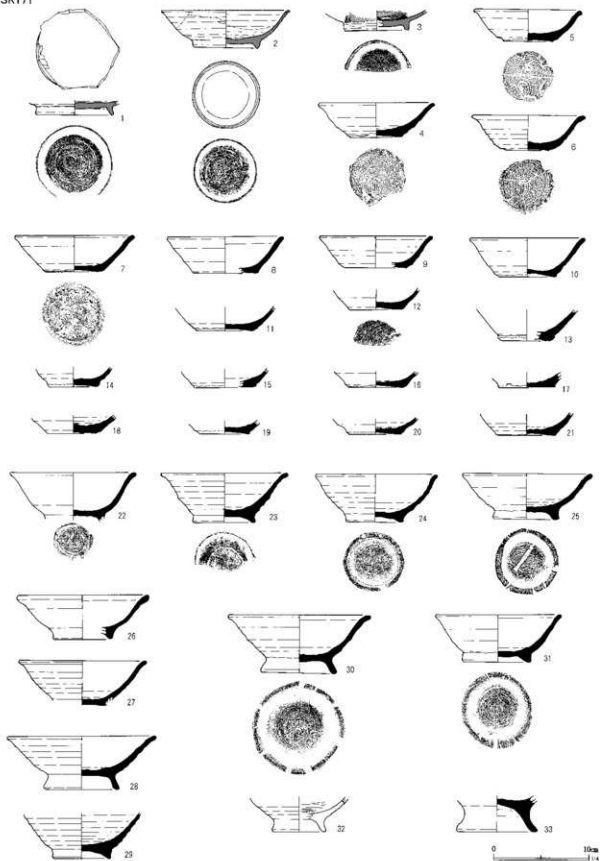


第83図 土坑 (2)



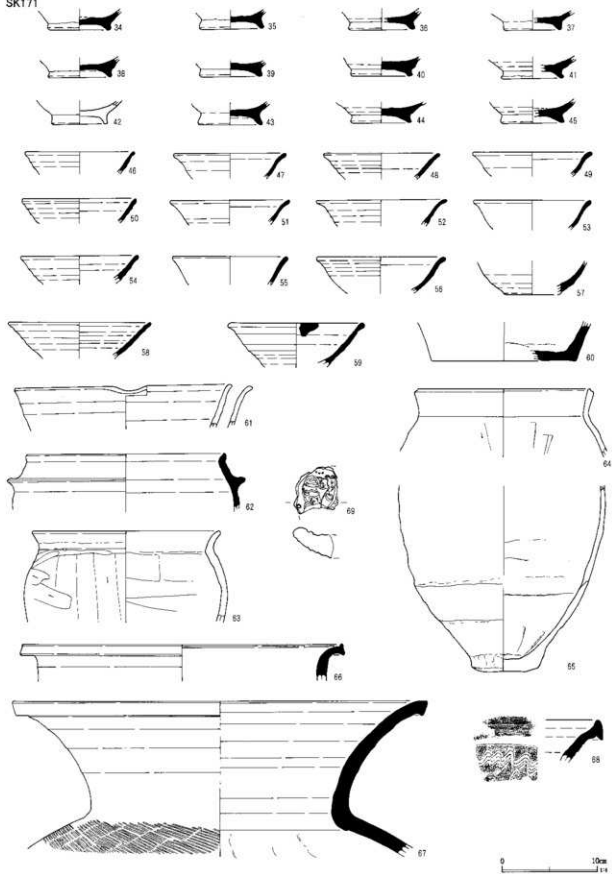
第84图 土坑出土遗物 (1)

SK171

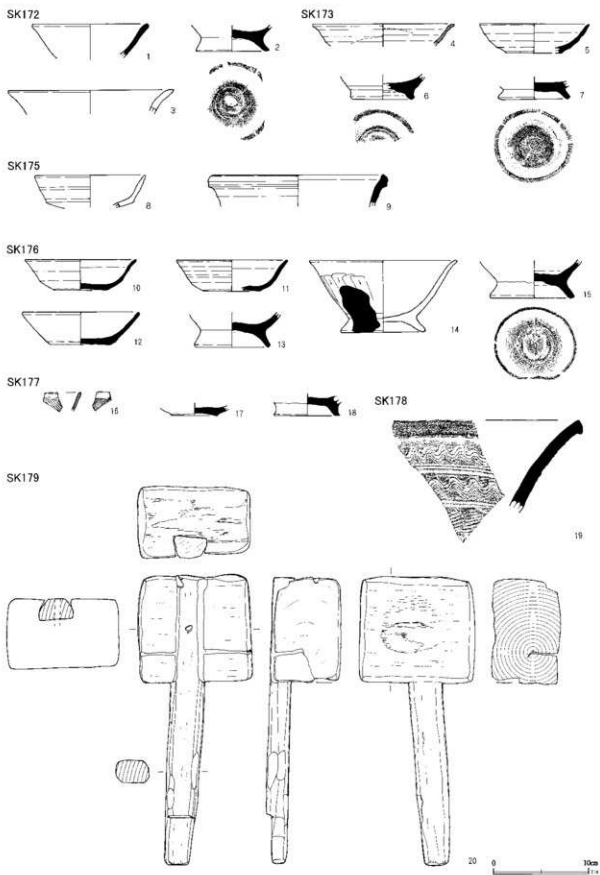


第85図 土坑出土遺物 (2)

SK171



第86图 土坑出土遗物 (3)



第87図 土坑出土遺物 (4)

第178号土坑 (第88図)

J・K-13グリッドに位置する。平面は長径204cm、短径177cmの隅丸長方形で、長軸方向はN-55°-Wである。深さは45cmである。

出土遺物は少なく、図示できたものは第87図19の須恵器裏口縁1点のみである。

第179号土坑 (第88図)

J-13グリッドに位置する。第226号溝跡と重複するが、土坑の方が新しい。平面は長径105cm、短径93cmのいびつな台形で、長軸方向はN-54°-Wである。深さは24cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第87図20の本製品1点である。角材を立方体に切り出した本体に、断面が台形状の柄をはめ込み、さらに鉄釘で固定させている。手で握る部分についてはさらに角を削って、八角形に加工している。本体の表面には何かを叩いた痕跡がみられる。

第180号土坑 (第88図)

K-13グリッドに位置する。平面は長径558cm、短径162cmで中央部付近でくの字形に屈曲している。深さは18cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第94図2-7のとおりであるが、時期的に差異がみられる。

第181号土坑 (第88図)

K-9・10グリッドに位置する。平面は長径411cm、短径390cmのいびつな方形で中段を有する。長軸方向はN-59°-Eである。深さは99cmである。

出土遺物は非常に多く、図示できたものは第92・93図1-30・第94図1のとおりである。土師器甕が多く、口縁だけでも17個体以上を数える。第94図1は堅柱の端部である。

第182号土坑 (第89図)

I-16グリッドに位置する。平面は長径126cm、短

径93cmの不整形で、長軸方向はN-90°である。深さは18cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第183号土坑 (第89図)

I・J-15グリッドに位置する。平面は長径105cm、短径51cmのいびつな楕円形で、長軸方向はN-70°-Eである。深さは21cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第184号土坑 (第89図)

I-15グリッドに位置する。平面は長径87cm、短径63cmの卵形で、長軸方向はN-59°-Eである。深さは15cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第185号土坑 欠番

第186号土坑 欠番

第187号土坑 (第89図)

H-15グリッドに位置し、第186・222・241・247号溝跡と重複している。平面は長径162cm、短径159cmのややいびつな方形で、隅部は直角を意識している。長軸方向はN-75°-Wである。深さは111cm。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

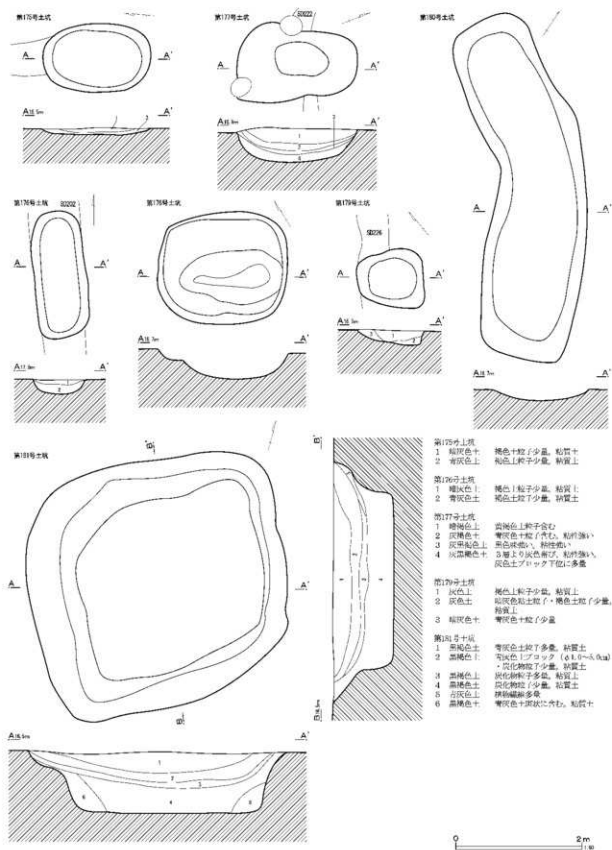
第188号土坑 (第89図)

I-17グリッドに位置し、南側は調査区域外となる。平面は長径165cm、短径135cm以上の長方形で、長軸方向はN-17°-Eである。深さは48cmである。

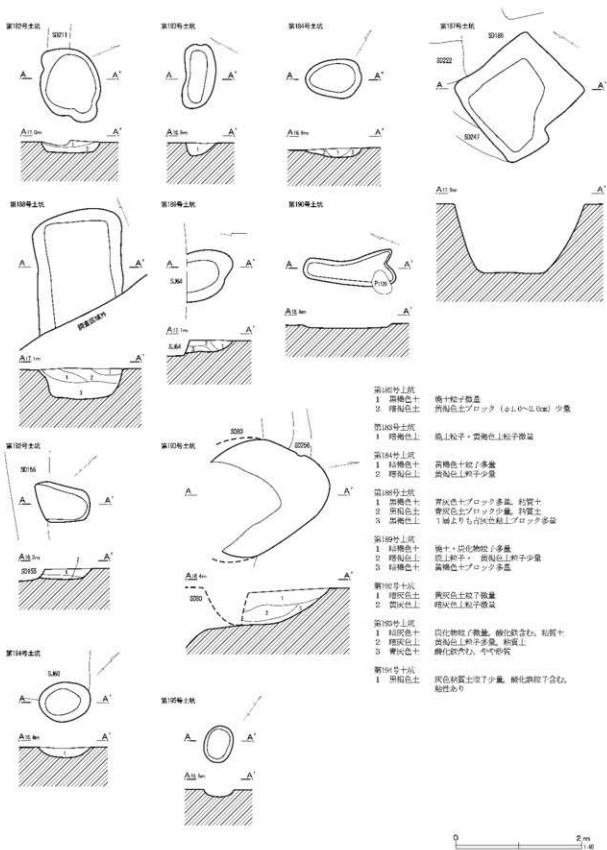
出土遺物は少なく、図示できたものは第94図8のみである。

第189号土坑 (第89図)

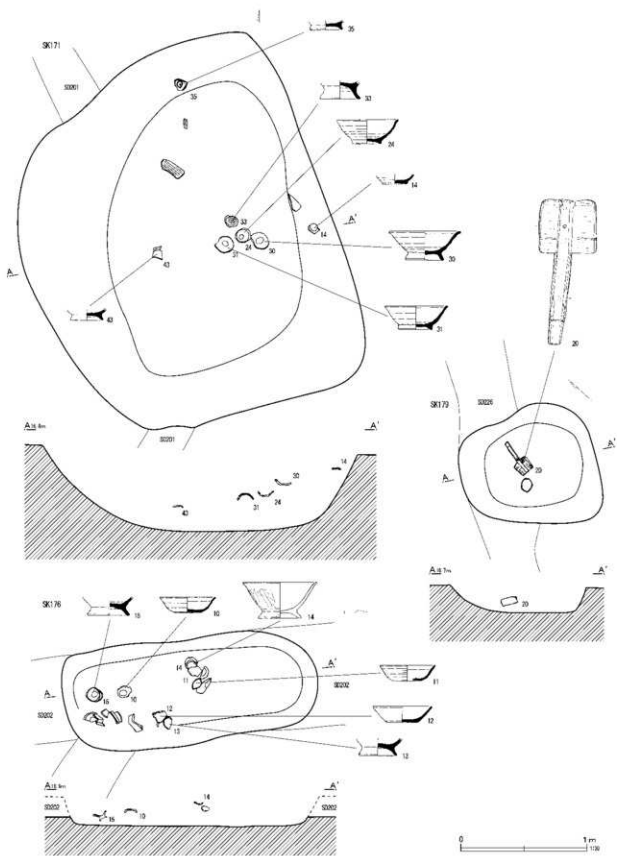
I-17グリッドに位置し、北側は第64号住居跡と重複するため輪郭は不明である。平面は南北78cm以



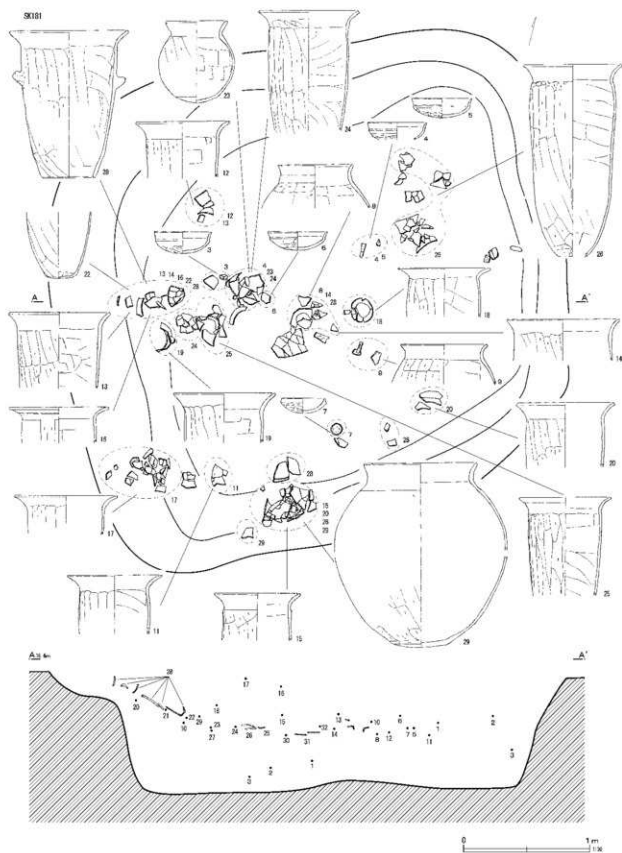
第88图 土坑 (3)



第89図 土坑 (4)

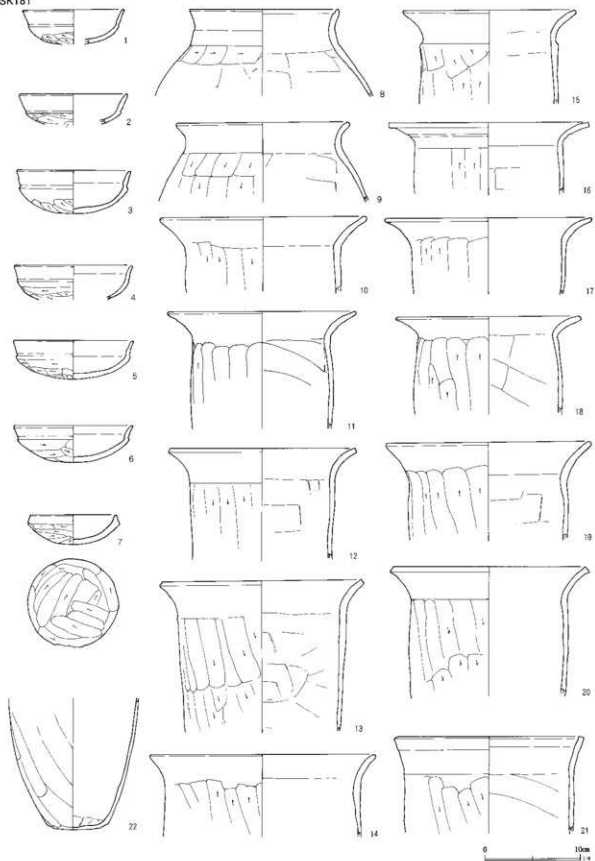


第90图 土坑遺物出土状況 (1)



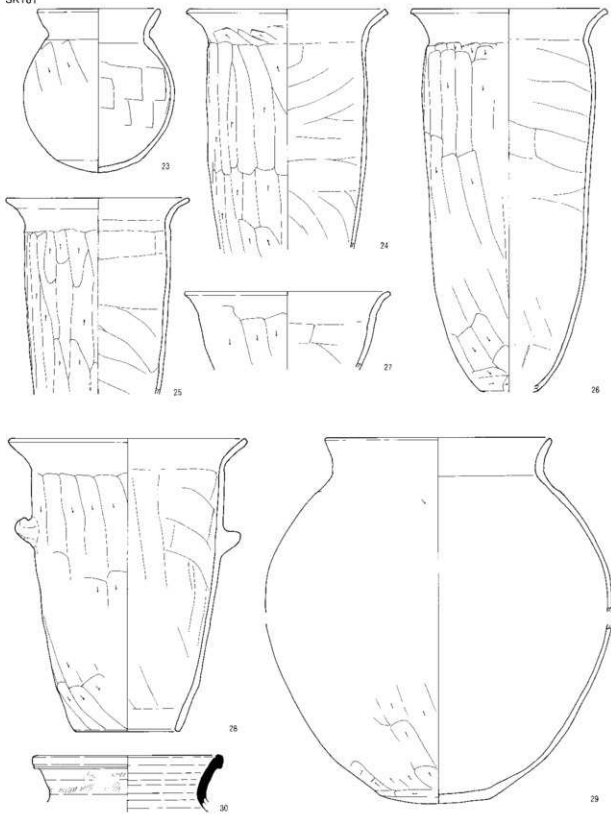
第91図 土坑遺物出土状況 (2)

SK181



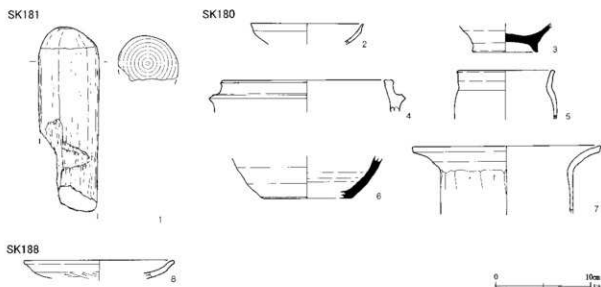
第92図 土坑出土遺物 (5)

SK181



0 10cm

第93图 土坑出土遗物(6)



第94図 土坑出土遺物 (7)

上、東西75cm、長軸方向はN-90°-Eである。深さは18cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第190号土坑 (第89図)

J-15グリッドに位置する。平面は長径135cm、短径48cmの不整形で、長軸方向はN-21°-Wである。深さは6cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第191号土坑 欠番

第192号土坑 (第89図)

H-3・4グリッドに位置し、南側は第155号溝跡と重複している。平面は長径81cm、短径60cm、長軸方向はN-44°-Eである。深さは18cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第193号土坑 (第89図)

H-7・6グリッドに位置する。南側は第80号溝跡と重複しているため、全体の輪郭は不明である。平面は東西198cm、南北180cm以上で、深さは60cm。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第194号土坑 (第89図)

I-8グリッドに位置し、第66号住居跡の北東隅コーナーに相当する。平面は長径81cm、短径63cm、長軸方向はN-45°-Eである。深さは15cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第195号土坑 (第89図)

J-9グリッドに位置する。平面は長径60cm、短径45cmの楕円形で、長軸方向はN-24°-Wである。深さは12cmと、非常に小型の土坑である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

第28表 土坑出土遺物観察表(1)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	回数	
84	1	SK	158	土師器	環	(13.6)	[2.8]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	橙	
84	2	SK	158	土師器	環	(11.7)	[3.8]	—	破片	雲 角 白粒	普通	橙	
84	3	SK	158	土師器	環	(13.5)	[2.9]	—	破片	赤粒 白粒	普通	黒	
84	4	SK	158	土師器	環	(13.7)	[4.0]	—	1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	灰褐	
84	5	SK	158	土師器	環	(12.0)	[2.7]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	黒濁	
84	6	SK	158	土師器	環	(12.0)	[4.0]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	良好	—	—
84	7	SK	158	土製品	高環	—	[8.7]	—	4/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	明濁灰	
84	8	SK	158	土師器	甕	(16.6)	[5.8]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙	
84	9	SK	158	土師器	鉢	(13.1)	12.3	6.6	3/5	雲 角 赤粒 白粒	普通	—	20
84	10	SK	161	土師器	環	(11.0)	[2.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	
84	11	SK	162	土師器	環	(10.8)	[2.5]	—	口縁1/4	石英 白粒 黒粒	普通	—	—
84	12	SK	162	土師器	環	(11.4)	[3.4]	—	1/3	雲 白粒 黒粒	不良	橙	
84	13	SK	162	土師器	甕	—	[4.4]	5.6	底部のみ	雲 石英 赤粒 白粒	普通	暗赤褐	
84	14	SK	162	土師器	甕	(16.0)	[4.7]	—	破片	雲 石英 赤粒 白粒 黒粒	破片	明濁灰	
84	15	SK	162	土師器	甕	19.8	[15.9]	—	3/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	良好	—	20
84	16	SK	164	土師器	環	(12.0)	[2.2]	—	破片	赤粒 黒粒	普通	浅黄橙	赤彩
84	17	SK	166	土師器	環	(11.6)	[2.1]	—	破片	雲 石英 赤粒	普通	明赤褐	
84	18	SK	167	土師器	環	(12.6)	[3.1]	—	破片	雲 角 赤粒 黒粒	普通	黒濁	
84	19	SK	167	土師器	甕	(16.1)	[2.3]	—	破片	赤粒 白粒	普通	暗赤灰	
84	20	SK	168	土師器	環	(11.3)	[3.5]	—	1/2	角 白粒	普通	橙	21
84	21	SK	168	土師器	環	(12.9)	3.7	—	1/4	雲 角 白粒	不良	橙	
84	22	SK	168	土師器	環	(10.5)	3.9	—	1/2	石英 白粒	不良	黒濁	21
84	23	SK	168	土師器	環	(11.0)	4.5	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒	普通	暗褐	21
84	24	SK	168	土師器	環	(11.6)	4.1	—	4/5	雲 角 白粒	普通	黄灰	21
84	25	SK	168	土師器	環	(13.4)	[4.7]	—	1/3	石英 赤粒	普通	橙	
84	26	SK	168	土師器	環	(14.0)	[4.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	
84	27	SK	168	土師器	鉢	(14.9)	[8.3]	—	1/4	雲 石英 赤粒 白粒	普通	—	21
84	28	SK	168	土師器	甕	(20.0)	[4.9]	—	口縁破片	雲 砂粒 白粒	普通	—	—
85	1	SK	171	灰釉陶器	塊	—	[1.5]	8.2	1/4	黒粒	良好	灰白	48
85	2	SK	171	灰釉陶器	塊	13.6	4.0	6.8	完形	黒粒	良好	灰白	21
85	3	SK	171	緑釉陶器	塊	—	[2.0]	(6.8)	底部1/2	白粒 黒粒	良好	灰白	46
85	4	SK	171	須恵器	環	12.3	3.8	5.5	9/10	角 白粒 針	良好	灰白	21
85	5	SK	171	須恵器	環	11.5	3.3	5.1	ほぼ完形	角 針 黒粒	良好	灰	21
85	6	SK	171	須恵器	環	12.0	3.7	4.6	2/3	角 石英	良好	灰白	21
85	7	SK	171	須恵器	環	12.4	3.8	5.6	2/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	灰白	21
85	8	SK	171	須恵器	環	12.2	3.8	(7.0)	1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	灰白	
85	9	SK	171	須恵器	環	(15.8)	[3.2]	(6.6)	1/5	雲 角 白粒 黒粒	良好	灰白	
85	10	SK	171	須恵器	環	(12.2)	4.1	6.2	3/5	雲 石英 赤粒 白粒	普通	灰	
85	11	SK	171	須恵器	環	—	[2.6]	(6.0)	1/4	雲 角 針	普通	灰白	
85	12	SK	171	須恵器	環	—	[2.3]	(5.8)	1/3	雲 角 石英 黒粒	普通	浅黄橙	
85	13	SK	171	須恵器	環	—	[3.5]	(6.0)	1/5	雲 白粒 黒粒	普通	灰	
85	14	SK	171	須恵器	環	—	[1.9]	5.2	底部完形	白粒 針	良好	灰	
85	15	SK	171	須恵器	環	—	[2.0]	(6.7)	底部1/3	雲 赤粒 黒粒	普通	—	—
85	16	SK	171	須恵器	環	—	[1.8]	5.7	底部完形	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	—	—
85	17	SK	171	須恵器	環	—	[1.5]	(6.0)	底部1/4	白粒 針	良好	暗灰	
85	18	SK	171	須恵器	環	—	[2.0]	5.2	底部完形	雲 角 白粒	良好	灰	
85	19	SK	171	須恵器	環	—	[1.2]	5.2	底部1/5	角 砂粒 白粒	普通	灰白	
85	20	SK	171	須恵器	環	—	[1.7]	(5.5)	底部1/2	雲 角 赤粒 黒粒	普通	—	—
85	21	SK	171	須恵器	環	—	[2.4]	(6.0)	底部1/2	雲 石英 赤粒 白粒	不良	—	—
85	22	SK	171	須恵器	高台付塊	13.4	[5.4]	(6.5)	4/5	角 針	良好	灰白	22
85	23	SK	171	須恵器	高台付塊	13.4	5.2	6.7	1/4	雲 角 針 黒粒	普通	灰白	22
85	24	SK	171	須恵器	高台付塊	12.8	5.1	6.1	完形	雲 角 白粒	普通	灰白	22
85	25	SK	171	須恵器	高台付塊	13.5	4.8	7.0	完形	雲 角 赤粒 白粒	良好	灰	22
85	26	SK	171	須恵器	高台付塊	(13.7)	4.7	(6.3)	1/4	白粒	普通	—	—
85	27	SK	171	須恵器	高台付塊	(13.4)	4.7	—	1/3	雲 角 石英 赤粒 針	普通	濁灰	
85	28	SK	171	須恵器	高台付塊	(15.4)	5.7	(8.0)	1/3	雲 角 白粒 黒粒	良好	灰	22
85	29	SK	171	須恵器	高台付塊	(12.5)	[4.8]	6.2	4/5	雲 角 赤粒 白粒	良好	灰白	

第29表 土坑出土遺物観察表(2)

探り番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
85	30	SK	171	須臾器	高台付塚	14.9	6.2	8.2	完形	雲角白粒黒粒	普通	オリーブ黒	22
85	31	SK	171	須臾器	高台付塚	13.1	5.0	17.3	ほぼ完形	雲角赤粒白粒針	普通	にふい橙	22
85	32	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[3.8]	(5.8)	1/3	雲	普通	にふい黄橙	
85	33	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[3.8]	8.5	底部のみ	雲白粒黒粒	普通	灰白	
86	34	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.0]	6.8	底部のみ	雲角赤粒白粒黒粒	不良	にふい橙	
86	35	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.0]	6.9	底部のみ	雲白粒	普通	灰白	
86	36	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.2]	(7.1)	1/4	石英黒粒	普通	灰白	
86	37	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.1]	(6.2)	1/3	雲角黒粒	普通	灰白	
86	38	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.1]	6.7	高台のみ	雲黒粒	普通	褐灰	
86	39	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[1.7]	(6.8)	底部のみ	雲角白粒針	普通	黒褐	
86	40	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.1]	6.6	底部のみ	雲角赤粒針黒粒	普通	灰褐	
86	41	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.3]	(6.7)	1/4	針	普通	褐灰	
86	42	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.5]	(6.0)	1/2	雲角黒粒	不良	灰白	
86	43	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.4]	6.9	底部のみ	白粒黒粒	普通	灰白	
86	44	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.3]	(6.5)	底部1/2	黒粒	普通	褐灰	
86	45	SK	171	須臾器	高台付塚	—	[2.5]	6.8	1/2	雲角赤粒黒粒	普通	にふい褐	
86	46	SK	171	須臾器	環	(11.4)	[2.4]	—	破片	雲針	普通	灰白	
86	47	SK	171	須臾器	環	(44.0)	[16.6]	—	口縁1/3	雲石英砂粒白粒	良好	灰	
86	48	SK	171	須臾器	環	(12.0)	[2.8]	—	口縁破片	雲角針	良好	褐灰	
86	49	SK	171	須臾器	環	(12.4)	[2.6]	—	口縁破片	雲赤粒黒粒	良好	灰	
86	50	SK	171	須臾器	環	(12.0)	[2.7]	—	破片	雲針	良好	褐灰	
86	51	SK	171	須臾器	環	(12.8)	[2.7]	—	口縁破片	雲角赤粒白粒	良好	灰	
86	52	SK	171	須臾器	環	(13.3)	[2.8]	—	破片	雲石英	普通	褐灰	
86	53	SK	171	須臾器	環	(12.0)	[3.1]	—	破片	雲石英赤粒	普通	淡赤橙	
86	54	SK	171	須臾器	環	(12.5)	[3.0]	—	口縁破片	雲白粒黒粒	良好	灰白	
86	55	SK	171	須臾器	環	(12.0)	[3.0]	—	口縁破片	雲角石英白粒黒粒	不良	褐灰	
86	56	SK	171	須臾器	環	(13.4)	[3.9]	—	破片	雲白粒針	良好	黒褐	
86	57	SK	171	須臾器	環	—	[3.6]	(6.0)	破片	雲角石英白粒黒粒	良好	灰	
86	58	SK	171	須臾器	高台付塚	(15.0)	[3.9]	—	1/5	雲針	普通	にふい橙	
86	59	SK	171	須臾器	高台付塚	(14.0)	[4.7]	—	1/5	雲角黒粒	良好	灰白	
86	60	SK	171	須臾器	甕	—	[4.0]	15.4	底部1/4	雲砂粒赤粒白粒	良好	灰	
86	61	SK	171	須臾器	鉢	(22.6)	[4.6]	—	口縁破片	雲角石英白粒黒粒	普通	灰黄褐	
86	62	SK	171	須臾器	羽釜	(21.0)	[6.2]	—	口縁1/3	雲角石英白粒黒粒	普通	黄灰	
86	63	SK	171	土師器	甕	(20.0)	[9.7]	—	1/4	角砂粒白粒	普通	灰黄褐	
86	64	SK	171	土師器	甕	(18.0)	[7.2]	—	口縁破片	雲角石英白粒黒粒	普通	褐灰	
86	65	SK	171	土師器	甕	—	19.7	6.8	ほぼ完形	雲角石英白粒黒粒	普通	褐灰	
86	66	SK	171	須臾器	鉢	(34.0)	[3.9]	—	口縁破片	雲白粒	普通	灰褐	
86	67	SK	171	須臾器	甕	(44.0)	[16.6]	—	口縁1/3	雲石英砂粒白粒	良好	灰	
86	68	SK	171	須臾器	甕	(38.8)	[4.6]	—	破片	白粒	普通	灰	
86	69	SK	171	鉄滓	腕形滓	径9.0 厚さ2.3	—	—	1/4	—	—	—	
87	1	SK	172	須臾器	環	(12.0)	[3.6]	—	破片	雲角赤粒白粒	普通	にふい橙	
87	2	SK	172	須臾器	高台付塚	—	[2.8]	7.9	底部のみ	雲長角赤粒白粒	良好	灰黄褐	
87	3	SK	172	土師器	甕	(17.1)	[2.6]	—	破片	雲白粒	良好	灰白	
87	4	SK	173	灰軸陶器	埴	(15.0)	[2.4]	—	破片	白粒黒粒	普通	灰白	
87	5	SK	173	須臾器	高台付塚	11.5	3.1	6.0	破片	白粒	普通	にふい黄橙	
87	6	SK	173	須臾器	高台付塚	—	[2.7]	(6.8)	底部1/2	雲角赤粒白粒	普通	褐灰	
87	7	SK	173	須臾器	高台付塚	—	[2.4]	7.7	底部のみ	雲角赤粒白粒黒粒	普通	灰	
87	8	SK	175	土師器	環	(11.6)	[3.4]	—	破片	雲角石英赤粒白粒	不良	橙	
87	9	SK	175	須臾器	壺	(18.0)	[3.4]	—	口縁破片	白粒	普通	褐灰	
87	10	SK	176	須臾器	環	(11.8)	3.2	5.6	2/3	雲角石英赤粒白粒	普通	にふい黄橙	
87	11	SK	176	須臾器	環	(11.6)	3.3	(6.0)	1/4	雲角赤粒白粒黒粒	普通	浅黄橙	
87	12	SK	176	須臾器	環	(12.2)	[3.5]	—	1/3	雲角石英赤粒白粒	不良	褐灰	
87	13	SK	176	須臾器	高台付塚	—	[3.7]	8.1	底部のみ	雲角石英赤粒白粒	普通	にふい黄橙	
87	14	SK	176	内黒土器	高台付塚	(15.5)	7.6	9.0	1/2	雲石英赤粒黒粒	普通	褐	
87	15	SK	176	須臾器	高台付塚	—	[4.1]	8.9	底部のみ	雲赤粒白粒	普通	にふい黄橙	
87	16	SK	177	鉢軸陶器	埴	—	[2.0]	—	破片	黒粒	良好	灰白	
87	17	SK	177	須臾器	環	—	[0.2]	(5.0)	1/3	雲赤粒	普通	にふい黄橙	

第30表 土坑出土遺物観察表(3)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
87	18	SK	177	須忠器	高台付埴	—	[1.4]	7.0	7/10	雲 赤粒 黒粒	普通	にふい黄粒	
87	19	SK	178	須忠器	甕	(40.0)	[10.0]	—	破片	雲 白粒 硜	良好	灰	
87	20	SK	179	木製品	木槌	長さ30.6	幅12.0	厚7.3		樹種：本体=スギ、柄=イヌグヤ			23
92	1	SK	181	土師器	環	(10.6)	[3.7]	—	1/3	雲 白粒	良好	黒褐	
92	2	SK	181	土師器	環	(11.2)	[3.2]	—	1/3	雲 角 石英 白粒	良好	黒褐	
92	3	SK	181	土師器	環	12.0	4.6	—	1/3	雲 角 白粒	普通	黒褐	22
92	4	SK	181	土師器	環	(12.4)	[3.6]	—	1/4	雲 白粒	普通	黒褐	
92	5	SK	181	土師器	環	(12.6)	[4.1]	—	1/4	雲 角 白粒 硜	普通	黒褐	
92	6	SK	181	土師器	環	(12.6)	[3.9]	—	1/3	雲 角 石英 砂粒 黒粒	普通	硜	
92	7	SK	181	土師器	環	9.2	3.1	—	ほぼ完形	雲 角 赤粒	普通	黒褐	
92	8	SK	181	土師器	甕	15.7	[9.3]	—	2/3	雲 角 赤粒 白粒 硜	良好	にふい硜	23
92	9	SK	181	土師器	甕	(18.0)	[8.6]	—	口縁1/3	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい硜	
92	10	SK	181	土師器	甕	(21.0)	[7.9]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒	普通	浅黄粒	
92	11	SK	181	土師器	甕	(19.8)	[12.4]	—	口縁1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にふい黄粒	
92	12	SK	181	土師器	甕	(20.0)	[11.8]	—	口縁1/5	雲 角 石英 赤粒 黒粒	普通	硜	
92	13	SK	181	土師器	甕	(21.0)	[16.1]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	明赤褐	
92	14	SK	181	土師器	甕	(23.8)	[8.8]	—	口縁1/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にふい黄粒	
92	15	SK	181	土師器	甕	(18.1)	[10.0]	—	1/4	角 砂粒 白粒	不良	褐	
92	16	SK	181	土師器	甕	(21.0)	[7.7]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	不良	にふい硜	
92	17	SK	181	土師器	甕	(22.0)	[8.2]	—	口縁1/5	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	不良	にふい硜	
92	18	SK	181	土師器	甕	(19.8)	[10.4]	—	7/10	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい硜	23
92	19	SK	181	土師器	甕	(21.8)	[10.5]	—	1/3	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	灰黄褐	23
92	20	SK	181	土師器	甕	20.3	[13.7]	—	1/3	雲 砂粒 白粒	普通	にふい硜	
92	21	SK	181	土師器	甕	(19.0)	[10.3]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい硜	
93	22	SK	181	土師器	甕	—	[14.0]	6.6	底部2/3	雲 角 白粒 黒粒	不良	褐灰	
93	23	SK	181	土師器	小型甕	(13.0)	17.4	(9.0)	1/5	雲 赤粒 白粒	普通	にふい褐	23
93	24	SK	181	土師器	甕	21.4	[25.5]	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい硜	24
93	25	SK	181	土師器	甕	19.1	[20.8]	—	3/4	角 石英 砂粒 赤粒 白粒	普通	浅黄粒	
93	26	SK	181	土師器	甕	20.8	[40.6]	(6.0)	3/5	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい硜	24
93	27	SK	181	土師器	甕	(21.4)	[8.3]	—	破片	雲 石英 赤粒	普通	黒褐	
93	28	SK	181	土師器	甕	(25.0)	[31.0]	—	4/5	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	褐灰	
93	29	SK	181	土師器	甕	(24.0)	[38.9]	11.5	1/5	雲 砂粒 赤粒 白粒 黒粒	不良	灰白	24
93	30	SK	181	須忠器	壺	(19.0)	[6.0]	—	口縁1/4	雲 白粒 黒粒	良好	灰白	
94	1	SK	181	木製品	彫柱	長さ[19.5]	径(6.3)			樹種：サカキ			
94	2	SK	180	土師器	環	(11.9)	[2.2]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	不良	にふい黄粒	
94	3	SK	180	須忠器	高台付埴	—	[3.0]	(7.0)	底部のみ	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	不良	灰白	
94	4	SK	180	須忠器	羽釜	(18.4)	[3.4]	—	破片	雲 角 赤粒 黒粒	普通	にふい硜	
94	5	SK	180	土師器	鉢	(10.4)	[5.2]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	褐灰	
94	6	SK	180	須忠器	甕	—	[4.5]	(9.6)	底部破片	雲 白粒 黒粒	良好	灰	
94	7	SK	180	土師器	甕	(20.0)	[7.2]	—	口縁1/2	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	灰白	
94	8	SK	188	土師器	皿	(16.0)	[1.9]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰黄褐	

5. ビット

今回の報告範囲においては、ビットを879～1318まで番号を付して調査を行った。調査過程で他の遺構に振り分けたものや、遺構とは認められず欠番となったものがあり、最終的にビットとして確認できたのは、356基である。

各ビットの詳細は表のとおりであるが、第95～97

第31表 ビット一覧表 (1)

番号	グロッド	長径	短径	深さ	平面図	備考
879	I-11	49	40	43	第95図	SE152の周溝と重複
880	I-13	84	78	82	第95図	
881	I-13	—	—	—		SE110に変更
882	I-13	55	45	34		
883	H-10	51	46	56	第95図	
884	H-10	34	32	32		
885	H-10	74	64	23		
886	H-10	67	52	54	第95図	
887	H-11	61	60	16		
888	H-11	59	51	36		
889	H-11	50	48	80	第95図	
890	H-11・12	35	35	22		
891	H-12	49	43	23		
892	H-12	88	79	87	第95図	
893	H-12	33	33	23		
894	H-12	42	40	38		
895	H-12	32	31	11		
896	H-12	46	44	24		
897	H-11	44	40	52	第95図	
898	H-12	58	44	13		
899	H-12	48	44	30		
900	H-12	34	28	10		
901	H-12	52	44	18		
902	H-12	34	34	34		
903	H-12	39	37	23		
904	H-12	80	55	47	第95図	
905	H-13	—	—	—		
906	H-13	59	52	23		
907	I-13	86	72	42	第95図	SE113と重複
908	I-14	—	—	—		SB22 P15に変更
909	I-14	—	—	—		SB22 P16に変更
910	I-13・14	58	56	32		
911	I-14	—	—	—		SB22 P11に変更
912	I-14	52	44	62	第95図	
913	I-11	74	56	15		
914	I-13	104	60	94	第95図	
915	H-11	40	38	27		
916	H-11	28	25	28		
917	H-11・12	33	33	30		
918	H-11	69	46	34		
919	H-12	34	33	31		
920	H-14	58	55	43	第95図	
921	H-14	45	35	67		
922	H-13	44	35	12		
923	H-13	51	48	79	第95図	
924	H-13	54	51	27		
925	H-13	36	31	14		
926	H-13	40	36	22		
927	H-13	43	42	52	第95図	
928	H-13	35	35	41		
929	I-11	65	44	44	第95図	
930	H-12	—	—	—		SB22 P7に変更
931	I-12	71	68	34		
932	H-12	88	71	58	第95図	
933	H-11	73	53	37		
934	I-12	—	—	—		SB22 P8に変更
935	I-12	60	41	82	第95図	
936	I-12	41	40	36		
937	I-12	74	55	53	第95図	
938	I-13	—	—	—		SB22 P14に変更
939	I-14	62	57	24		SD21と重複
940	I-13	—	—	—		SB22 P21に変更

図には、便宜的に長径・短径・深さとも40cmを超えるものを掲載した。

出土遺物のうち、図示できたものは第100～103図のとおりである。他の遺構と同様、古墳時代後期と平安時代を中心とするが、やや古手の壺(第102図13)や奈良時代の須恵器などもみられる。

番号	グロッド	長径	短径	深さ	平面図	備考
941	I-13	47	40	16		
942	H-12	34	50	32		
943	H-12	—	—	—		SB26 P5に変更
944	H-12	70	63	44	第95図	
945	H-12	49	48	14		P973と重複
946	H-13	—	—	—		SB26 P31に変更
947	H-13	—	—	—		SB26 P21に変更
948	H-12	—	—	—		SB22 P25に変更
949	H-12	—	—	—		SB26 P6に変更
950	H-12	—	—	—		SB22 P6に変更
951	I-13	—	—	—		SB22 P12に変更
952	H-13	47	44	55	第95図	
953	H-13	80	65	26		
954	H-14	—	—	—		SB22 P19に変更
955	H-14	81	70	5		
956	H-14	42	33	75		
957	I-13	—	—	—		SB22 P13に変更
958	I-13	54	51	38		
959	H-12	55	54	30		P960と重複
960	H-12	—	—	—		SB22 P24に変更
961	H-12	98	39	56		
962	H-13	—	—	—		SB26 P11に変更
963	H-14	—	—	—		SE90に変更
964	I-13	—	—	—		
965	I-13	—	—	—		SE95に変更
966	I-12	68	59	45	第95図	
967	I-12	43	39	54		
968	I-10・11	56	54	51	第95図	
969	I-10	81	62	59	第95図	
970	H-10	68	66	11		
971	H-12	52	39	21		
972	H-12	51	46	62	第95図	
973	H-12	—	—	—		SB26 P41に変更
974	H-13	—	—	—		SB22 P23に変更
975	H-13	45	40	14		SD182と重複
976	I-13	—	—	—		SE109に変更
977	H-11	40	37	19		
978	H-11	65	46	54	第95図	
979	H-13	—	—	—		SB22 P21に変更
980	I-12	55	42	30		P984と重複
981	G-11	74	51	39		
982	I-12	46	40	48	第96図	
983	—	—	—	—		
984	I-12	62	47	15		
985	I-13	36	34	30		
986	I-13	73	40	25		
987	I-13	34	30	23		
988	I-13	47	30	29		
989	I-13	42	40	31		
990	I-13	52	45	11		
991	J-12	60	47	49	第96図	
992	I-12	53	48	9		
993	J-12	49	47	46	第96図	
994	J-12	42	35	33		
995	J-12	47	42	37		
996	J-12	87	58	58	第96図	
997	I-12	50	40	38		
998	I-12	50	43	37		
999	J-12	39	38	32		
1000	I-12	72	35	45		
1001	J-12	47	34	31		
1002	I-12	43	39	25		

第32表 ビット一覧表(2)

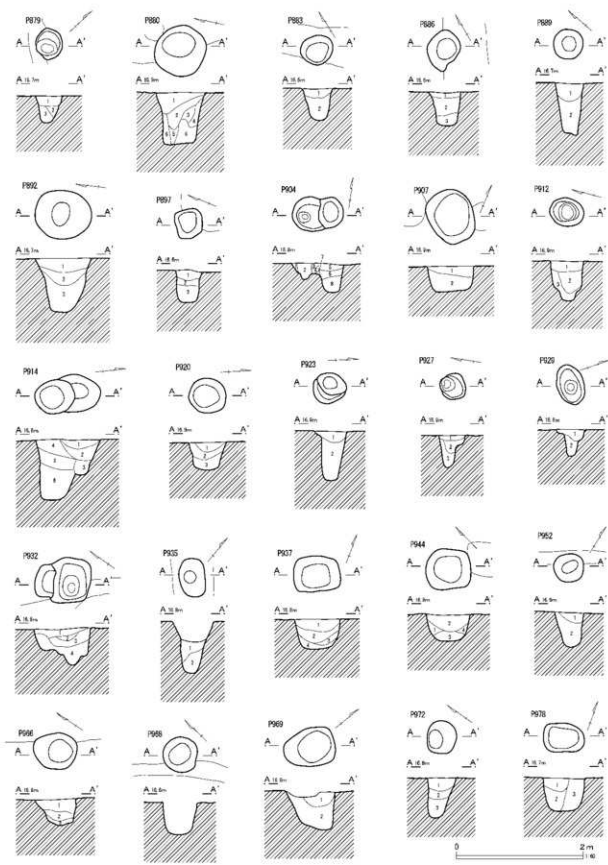
番号	アリュフ	長径	短径	深さ	平面図	備考
1003	J-12	96	65	24		
1004	G-8	49	38	47		
1005	H-8	49	45	61	第96図	
1006	H-8	66	54	24		
1007	G-8・9	50	49	52	第96図	
1008	J-12	—	—	—		SB22 P27に変更
1009	H-13	65	43	45	第96図	
1010	J-13	—	—	—		SB22 P30に変更
1011	J-13	31	26	38		
1012	J-13	54	38	17		P101と重複
1013	J-13	60	37	37		
1014	J-13	42	35	25		
1015	J-13	—	—	—		SB22 P31に変更
1016	H-9	54	49	67	第96図	
1017	J-14	34	33	53		
1018	J-13・14	36	34	20		
1019	J-12	—	—	—		SB22 P17に変更
1020	J-12	—	—	—		SE99に変更
1021	J-12	67	56	65	第96図	
1022	J-12	39	30	16		
1023	J-12	48	48	55	第96図	
1024	J-12	69	48	33		
1025	J-13	63	54	14		
1026	J-13	57	49	12		S158の閉鎖と重複
1027	J-15	47	37	68		SE98と重複
1028	H-9	70	50	53	第96図	
1029	H-9	38	37	45		
1030	—	—	—	—		
1031	—	—	—	—		
1032	H-10	54	48	40	第96図	
1033	J-10	47	46	48	第96図	
1034	J-10	50	42	49	第96図	
1035	—	—	—	—		
1036	G-8	42	38	46		
1037	G-8	107	59	82	第96図	
1038	G-8	57	45	69	第96図	
1039	G-8	71	56	106	第96図	
1040	—	—	—	—		
1041	J-13・14	47	42	51	第96図	
1042	J-13	33	29	35		
1043	J-13	38	31	17		
1044	H-11	62	54	8		
1045	H-11	61	57	7		
1046	H-11	52	51	13		
1047	H-11	40	39	18		
1048	H-11	31	28	21		
1049	H-11・12	70	57	9		
1050	—	—	—	—		
1051	—	—	—	—		
1052	—	—	—	—		
1053	—	—	—	—		
1054	—	—	—	—		
1055	—	—	—	—		
1056	—	—	—	—		
1057	J-14	—	—	—		SB25 P4に変更
1058	J-15	46	40	42	第96図	
1059	J-15	—	—	—		SB25 P2に変更
1060	J-15	—	—	—		SB25 P9に変更
1061	J-13	31	26	38		
1062	J-13	73	76	69	第96図	
1063	J-14	—	—	—		SE117に変更
1064	K-16	—	—	—		SE102に変更
1065	J-15	54	47	13		
1066	J-14・15	96	92	33		
1067	J-12	49	45	27		
1068	J-15	40	35	36		
1069	H-13	—	—	—		SB22 P20に変更
1070	J-13	34	32	4		
1071	J-13	31	28	24		
1072	J-13	28	28	36		
1073	J-13	94	61	60	第96図	
1074	J-13	87	52	40	第96図	
1075	J-12	47	37	33		
1076	H-12	38	36	24		
1077	H-12	32	28	22		
1078	H-12	41	40	29		
1079	H-12	41	31	19		
1080	H-12	41	28	38		
1081	J-16	28	24	29		

番号	アリュフ	長径	短径	深さ	平面図	備考
1082	J-16	32	30	40		
1083	H-17	72	33	20		
1084	H-17	55	50	31		
1085	J-16・17	57	52	17		
1086	J-17	38	32	37		
1087	J-16・17	31	30	30		
1088	J-16	60	44	12		
1089	H-13	31	29	27		
1090	J-13	49	34	32		
1091	J-13	37	32	23		
1092	J-14	170	155	135	第96図	
1093	J-14	29	63	58	第96図	
1094	J-15	73	52	16		
1095	H-13	61	54	18		
1096	H-13	41	36	19		
1097	J-13	32	30	15		
1098	J-13	38	34	14		
1099	H-13	34	29	18		
1100	H-13	33	32	39		
1101	H-13	41	33	11		P1100と重複
1102	H-13	23	21	13		
1103	H-13	24	20	10		
1104	H-13	29	28	21		
1105	H-13	28	28	49		
1106	H-13	36	30	35		
1107	H-13	32	29	21		
1108	H-13・14	38	38	39		
1109	H-13	25	23	39		
1110	J-16	39	34	19		
1111	J-15	32	30	48		
1112	J-15	64	61	13		P1120と重複
1113	J-15	45	42	55		
1114	J-12	33	20	10		SD87と重複
1115	J-12	48	46	15		SD177と重複
1116	J-14	—	—	—		SB24 P3に変更
1117	J-14	32	32	26		
1118	J-14	—	—	—		SB25 P5に変更
1119	J-15	—	—	—		SE114に変更
1120	J-15	33	32	14		
1121	J-16	40	32	36		
1122	J-16	38	31	16		
1123	K-15	65	29	13		
1124	J-14	—	—	—		SB22 P33に変更
1125	J-15	41	27	19		
1126	J-16	—	—	—		SB23 P2に変更
1127	K-15	45	43	17		
1128	K-16	48	44	29		
1129	K-16	30	27	22		
1130	K-16	33	31	39		
1131	K-16	32	27	10		SD216と重複
1132	K-16	42	39	72		
1133	J-16	96	40	21		SD213と重複
1134	J-16	40	32	13		
1135	J-16	44	38	12		
1136	J-16	50	49	66	第96図	
1137	J-16	—	—	—		
1138	J-16	62	58	15		SB23 P27に変更
1139	J-16	36	36	25		
1140	J-16	62	52	20		
1141	J-17	—	—	—		SB23 P17に変更
1142	K-16	74	65	43	第97図	
1143	K-16	75	74	53	第97図	
1144	K-16	66	58	53	第97図	
1145	K-16	32	27	25		
1146	J・K-16	61	59	15		
1147	K-16	67	58	17		
1148	K-16	66	53	23		P1149と重複
1149	K-16	30	29	21		
1150	K-16	61	46	18		
1151	—	—	—	—		
1152	J-16	—	—	—		SB27 P7に変更
1153	H-16	47	37	71		
1154	J-16	33	25	15		
1155	J-16	40	38	58		
1156	J-16	71	48	29		
1157	J-17	60	38	13		
1158	J-17	82	38	14		SD224と重複
1159	J-17	50	31	19		
1160	J-17	43	39	30		

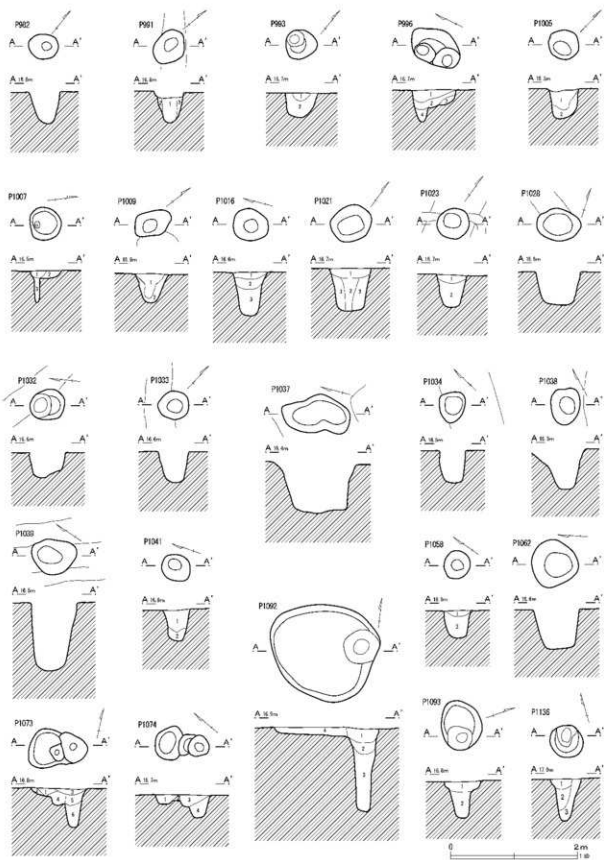
第33表 ビットー一覧表 (3)

番号	グリッド	長径	短径	深さ	平面図	備考
1161	J-17	63	63	10		
1162	J-13	35	35	15		
1163	H-14	27	26	16		
1164	H-14	34	24	10		
1165	H-14	25	26	12		
1166	H-14	24	29	6		
1167	H-14	25	24	45		
1168	H-14	46	44	11		
1169	H-12	29	28	19		
1170	H-12	31	28	40		
1171	H-12	62	56	43	第97図	
1172	H-12	80	53	47	第97図	
1173	H-11	84	40	35		
1174	H-11	34	32	41		
1175	H-12	53	45	27		
1176	I-12	45	40	42	第97図	
1177	H-12	30	29	36		
1178	H-12	38	38	30		
1179	H-12	38	35	40		
1180	I-17	—	—	—		SE127に変更
1181	I-17	30	25	38		
1182	J-17	101	70	55	第97図	SB23 P19と重複
1183	I-17	50	39	54		
1184	I-12	42	38	66		
1185	I-12	50	50	13		
1186	I-12	59	51	12		
1187	H-12	79	54	37		
1188	H-12	—	—	—		SB26 P7に変更
1189	I-16	42	35	45		
1190	I-14	46	42	8		
1191	I-13	43	35	15		
1192	I-14	34	32	60		
1193	I-14	55	34	6		
1194	I-14	64	60	7		
1195	I-11	31	30	29		
1196	I-11	36	31	40		
1197	—	—	—	—		
1198	I-12	57	55	64	第97図	
1199	I-15	58	48	76	第97図	
1200	I-17	57	49	56	第97図	
1201	I-17	52	50	54	第97図	
1202	I-17	50	44	80	第97図	
1203	H-17	39	29	23		
1204	I-17	66	64	125	第97図	
1205	I-16	74	36	28		P1210と重複
1206	I-16	38	36	20		
1207	I-16	30	23	21		
1208	I-17	30	29	40		
1209	I-17	56	41	59	第97図	SB23 P18と重複
1210	I-16	61	52	85	第97図	
1211	I-17	42	35	58		
1212	I-15	48	44	47	第97図	
1213	I-14	47	39	32		
1214	J-16	36	31	49		
1215	I-16	57	34	29		
1216	I-17	26	26	41		
1217	I-17	31	29	20		
1218	I-17	46	41	20		SD224と重複
1219	I-17	44	43	22		
1220	I-17	26	24	31		
1221	H-12	—	—	—		SB26 P8に変更
1222	I-16	72	60	67	第97図	
1223	H-12	34	32	46		P1231と重複
1224	H-12	61	50	30		
1225	H-17	35	28	27		
1226	H-17	46	37	29		
1227	I-17	28	25	29		
1228	—	—	—	—		
1229	H-11	35	30	36		
1230	H-11	76	68	36		P1229と重複
1231	H-12	25	25	19		
1232	I-16	25	19	26		
1233	I-16	43	38	26		
1234	I-16	29	26	18		
1235	I-16	26	19	30		
1236	I-16	27	26	25		
1237	I-16	34	32	47		
1238	I-16	26	26	23		
1239	H-13	50	48	38		

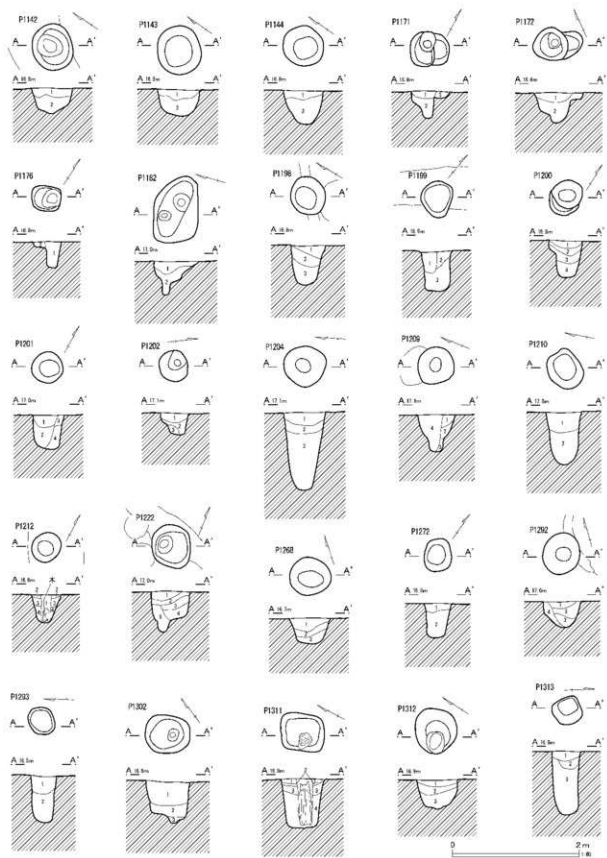
番号	グリッド	長径	短径	深さ	平面図	備考
1240	H-14	44	34	31		
1241	I-15-16	30	26	71		
1242	K-17	86	72	37		
1243	K-17	64	64	38		
1244	K-17	30	27	12		
1245	K-17	29	29	19		P1246と重複
1246	K-17	43	29	40		
1247	K-16	30	26	14		
1248	K-16	26	24	27		
1249	K-16	28	25	18		
1250	K-16	28	20	14		
1251	K-16-17	30	30	10		
1252	K-17	32	24	16		
1253	K-16-17	30	29	28		
1254	K-16	32	30	24		
1255	K-16	34	32	35		P1256と重複
1256	K-16	30	28	31		
1257	—	—	—	—		
1258	K-16	41	31	28		
1259	K-16	47	34	37		
1260	L-16	31	23	45		
1261	K-17	36	27	12		
1262	K-17	—	—	—		SE128に変更
1263	—	—	—	—		
1264	H-10	31	30	32		
1265	K-16	28	26	36		
1266	—	—	—	—		
1267	—	—	—	—		
1268	L-16	64	60	41	第97図	
1269	L-16	30	28	18		
1270	L-16	26	26	17		
1271	—	—	—	—		
1272	L-16	51	40	56	第97図	
1273	L-16	32	27	39		
1274	L-15	41	38	40		
1275	L-15	31	24	47		
1276	L-14	27	25	35		
1277	L-14	28	25	29		
1278	J-14	19	19	11		
1279	I-14	21	18	17		
1280	J-14	76	49	34		SD198と重複
1281	—	—	—	—		
1282	—	—	—	—		
1283	—	—	—	—		
1284	—	—	—	—		
1285	—	—	—	—		
1286	—	—	—	—		
1287	—	—	—	—		
1288	—	—	—	—		
1289	—	—	—	—		
1290	—	—	—	—		
1291	J-17	26	26	34		
1292	I-16	60	54	42	第97図	SJ65の関連と重複
1293	I-10	46	40	75	第97図	
1294	J-10	15	13	21		
1295	J-10	42	40	27		
1296	I-10	31	22	18		
1297	I-16	23	21	27		
1298	I-16	78	46	21		
1299	I-16	61	47	19		
1300	I-16	50	37	19		
1301	I-16	—	—	—		SJ65 P1に変更
1302	I-16	70	59	71	第97図	
1303	I-16	—	—	—		SJ65 P4に変更
1304	G-10	42	27	29		
1305	I-16	59	32	17		SD127と重複
1306	H-8	40	38	38		
1307	H-8	43	38	39		
1308	J-7	53	36	23		
1309	I-16	45	34	38		
1310	—	—	—	—		
1311	H-16	68	57	78	第97図	
1312	H-16	70	67	44	第97図	
1313	H-16	43	43	98	第97図	
1314	—	—	—	—		
1315	I-16	35	30	27		
1316	I-16	26	23	24		
1317	I-16	29	25	14		
1318	I-16	34	28	36		



第95図 ビット (1)

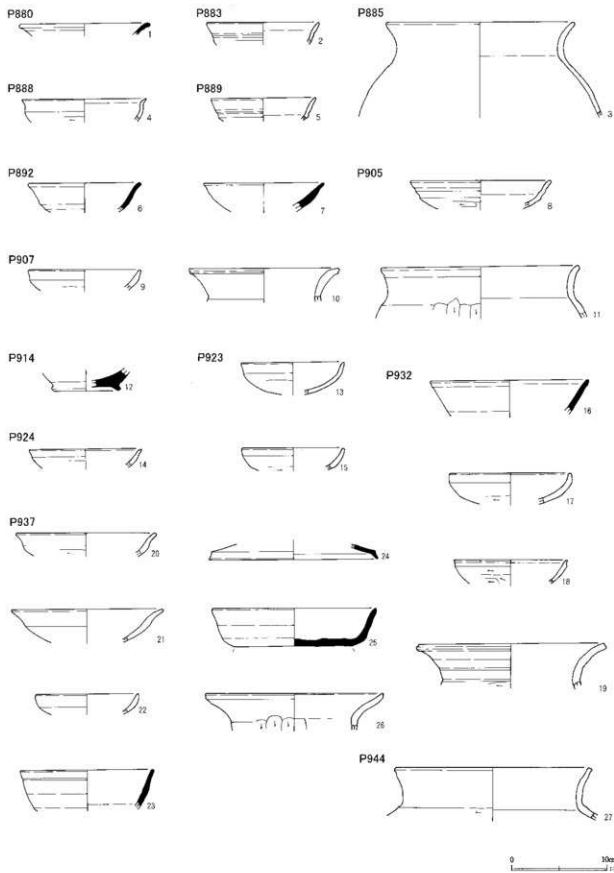


第96図 ビット (2)

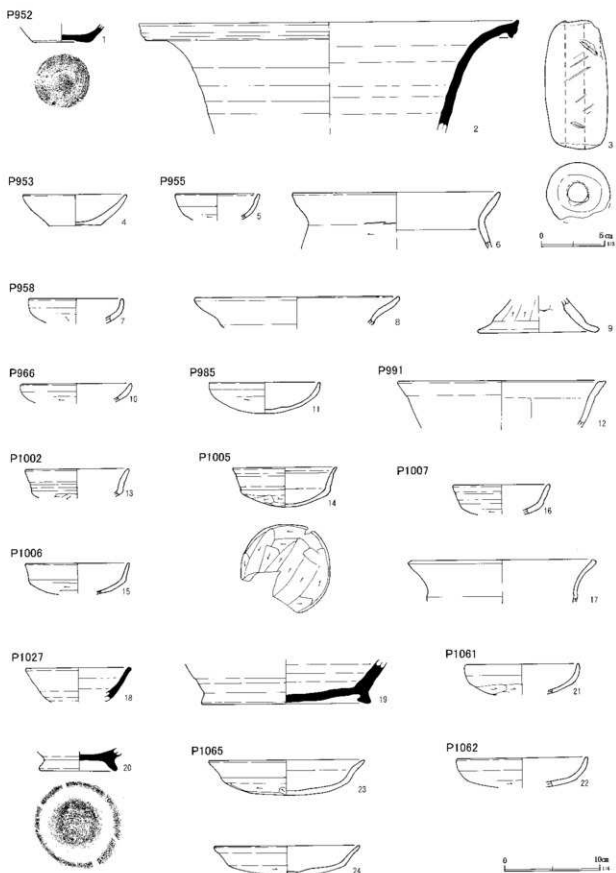


第97図 ビット (3)

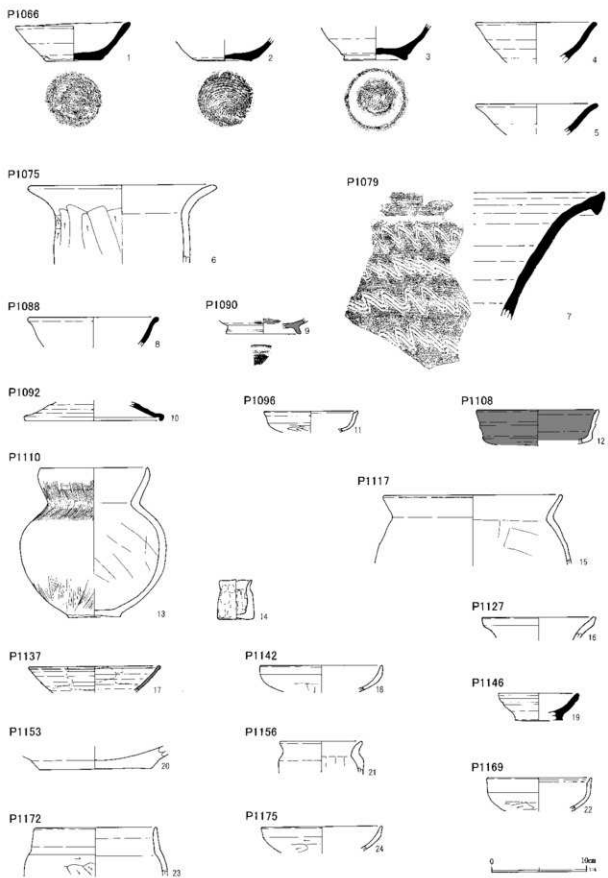
P102	1 暗褐色土 2 暗褐色土	黄褐色土粒子層状に含む。黄褐色土ブロック 1.0×0.2 程度 黄褐色土粒が塊状に散入。塊土粒了。炭化物粒了 が凝状に入る。灰色を帯びる。粘性あり	P120	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 灰色土	褐色粘土多量 褐色粘土多量。粘性強い 褐色粘土多量。粘性強い 褐色土粘質土粒子少量
P104	1 暗褐色土 2 暗褐色土	ブロック状。黄褐色～黄褐色土ブロック含む。 炭化物粒子少量 暗褐色土・黄褐色土ブロック含む。粘り強い。	P121	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 暗褐色土	褐色粘土・褐色土粘質土粒了多量 褐色土粘質土粒子多量。粘性強い 褐色土多量。黄褐色土粒子少量 黄褐色土粒子少量。暗褐色土粘質土粒子少量
P105	1 暗褐色土 2 暗褐色土	黄褐色土粒了を含む 黄褐色土ブロック含む	P122	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土	塊土粒子。炭化物粒子・黄褐色土粒了を凝状に含む 1層よりやや黄色味強い。塊土粒了多量 ブロック状
P107	1 黄褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土 4 黄褐色土 5 黄褐色土 6 黄褐色土	黄褐色土ブロック含む ブロック状 塊土粒子・土層片含む 黄褐色土ブロック多量 4層より黄褐色土ブロック少量 粘質土	P124	1 暗褐色土 2 黄褐色土 3 暗褐色土	黄褐色土ブロック(0.20~30cm)を塊状に含む ブロック状 やや灰色を帯びる。粘性強い。
P107	1 黄褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土 4 黄褐色土 5 黄褐色土	灰色粘土上ブロック含む ブロック状 炭化物粒子・塊土粒子含む ブロック状。黄褐色土粒子多量	P129	1 暗褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土 4 暗褐色土	塊土粒了多量。黄褐色土粒了少量 褐色土粘質土粒子多量。褐色土粒子多量 褐色土粘質土粒子多量。粘性あり 粘質土。黄褐色土粒子少量。粘性強く塊
P107	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 暗褐色土	塊土。炭化物。黄褐色土粒了多量。褐色土粒了多量 褐色土粒子少量。粘性強い 黄褐色土粒了少量。粘性強い 塊土粒子・炭化物粒子含む。黄褐色土粒子多量	P130	1 暗褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土 4 暗褐色土	黄褐色土粒了(0.5~1.5cm)少量 黄褐色土粒了多量。粘性あり
P109	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 暗褐色土	塊土・炭化物。黄褐色土粒了多量。褐色土粒了多量 褐色土粒子少量。粘性強い 黄褐色土粒了少量。粘性強い 塊土粒子・炭化物粒子含む。黄褐色土粒子多量	P132	1 黄褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土 4 暗褐色土	粘性強い。炭化物粒子含む 黄褐色土粘土・ブロック含む 炭化物。黄褐色土粒子含む やや粘質。粘性あり
P109	1 黄褐色土 2 黄褐色土	塊土粒子・炭化物粒子多量。黄褐色土粒子少量。粘性 強い 黄褐色土粒子少量。粘性あり	P133	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 暗褐色土	黄褐色土粒了少量。塊土粒了多量 ブロック状 黄褐色土粒了多量 黄褐色土粘土・ブロック多量。粘性あり 黄褐色土粒了少量。粘性強い。粘り取り弱
P116	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土	炭化物粒了多量。黄褐色土粒了少量 炭化物粒子少量。黄褐色土粒子多量。粘性あり 炭化物粒了多量。褐色土粒了少量。粘性あり	P139	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土	炭化物粒子少量。黄褐色土粒子少量。粘質土 炭化物粒子少量。黄褐色土粒子少量 やや粘質の黄褐色土多量。粘質土
P112	1 黄褐色土 2 黄褐色土	塊土粒子・炭化物粒子・黄褐色土粒子含む 暗褐色土・炭化物粒子・黄褐色土粒子1層より多量	P172	1 暗褐色土 2 暗褐色土	炭褐色土粒了少量。粘質あり
P113	1 黄褐色土 2 黄褐色土	炭化物粒了。黄褐色土粒了を含む 塊土粒子・炭化物粒子含む。しりり強い	P177	1 暗褐色土 2 暗褐色土	炭褐色土粒了少量。粘質あり
P114	1 黄褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土	塊土粒子・炭化物粒子含む 炭化物粒子・黄褐色土粒子含む	P120	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土 4 黄褐色土	炭化物粒子含む。しりりあり 灰色土粒子少量 黄褐色土ブロック少量 黄褐色土 黄褐色土粒子多量。しりりあり
P117	1 黄褐色土 2 黄褐色土 3 暗褐色土	灰色土粒子少量 黄褐色土粒了多量。炭化物粒了少量 灰色土粒子。炭化物少量	P129	1 暗褐色土 2 暗褐色土	褐色土粘土・黄褐色土粒了少量。粘質土 灰色土粒子少量。粘性強い
P117	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土	黄褐色土ブロック多量 黄褐色土 粘性強い。	P132	1 暗褐色土 2 黄褐色土 3 暗褐色土	黄褐色土ブロック多量 黄褐色土粘土・黄褐色土 褐色土粘質土少量。やや粘質
P119	1 暗褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土	黄褐色土粒子多量 黄褐色土粒了少量 黄褐色土	P131	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土 4 暗褐色土	黄褐色土ブロック含む 黄褐色土ブロック含む 黄褐色土ブロック含む やや粘質。粘性あり
P119	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 暗褐色土	黄褐色土粒了・ブロック(0.5~2.0cm)少量 黄褐色土粒了(0.5~1.0cm)少量。やや粘性あり 黄褐色土粒了(0.5~1.0cm)少量。粘性強い。	P132	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土	黄褐色土ブロック含む 黄褐色土ブロック多量 粘質土。黄褐色土ブロック含む
P119	1 黄褐色土 2 黄褐色土 3 黄褐色土	黄褐色土粘土・黄褐色土上ブロック含む 黄褐色土粘土・黄褐色土上ブロック含む 黄褐色土粘土・砂質土多量	P133	1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黄褐色土	黄褐色土ブロック含む 黄褐色土ブロック含む 粘質土。黄褐色土ブロック含む



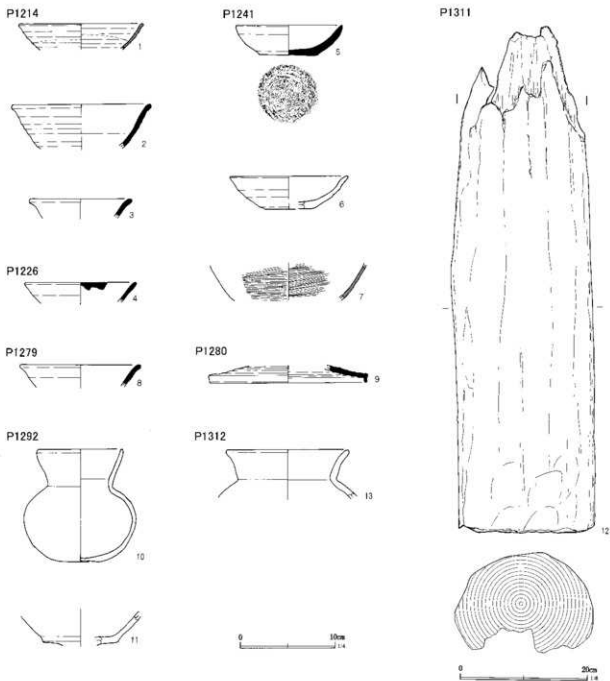
第100図 ビット出土遺物 (1)



第101図 ビット出土遺物(2)



第102図 ビット出土遺物 (3)



第103図 ビット出土遺物 (4)

第34表 ビット出土遺物観察表(1)

採り番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
100 1	P	880	須恵器 環	(13.9)	[1.3]	—	破片	雲 白粒	普通	褐灰	赤彩	25
100 2	P	883	土師器 環	(11.7)	[2.4]	—	破片	角 白粒 黒粒	普通	にふい黄粒		
100 3	P	885	土師器 罍	(19.4)	[10.2]	—	口縁1/2	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	不良	灰褐		
100 4	P	888	土師器 環	(13.1)	[2.4]	—	破片	石英 針	普通	赤		
100 5	P	889	土師器 環	(11.0)	[2.4]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	橙		
100 6	P	892	須恵器 環	(12.0)	[3.0]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	橙		
100 7	P	892	須恵器 環	(12.6)	[3.0]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	黄灰		
100 8	P	905	土師器 環	(15.0)	[3.0]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒褐		
100 9	P	907	土師器 環	(12.0)	[2.2]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	不良	褐		
100 10	P	907	土師器 罍	(16.0)	[3.5]	—	破片	角 砂粒 赤粒 白粒	良好	黒褐		
100 11	P	907	土師器 罍	(21.0)	[5.5]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰黄褐		
100 12	P	914	須恵器 高台付埴	—	[1.8]	(7.2)	1/4	白粒 黒粒	普通	灰白		
100 13	P	923	土師器 環	(11.0)	[3.4]	—	1/3	雲 白粒	不良	にふい橙		
100 14	P	924	土師器 環	(12.0)	[2.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	橙		
100 15	P	924	土師器 環	(11.0)	[2.3]	—	破片	雲 角 白粒	普通	にふい橙		
100 16	P	932	須恵器 環	(17.0)	[3.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰		
100 17	P	932	土師器 環	(13.0)	[3.2]	—	1/4	雲 角 石英 砂粒 白粒	不良	橙		
100 18	P	932	土師器 環	(12.0)	[2.5]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	良好	橙		
100 19	P	932	土師器 罍	(20.0)	[4.5]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄粒		
100 20	P	937	土師器 環	(15.0)	[2.5]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい橙		
100 21	P	937	土師器 環	(16.0)	[3.5]	—	破片	角 赤粒 白粒	不良	にふい黄粒		
100 22	P	937	土師器 環	(11.0)	[2.1]	—	破片	雲 角 石英 白粒	普通	黒		
100 23	P	937	須恵器 環	(14.2)	[4.2]	—	破片	角 黒粒 煙	良好	灰白		
100 24	P	937	須恵器 蓋	(18.0)	[1.6]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰		
100 25	P	937	須恵器 罍	(17.5)	4.0	12.4	底部完形	雲 砂粒 赤粒 白粒 煙	普通	褐灰		
100 26	P	937	土師器 罍	(19.0)	[4.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい橙		
100 27	P	944	土師器 罍	(21.0)	[5.1]	—	破片	雲 砂粒 赤粒	普通	にふい黄粒		
101 1	P	952	須恵器 環	—	[1.6]	6.0	4/5	角 白粒 黒粒	普通	淡黄		
101 2	P	952	須恵器 罍	(40.0)	[11.7]	—	破片	白粒 黒粒 煙	良好	灰		
101 3	P	952	土製品 土鍾	長10.2	幅4.9	孔径1.5	3/5	雲 砂粒 赤粒 白粒	良好	褐		
101 4	P	953	土師器 環	(11.0)	3.3	(5.4)	1/5	雲 角 赤粒 白粒	良好	浅黄粒		
101 5	P	955	土師器 環	(9.0)	[2.7]	—	破片	雲 赤粒 黒粒	普通	橙		
101 6	P	955	土師器 罍	(22.0)	[6.0]	—	1/4	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙		
101 7	P	958	土師器 環	(10.2)	[2.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙		
101 8	P	958	土師器 環	(22.0)	[3.1]	—	破片	角 石英 赤粒 白粒	普通	橙		
101 9	P	958	土師器 高環	—	[3.7]	(13.0)	破片	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		
101 10	P	966	土師器 環	(12.0)	[2.0]	—	破片	角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい黄粒		
101 11	P	985	土師器 環	(12.0)	3.2	—	破片	雲 角 白粒	普通	橙		
101 12	P	991	土師器 鉢	(22.0)	[5.0]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	明赤褐		
101 13	P	1002	土師器 環	(11.0)	[3.0]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰褐		
101 14	P	1005	土師器 環	11.0	4.2	9.5	3/4	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒褐		
101 15	P	1006	土師器 環	(11.0)	[3.3]	—	1/5	角 石英 砂粒 白粒	不良	橙		
101 16	P	1007	土師器 環	(10.5)	[3.2]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	不良	橙		
101 17	P	1007	土師器 罍	(20.0)	[4.5]	—	破片	砂粒 白粒	普通	にふい黄粒		
101 18	P	1027	須恵器 環	(11.2)	[3.5]	—	1/2	雲 赤粒 白粒	不良	黒褐		
101 19	P	1027	須恵器 罍	—	[4.7]	18.0	1/4	赤粒 白粒 黒粒	良好	灰白		
101 20	P	1027	土師器 高台付埴	—	[2.4]	8.3	雲 砂粒 白粒 黒粒	普通	橙			
101 21	P	1061	土師器 環	(11.8)	[3.2]	—	1/4	角 石英 白粒	普通	橙		
101 22	P	1062	土師器 環	(14.0)	[3.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙		
101 23	P	1065	土師器 環	16.5	3.8	—	完形	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	橙		
101 24	P	1065	土師器 環	(15.6)	[3.8]	—	3/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にふい橙		
102 1	P	1066	須恵器 環	12.2	4.0	6.0	3/4	雲 角 白粒	普通	灰白		
102 2	P	1066	須恵器 環	—	[2.2]	5.8	2/3	雲 白粒 黒粒	普通	灰白		
102 3	P	1066	須恵器 高台付埴	—	[3.6]	6.8	3/4	雲 石英 白粒 黒粒	普通	灰白		
102 4	P	1066	須恵器 環	(13.0)	[4.3]	—	破片	雲 砂粒 白粒	普通	灰白		
102 5	P	1066	須恵器 環	(13.0)	[3.2]	—	1/4	雲 角 砂粒 白粒	不良	にふい黄褐		
102 6	P	1075	土師器 罍	(19.5)	[8.3]	—	1/4	雲 角 赤粒	普通	橙		

第35表 ビット出土遺物観察表(2)

検出番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図取		
102	7	P	1079	須忠器	甕	66.0	[13.8]	—	破片	白粒 黒粒 礫	良好	灰	尾北	46
102	8	P	1088	須忠器	環	(14.0)	[3.2]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰		
102	9	P	1090	緑釉陶器	壺	—	[1.7]	(7.9)	破片	白粒 黒粒	良好	黄灰		
102	10	P	1092	須忠器	蓋	(15.0)	[2.0]	—	破片	白粒 針	良好	灰		
102	11	P	1096	土師器	環	(10.0)	[2.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
102	12	P	1108	土師器	環	(13.0)	[3.7]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
102	13	P	1110	土師器	壺	(11.2)	15.9	(5.6)	1/2	角 石英 白粒	普通	浅黄橙		
102	14	P	1110	土師器	ミニチュア	3.25	4.1	3.3	完形	雲 角 白粒 黒粒	普通	明赤褐		
102	15	P	1117	土師器	甕	(19.0)	[7.2]	—	1/4	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
102	16	P	1127	土師器	壺	(12.0)	[2.2]	—	破片	雲 角 赤粒	普通	にぶい黄橙		
102	17	P	1137	灰釉陶器	壺	(13.9)	[2.8]	—	破片	白粒	良好	灰白	二川	48
102	18	P	1142	土師器	環	(13.0)	[2.8]	—	破片	角 赤粒 白粒	不良	橙		
102	19	P	1146	須忠器	環	(8.6)	2.9	(5.0)	破片	雲 赤粒	不良	浅黄橙		
102	20	P	1153	土師器	甕	—	[1.5]	(12.0)	1/5	角 砂粒 赤粒	普通	にぶい黄橙		
102	21	P	1156	土師器	小型壺	(9.0)	[3.4]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	橙		
102	22	P	1169	土師器	環	(11.0)	[3.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	良好	にぶい褐		
102	23	P	1172	土師器	甕	(13.0)	[5.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
102	24	P	1175	土師器	環	(13.0)	[2.7]	—	破片	雲 角 石英 砂粒 白粒	普通	橙		
103	1	P	1214	灰釉陶器	壺	(13.2)	[2.8]	—	破片	長石 石英 黒粒	普通	灰白	浜北	48
103	2	P	1214	須忠器	高台付壺	(15.0)	[4.7]	—	破片	雲 角 赤粒 黒粒	不良	橙		
103	3	P	1214	須忠器	環	(11.0)	[2.0]	—	破片	角 白粒	普通	黒		
103	4	P	1226	須忠器	環	(12.0)	[2.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	灰褐		
103	5	P	1241	須忠器	環	11.3	3.2	6.0	ほぼ完形	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		
103	6	P	1241	内黒土器	環	(12.6)	3.5	(5.0)	破片	雲 角 白粒 針	普通	にぶい黄橙		
103	7	P	1241	緑釉陶器	壺	—	[4.0]	—	破片	白粒	良好	灰	尾北	46
103	8	P	1279	須忠器	環	(13.0)	[2.3]	—	破片	雲 白粒	普通	灰白		
103	9	P	1280	須忠器	蓋	(17.0)	[2.0]	—	破片	雲 白粒 黒粒	良好	にぶい黄橙		
103	10	P	1292	土師器	壺	8.9	12.0	—	完形	石英 赤粒 白粒 礫	普通	にぶい黄橙	赤彩	
103	11	P	1292	土師器	高環	—	[3.1]	—	1/5	石英 赤粒 白粒 礫	不良	にぶい橙		
103	12	P	1311	木製品	柱	長さ[67.3]	径18.5	—	—	樹種：ヒノキ	—	—		
103	13	P	1312	土師器	甕	(11.0)	[5.0]	—	1/4	雲 白粒	普通	にぶい黄橙		

6. 溝跡

下田町遺跡東側調査区で検出した溝跡は112条である。東側調査区で152条の溝跡を検出し、平成13年度実施した下田町遺跡の発掘調査の結果、267条の溝跡を検出したことになる。検出した溝跡は、古墳時代前期・後期、奈良・平安時代、中世にいたる各時代のもので、時代ごとにおおまかな特徴がまとめられた。本書では、特に東側調査区の溝跡112条についてその概要と事実報告を記す。

東側調査区で検出された溝跡は、112条である。このうち、西側調査区域から明らかに東側調査区域に伸びている溝跡がある。これらは、第21・80・85・87・89・94・95・105・127・139号溝跡である。東側調査区で新たに検出した溝跡は第153号溝跡以降の番号を付した。

古墳時代後期の溝跡は、おおむね、自然堤防上に検出された本集落の構成に階層的に造られていることが明らかとなった。第一段階として、自然堤防の周囲に大きな溝跡が閉塞されている。これは遺跡北側で検出した第80号溝跡である。西側調査区から伸びる東西100mの距離を検出した。溝幅は4m前後、深さ1～2mとかなり大規模な溝跡である。集落はこの大溝の南西に展開する。

大溝跡からは、大量の土器や木製品及び貝や骨などの自然遺物が検出された。当時の人々にとってこの大溝跡は集落への排水と同時に廃棄の場であったことを意味する。

第二段階は、第16・44号溝跡に見られるように大溝から南北に集落内を縦断する溝跡が西側調査区で検出されている。

そして第三段階は、第21・105・207・226・218・219号溝跡に見られるように、縦断する溝跡から弧を描くように大溝に向け掘削されている。大溝との合流点は溝の高低差を利用して逆流を防いでいたと捉えられるが、調査時に堰のような施設を検出することはできなかった。しかし、合流点付近からはほぼ完形の須恵器壺など遺物が検出することから何らか

の意味があったものと考えられる。

そして第四段階は、第二段階に造られた縦断する溝跡又は、第三段階に造られた弧を描いて大溝に繋がる溝から造構を取り囲む住居外側の周溝である。

第166・167・173・177号溝跡は第60・66・67号住居跡の外側周溝と捉えられる。また、第178号溝跡は第52号住居跡の外側周溝と捉えられる。さらに、第184・187号溝跡は第54～58号住居跡の住居群を取り囲む外側周溝の可能性が大きい。

このように階層的に溝跡が規約的に造られていることが明らかになった。

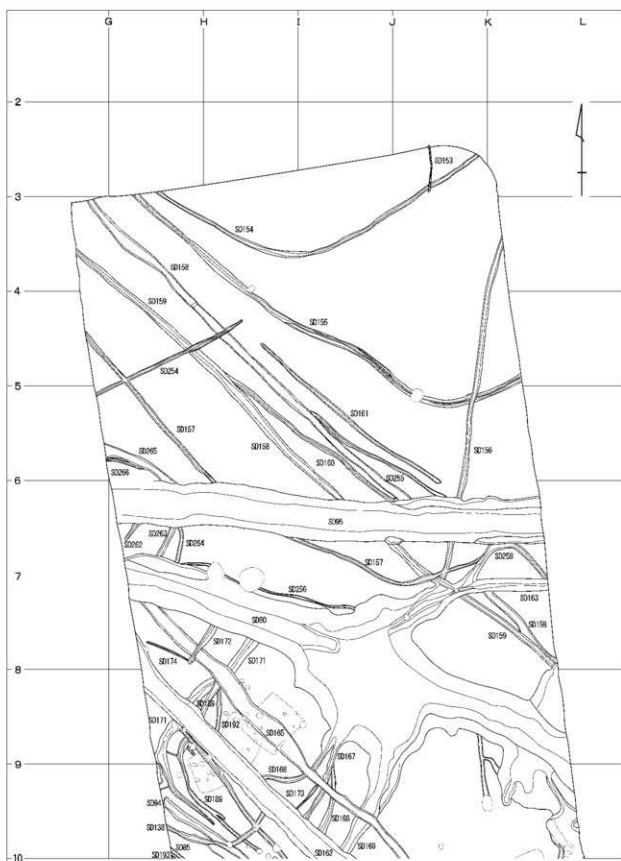
しかし、ここで、注目すべき点として第二段階の第16号溝跡と第44号溝跡には時期差が明らかに存在し、重複する点である。つまり、さらに、細かな検討を重ね溝跡の構成を検討する必要がある。

このほか、第213・220号溝跡は平行した溝跡で、両脇の側溝をもつ道路造構として捉えられる。

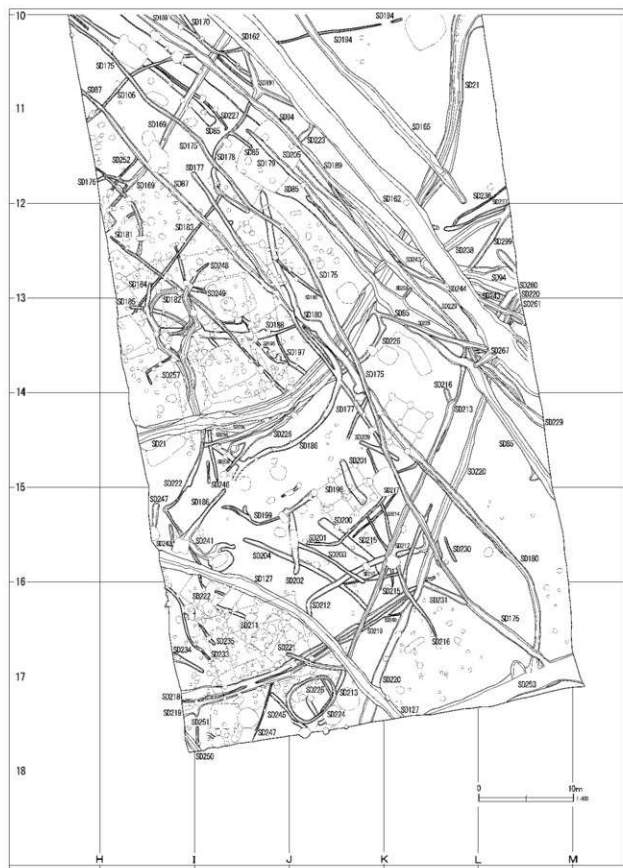
奈良・平安時代は、古墳時代後期とは様相を大きく変化させることが明らかとなった。調査区北側には、東西方向に伸びる大溝を検出した。出土遺物がほとんど検出されなかったため、時期は不明であるが平安時代以降と考えられる。この大溝はおそらく、集落の北限を画する溝跡もしくは、条里地割の溝跡と考えられる。そして、西側調査区ではあまり検出されなかったが、東側調査区は、自然堤防の縁辺にあたる。このことが溝跡の存在を大きく左右している。つまり、奈良・平安時代の溝跡は、地形に沿って北西方向から南東方向に斜めに溝跡が幾重にも掘削されている。数棟の建物跡が検出されたものの住居域の縁辺である。

また、調査区南側で検出された第253号溝跡の存在が注目される。

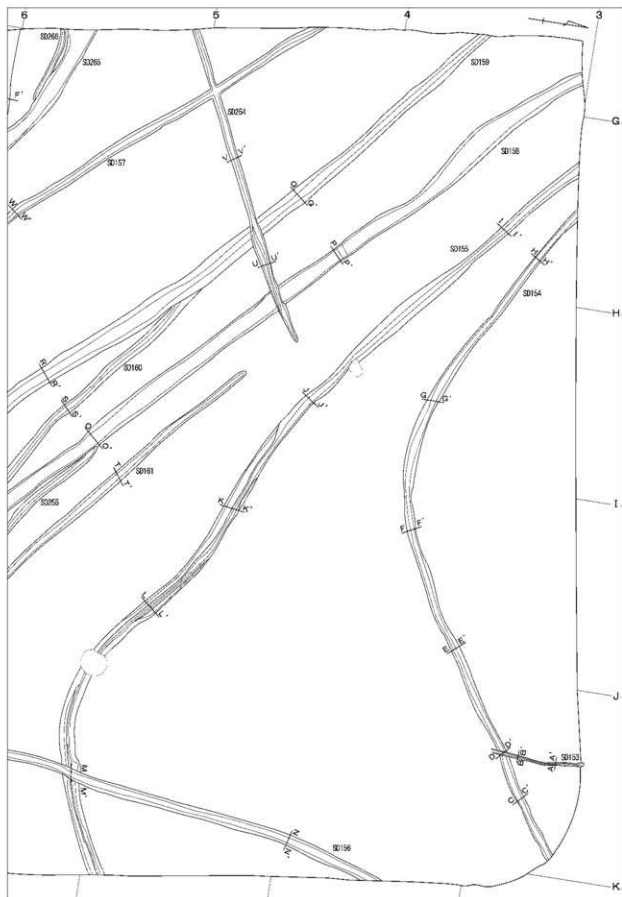
中世の遺構はほとんど検出されず、第127号溝跡だけである。本溝跡は西側調査区の第2号溝跡から斜めに伸びる溝跡である。掘り込みも深く断面は、逆三角形の「V」字状である。



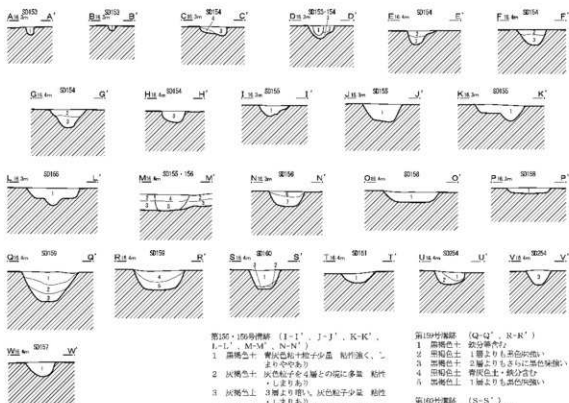
第104図 下田町遺跡清跡全体図 (1)



第105図 下田町遺跡清跡全体図(2)



第1061図 清跡 (1)



- 第153・154号溝跡 (A-A', B-B', C-C', D-D', E-E', F-F', G-G', H-H')
- 1 黄褐色土 黒色粘土含む 粘り強く、しまりややなし
 - 2 黒褐色土 褐色土多量 粘り強く、しまりややあり
 - 3 黒灰色土 青灰色粘土粒子含む 粘り強く、しまりやや弱し
 - 4 写灰色土 黒山河灰色粘土上の層理的な層

- 第155・156号溝跡 (I-I', J-J', K-K', L-L', M-M', N-N')
- 1 黒褐色土 青灰色粘土粒子少量 粘り強く、しまりややあり
 - 2 灰褐色土 灰色粘土を4層との間に多量 粘り強し、しまりあり
 - 3 灰褐色土 3層より粗く、灰色粘土少量 粘り強し、しまりあり
 - 4 灰褐色土 黒色粘土・灰色粘土少量 粘り強し、しまり強し
 - 5 灰褐色土 灰褐色粘土少量 粘り強く、しまりあり
 - 6 暗褐色土 褐色土多量 粘りやや弱く、しまりあり
 - 7 黒灰色土 青灰色粘土多量 粘り強く、しまりあり
- 第157号溝跡 (W-W')
- 1 黒褐色土 灰色粘土を含む

- 第158号溝跡 (O-O', P-P')
- 1 黒褐色土 青灰色土含む

- 第159号溝跡 (Q-Q', R-R')
- 1 黒褐色土 粘土層含む
 - 2 黒褐色土 1層より黒色の粘土
 - 3 黒褐色土 2層よりさらに黒色粘土
 - 4 暗褐色土 青灰色土・粘土含む
 - 5 黒褐色土 1層より黒色の粘土

- 第160号溝跡 (S-S')
- 1 黒褐色土 青灰色土含む
 - 2 青灰色土 粘り強し
 - 3 暗褐色土 1層より黒色の粘土

- 第161号溝跡 (T-T')
- 1 暗褐色土 青灰色土含む

- 第162号溝跡 (U-U', V-V')
- 1 暗褐色土 褐色土含む、粘質土
 - 2 黄褐色土 粘質土、粘質土
 - 3 黒褐色土 青灰色土含む



第107図 溝跡 (2)

東区の北端側は、黄褐色の二次堆積のようなローム土を地山とし、鉄分粒子が混在した粘土質である。標高は概ね16.2mのレベルが東西方向に測定される。(付図 全測図参照)

また、耕作面から遺構確認面までの深さは、約2.0mである。調査区の南側では約1.0m程で南北の遺構確認面までの深度は1mほどの異差が存在する。

北側の約30m程の範囲は、北西から南東方向に伸びる幅50cm程の第157～161・255号溝跡、北西から東側に屈曲する第154・155号溝跡、北東から南西方向に伸びる第156・254号溝跡に分けられる。

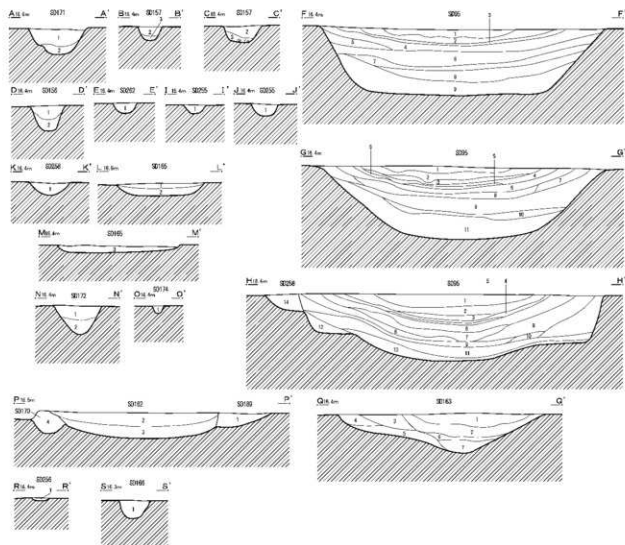
検出された遺物はほとんどなく、古墳時代後期か

ら平安時代の遺物がわずかに出土した。調査区南側の遺構の掘削方向や西側調査区の溝跡の掘削傾向からみて、北側の範囲に検出された遺構は古墳時代後期、奈良・平安時代および中世と推測される。

北西から南東方向に伸びる遺構は、第158号溝跡と第159号溝跡はほぼ平行する。溝跡の溝間の幅は約2.5～4.0m前後を測る。また、重複するものの第160号溝跡と第161号溝跡および第255号溝跡も平行する。いずれも、古墳時代後期の遺物(第139図)を出土し、これらの遺構は集落の北側にあたり、自然堤防の外縁を北西方向に直線的に伸び、道路遺構の可能性も指摘できる。



第108回 清跡 (3)



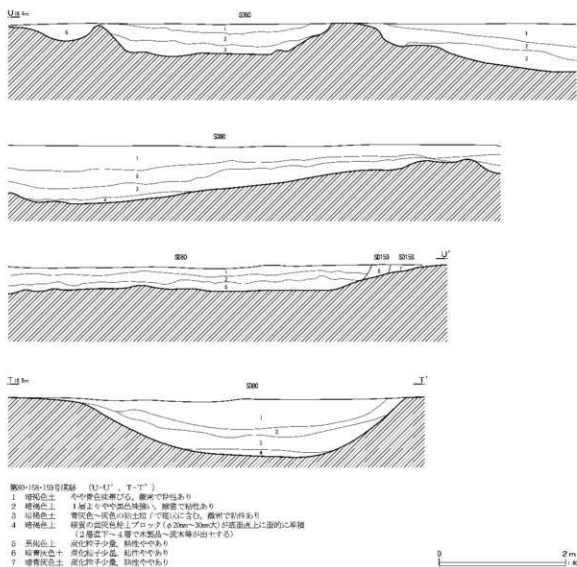
- 第69号横断 (P 1', G G', H H')
- 1 灰褐色粘質土 灰化粘粒0.3~0.5(m)少量 粗粒存在極少量
 - 2 灰褐色粘質土 1層より粗粒多くなる 古灰色土層中に含む
 - 3 灰褐色粘質土 貝のカナルシム分・灰化粘粒(粒径0.5~2.0)・植物多量
 - 4 黒褐色土 腐葉状の植物多量 しまりややなし
 - 5 灰褐色土 4層と類似、粘性ややあり
 - 6 黒褐色粘質土 4層と類似、6層の形質や全体的に 黒色味を帯びている
 - 7 灰褐色粘質土 灰化粘粒少量
 - 8 灰褐色粘質土 灰化粘粒(0.5~1.0m)多量
 - 9 灰褐色粘質土 灰化粘粒少量
 - 10 灰褐色粘質土 灰化粘粒(0.5~1.0m)多量
 - 11 灰褐色粘質土 灰化粘粒多量
 - 12 灰褐色粘質土 11層より香味がない
 - 13 青灰色粘質土 灰褐色粘質土(0~3.0m)中に含む
 - 14 暗褐色土 3035801層と同一
- 第159号横断 (K1-J1')
- 1 灰褐色土 古灰色粘土粘子・微分含む
 - 2 灰褐色土 青灰色粘土ブロック中に含む
- 第157号横断 (B-B', C-C')
- 1 黒褐色土 青灰色土を含む
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土粘子多量
 - 3 黒褐色土 青褐色土少量

- 第162-170-189号横断 (P-P')
- 1 暗褐色土 青灰色土ブロック含む、粘性あり
 - 2 暗褐色土 粘土少量
 - 3 暗褐色土 粘土少量、粘性ややあり
 - 4 暗褐色土 黄褐色土多量
- 第163号横断 (Q-Q')
- 1 灰褐色土 青灰色土層中に含む
 - 2 灰褐色土 灰褐色粘土含む
 - 3 灰褐色土 2層より、黒色味が強い、青灰色粘土を含む
 - 4 暗褐色粘質土 灰褐色粘土を含む
 - 5 灰褐色土 灰褐色粘土を含む
 - 6 暗褐色粘質土 青灰色土ブロック中に含む
 - 7 灰褐色土 粘性
- 第165号横断 (L-L', M-M')
- 1 暗褐色土 コーホム粘子少量
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土粘子少量
 - 3 暗褐色土 陸粒多量、青灰色粘質土粘子少量
- 第166号横断 (S-S')
- 1 暗褐色土 青灰色粘子・陸粒少量
- 第171号横断 (A-A')
- 1 灰褐色土 青灰色粘土粘子・微分含む
 - 2 灰褐色土 灰褐色土ブロック多量、粘粒ややあり

- 第174号横断 (N-N')
- 1 暗褐色土 硬粘土・灰化粘粒多量 黄褐色粘土粘子少量
 - 2 暗褐色土 硬粘土粘子少量
- 第174号横断 (O-O')
- 1 暗褐色土 灰化粘粒少量 黄褐色粘土粘子多量
- 第180号横断 (I 1', J 1')
- 1 暗褐色土 暗褐色粘土粘子少量、粘質土、しまり強い
- 第181号横断 (R-R')
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土少量
- 第186号横断 (K-K')
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土少量
- 第187号横断 (V-V')
- 1 暗褐色土 灰褐色粘土粘子・黄色粘質土粘子含む



第109図 溝跡 (4)



第110図 溝跡 (5)

調査区北側の標高約16.3mの地点に第80号溝跡が東西方向に検出された。本溝跡は西側調査区から連続するものであるが、東側調査区では、三箇所の合流点を確認された。一箇所は北側に伸びる第163号溝跡、他の二箇所は集落内の排水溝として機能したと考えられる第21・169号溝跡である。合流箇所は溝幅が約12m程あり底面は平坦である。堰跡や水門跡などの施設は確認できなかったが、第21号溝跡の合流点付近には連続するピットが検出された。

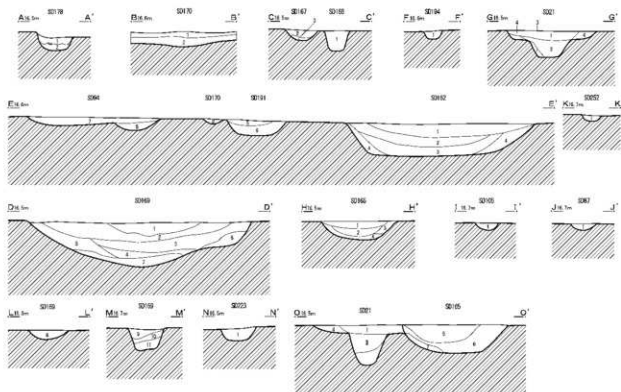
また、第169号溝跡の合流点からは須恵器の中型の壺を検出した。

この他、標高16.4m～16.5m付近を北西から南東方向にほぼ直線的に伸びる溝跡が集中して検出された。これらの溝跡の多くは西側調査区から連続して伸びる溝跡である。検出された遺構から奈良・平安時代および中世段階の溝跡である。古墳時代後期の溝跡よりわずかに南側に位置し、奈良時代以降に集落の範囲が変化したと考えられるが、いずれにしても自然堤防の縁辺にあたる。

奈良時代は第87・94・177号溝跡、平安時代は第162・165・175号溝跡、中世は第85号溝跡などである。



第1111図 清跡 (6)



第112区溝跡 (G・Q・O・Q')

説明

- 1 灰褐色土 黄褐色土粘質土少量、粘質土
- 2 暗灰色土 古灰色粘質土(φ0.2~0.5mm)多量粘質土
- 3 古灰色土 黄褐色粘質土少量、粘質土、粘質土
- 4 暗灰色土 褐色土粘土少量、粘質土
- 説明
- 5 暗灰色土 黄褐色粘質土粘土(φ0.5~0.6mm)少量粘質土
- 6 暗灰色土 青灰色粘質土(φ0.5~1.0mm)少量 粘質土
- 7 青灰色土 黄褐色粘質土少量、粘質土

第17号溝跡 (J・J')

- 1 暗褐色土 黄土粒を含む、土層片多量

第14・18号溝跡 (E・E')

- 1 暗灰色土 褐色粘土(固)、青灰色粘質土粘土少量 粘質土
- 2 暗灰色土 1層より厚い、青灰色土粘土(φ0.1~0.3mm)多量、粘質土
- 3 暗灰色土 2層に厚くなる、粘性強い、粘質土
- 4 古灰色土 褐色土粘土・暗灰色粘質土粘土粘土少量、粘質土
- 5 暗褐色土 褐色土粘土多量、古灰色粘質土粘土・暗灰色粘土粘土少量、粘質土、粘質土
- 6 暗灰色土 褐色土粘土・古灰色土粘土少量、粘性あり
- 7 暗褐色土 褐色土粘土多量、暗灰色粘土粘土、粘質土
- 8 暗褐色土 褐色土粘土・青灰色土粘土多量、粘質土
- 9 暗褐色土 褐色土粘土多量

第10号溝跡 (I・I')

- 1 暗褐色土 粘土粘土・炭化物粘土少量 黄褐色土

第15号溝跡 (H・H')

- 1 暗褐色土 炭化物粘土を含む、粘性・しまりあり
- 2 暗褐色土 炭化物粘土を含む、粘性・しまりあり
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土粘土粘土
- 4 黄褐色土

第16号溝跡 (C・C')

- 1 暗灰色土 粘土・黄褐色粘質土粘土少量
- 2 暗灰色土 炭化物多量 炭化物粘土・古灰色粘土
- 3 古灰色土

第18号溝跡 (D・D')

- 1 暗褐色土 炭化物を含む、青灰色土少量
- 2 暗褐色土 青灰色土粘土多量 1層より青灰色粘強い
- 3 暗青灰色土 青灰色土粘土を含む、黄褐色成層ひく
- 4 暗褐色粘土 青灰色粘土粘土粘土を含む
- 5 暗褐色粘土 黄褐色粘土を含む
- 6 古灰色粘土 黄褐色粘土1層より含む
- 7 黄褐色粘土 褐色土粘土多量
- 8 暗褐色土 1層より厚い(φ0.2~0.5mm)少量
- 9 暗褐色土 赤土面にローム粘土(φ0.5~0.6mm)多量 石上面に褐色土粘土
- 10 暗褐色土 粘性の中あり

第17号溝跡 (H・H')

- 1 暗褐色土 褐色土粘土・黄褐色土粘土粘土 粘性あり
- 2 暗灰色土 褐色土粘土・古灰色粘質土粘土粘土 粘土あり

第17号溝跡 (A-A')

- 1 暗褐色土 炭化物粘土粘土粘土 黄褐色土粘土多量
- 2 暗褐色土

第18号溝跡 (F・F')

- 1 暗褐色土 炭化物・灰色粘土粘土少量

第22号溝跡 (N・N')

- 1 古灰色土 暗灰色粘質土を底に多量 粘性あり

第23号溝跡 (K・K')

- 1 暗褐色土 暗褐色粘土多量、黄褐色土少量 粘性の中あり



第112区 溝跡 (7)

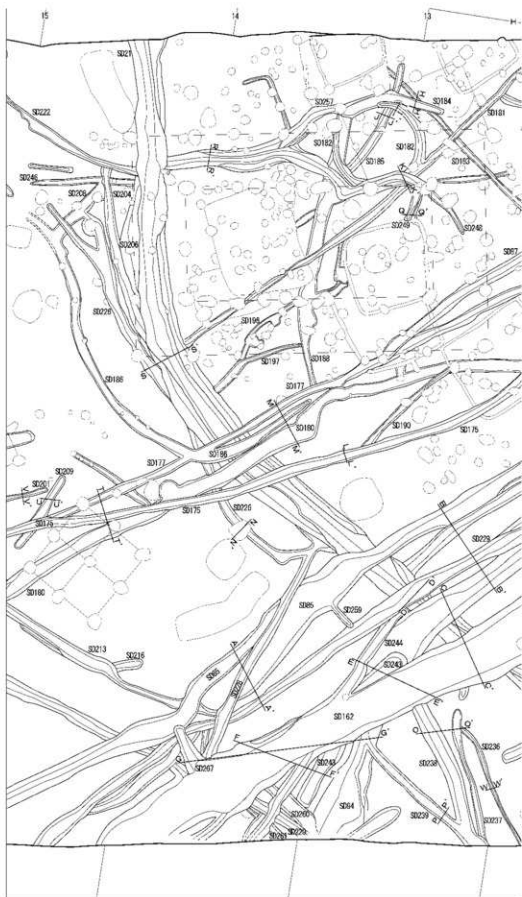
東側調査区の中央部分には、古墳時代後期の集落内で排水機能を持っていたと考えられる第21・169号溝跡が確認する。これらの溝跡は各住居跡の周囲に巡る支線となる溝跡の基線となっている。

いずれの住居跡も支線となる外側に周溝を持つ。

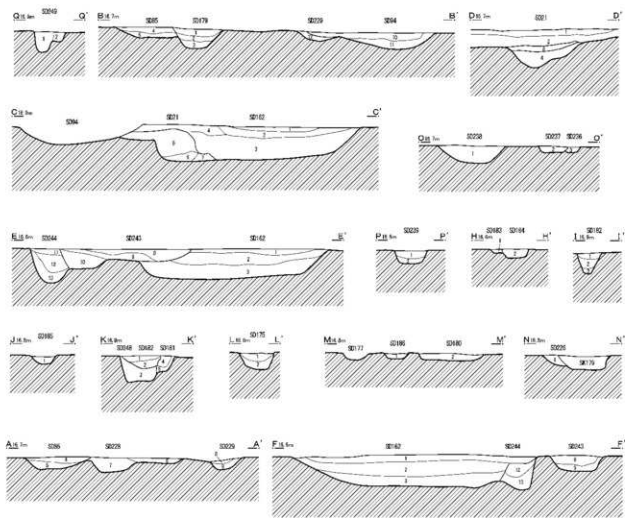
第248号溝跡は「ろ」の字状に屈曲し第55・56号住居

跡の外側周溝となっていると捉えられる。また、第178号溝跡は第52号住居跡の外側周溝である。さらに、第171号溝跡は第67号住居跡、第189号溝跡は第60号住居跡、第166・192号溝跡は第66号住居跡の外側周溝と捉えられることができる。

西側の調査区においても同様の遺構が検出されて



第113図 清跡 (8)



第21号探跡 (D-D')

- 1 暗褐色土 第10層と同じ
- 2 灰色粘土 S284の1層と同じ
- 3 黒色粘土 S2280の1層と同じだが、黄灰色の割合や多少あり
- 4 黒褐色土 灰色粘土上砂子多量 しまり、粘性ややあり

第21-102-201号探跡 (C-C', E-E', D-D')

- 1 黒褐色土 黄灰色粘土砂子、炭化物粘土含み、しまり、粘性やあり
- 2 黒色土 炭化粘土、黄灰色粘土砂子、炭化物、土層が含む、しまり、粘性やあり、灰色粘土上砂子、炭化物を含む、粘性強、
- 3 黒褐色土 黄灰色粘土砂子、炭化物粘土含み、しまりやあり
- 4 黒褐色土 黄灰色粘土砂子多量、しまり、粘性やあり
- 5 黒褐色土 黄灰色粘土ブロック砂子含む、しまりやあり
- 6 黄灰色土 灰色粘土上層
- 7 灰色土 炭化粘土、黄褐色粘土含む、粘性、しまりあり
- 8 黄褐色土 炭化粘土含む、粘性、しまりあり
- 9 黒褐色土 炭化粘土、黄褐色粘土多量、しまりやあり
- 10 黄褐色土 炭化粘土、黄褐色粘土多量、しまりやあり
- 11 黄褐色土 炭化粘土、黄褐色粘土多量、しまりやあり
- 12 黒褐色土 炭化粘土、黄褐色粘土多量、しまり、粘性やあり
- 13 黄褐色土 黄灰色粘土ブロック含む

第85-94-174-228-229号探跡 (A-A', B-B')

- 1 暗褐色土 黄灰色粘土含む
- 2 暗褐色土 1層より灰色粘土多量
- 3 暗褐色土 2層より同じだが、黄灰色土ブロック(φ10cm)少量
- 4 黒褐色土 炭褐色土少量、粘性やあり
- 5 黒褐色土 黄褐色土、黄褐色土少量、粘性やあり
- 6 黄褐色土 黄褐色土少量
- 7 黒褐色土 黄褐色土、黄褐色土少量
- 8 黒褐色土 褐色土多量
- 9 黒褐色土 黄褐色土少量、粘性やあり
- 10 黄褐色土 炭土粒下、ローム段下、植物繊維片少量
- 11 炭褐色粘土 黄灰色粘土
- 12 炭褐色粘土 炭褐色粘土粒を含む

第170号探跡 (L-L')

- 1 暗褐色土 炭土粒下、炭化物粘土(φ1~2cm)少量
- 2 暗褐色土 粘土粒下、炭化物粘土、黄褐色粘土少量

第181-182号探跡 (I-I', K-K')

- 1 暗褐色土 炭土粒下、炭化物粘土少量
- 2 黄褐色土 炭化物粘土少量、黄褐色粘土、ブロック(φ2~3cm)多量
- 3 暗褐色土 炭土粒下、炭化物粘土、黄褐色粘土少量
- 4 暗褐色土 炭化物粘土、褐色粘土少量
- 5 黄褐色土 暗褐色粘土上砂子少量

第183号探跡 (H-H')

- 1 暗褐色土 粘土粒下、炭化物粘土少量
- 2 暗褐色土 炭土粒下、炭化物粘土、黄褐色粘土少量

第185号探跡 (J-J')

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土少量

第186-188号探跡 (M-M')

- 1 暗褐色土 褐色粘土多量
- 2 黄褐色土 褐色粘土、黄褐色粘土少量

第225号探跡 (N-N')

- 1 暗褐色土 黄灰色粘土少量、黄褐色土

第227-228号探跡 (O-O')

- 1 暗褐色土 褐色粘土多量、粘土
- 2 黄褐色土 炭化粘土多量、粘土
- 3 黄褐色土 炭化粘土少量

第229号探跡 (P-P')

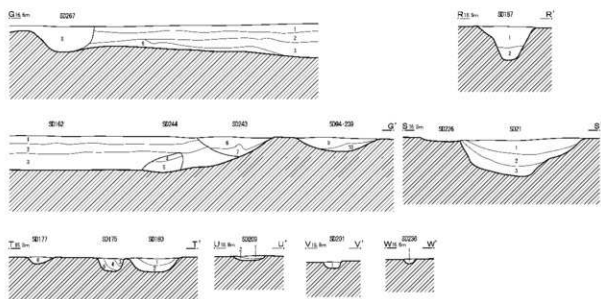
- 1 暗褐色土 炭化粘土多量、粘土
- 2 黄褐色土 炭化粘土多量、粘土

第230号探跡 (Q-Q')

- 1 暗褐色土 炭化粘土多量、粘土
- 2 黄褐色土 炭化粘土多量、粘土



第114区 溝跡 (9)



- 第21号溝跡 (S-S')
 1 埴粉色土 炭土粒子・炭化植物粒子微量
 2 灰褐色土 黒色土粒多・黄灰色粘土ブロック含む
 3 青灰色土 炭灰色粘土ブロック微量

- 第44-182-203-243-244-267号溝跡 (G-G')
 2202
 1 黒褐色土 炭化植物多・黄灰色粘土粒多・黄褐色土粒を含む
 しまり・粘性强みあり
 2 黄褐色土 炭化植物多・黄灰色粘土粒多・黄褐色土粒を含む
 しまり・粘性强みあり
 3 粘褐色土 炭化植物多・黄灰色粘土粒多・黄褐色土粒を含む
 粘性强み

- 2201
 4 埴粉色土 砂粒多・炭土粒を含む。しまり・粘性强み
 5 黄褐色土 青灰色粘土粒子ブロック含む

- 2203
 6 黒褐色土 炭化植物多・炭土粒子多
 7 黄褐色土 炭化植物多・粘土粒多・粘土ブロック含む

- 2207
 8 黄褐色土 炭化植物多・粘土粒を含む。しまり・粘性强み
 2242-249
 9 黒褐色土 炭化植物多・黄灰色粘土粒子含む
 10 黒褐色土 炭化植物多・黄灰色粘土ブロック多量

- 第175-177-180号溝跡 (T-T')
 1 灰褐色土 黄灰色土粒子少量、粘質土
 2 粘褐色土 黄灰色土粒子多・炭灰色土粒子少量、粘質土
 3 暗灰色土 黄褐色土多量、粘質土
 4 灰土 黄灰色土粒子少量、粘質土
 5 灰褐色土 黄褐色土多量、粘質土
 6 灰褐色土 褐色土粒子多量

- 第187号溝跡 (R-R')
 1 粘褐色土 粘土粒多・炭化植物粒子微量
 黄褐色土粒子多量

- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子少量
 第201号溝跡 (V-V')
 1 埴粉色土 黄褐色土

- 第209号溝跡 (U-U')
 1 埴粉色土 粘土粒子多量
 2 黄褐色土 褐色土多量

- 第229号溝跡 (W-W')
 1 青灰色土 炭化植物粒子少量、粘質土



第115図 溝跡 (10)

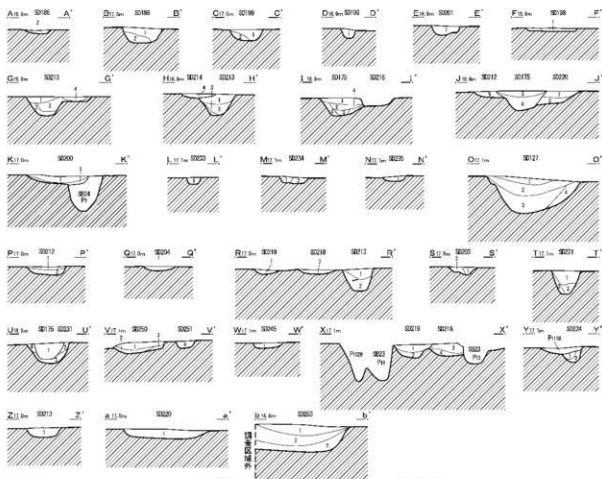
おり、この時期の集落構造を考える上で注目すべき現象であり、低地に立地する集落の特徴でもある。

東側調査区の南端では、古墳時代後期、奈良・平安時代、中世の溝跡が検出された。古墳時代後期の溝跡の中では、特に第213・220号の二条の溝跡があげられる。両溝跡はほぼ南西から北東方向に直線的に平行して検出された。道路状遺構の可能性が考えられ、両溝跡の間隔は2.2～3.0mである。また、この道路状遺構の北側には、2間×2間の総柱建物が三棟並ぶ。第24・25・27号掘立柱建物跡である。さらにこれらの建物跡と道路状遺構の間に塼とも捉え

られる「コ」の字状の細長い溝跡を検出した。第24号建物跡を取り囲む第216号溝跡と第25号建物跡を取り囲む第201号溝跡である。これらの建物群は北側あるいは南側に展開する住居跡に付属する倉庫群として捉えられることができる。平安時代の溝跡は、第253号溝跡を検出した。この溝跡は、東西方向に直線的に伸び、北端で検出した第95号溝跡と平行し関連があるものと捉えられる。両溝跡の距離は南北約110mを測り、糸里畦畔の溝跡の可能性もある。中世の溝跡は、第85号溝跡と平行し調査区の北西から南東方向に伸びる第127号溝跡を検出した。



第116図 溝跡 (11)



第127号遺跡

- 1 灰白色土 褐色土粒子少量、粘質土
- 2 灰白色土 1層より厚い、粘質土
- 3 暗灰色土 灰白色土粒子少量
- 4 灰白色土 3層より厚い、褐色土粒了、黄灰色土粒子少量、粘質土

第175-211号遺跡

- 1 黄褐色土 炭化物粒子・黒色土粒子含む
- 2 褐色土 灰白色土粒子・炭化物粒子含む
- 3 黄褐色土 黄褐色土1層、しまり、粘粒あり
- 4 褐色土 黄褐色土粒了多量

第175-220-222号遺跡

- 1 暗褐色土 炭化物粒子・灰白色土粒子主体
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒了含む、しまり、粘粒あり
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子含む
- 4 暗褐色土 暗褐色土主体
- 5 暗褐色土 炭化物粒子含む、しまりややあり
- 6 暗褐色土 炭化物粒了、褐色土粒了含む、粘粒あり
- 7 暗褐色土 褐色土粒了、黄褐色土粒了含む
- 8 暗褐色土 褐色土粒子含む、しまりややあり
- 9 暗褐色土 黄褐色土粒了含む

第186号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒子多量
- 2 黄褐色土 褐色土粒子・暗褐色土粒子少量

第188号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了多量

第199号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒子多量
- 2 黄褐色土 褐色土粒子多量

第200号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了(粘)多量
- 2 黄褐色土 褐色土粒子(粘)多量

第204号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒子含む

第203号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了多量、黄褐色土粒了少量
- 2 暗褐色土 褐色土粒子多量、黄褐色土粒子少量

第204号遺跡

- 1 灰褐色土 褐色土粒子多量

第212号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了多量
- 2 黄褐色土 褐色土粒子多量

第213-214号遺跡

- 1 暗褐色土 炭化物や、地団粒を含む、粘粒ややあり
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子含む、しまりややあり
- 3 暗褐色土 粘土粒子含む、しまり、粘粒あり

第218-219号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了
- 2 暗褐色土 1層より灰白色帯含む
- 3 暗褐色土 粘土と同じ
- 4 暗褐色土 暗褐色土・黄褐色土ブロック含む

第220号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック含む、しまりややあり

第221号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック(φ10~20cm)まばらに含む
- 2 暗褐色土 1層よりやや明るく、黄褐色土ブロック多量
- 3 暗褐色土 褐色土の塊い、黄褐色土ブロック多量

第224号遺跡

- 1 暗褐色土 暗褐色土・黄褐色土(φ1.0cm)の混合層
- 2 暗褐色土 暗褐色土・黄褐色土(φ1.0cm)の混合層、粘粒あり

第230号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子含む

第231号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多量
- 2 黄褐色土 暗褐色土粒子多量

第236号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒了少量

第245号遺跡

- 1 暗褐色土 暗褐色土ブロック含む

第250-251号遺跡

- 1 暗褐色土 褐色土粒了多量、黄褐色土粒了多量
- 2 暗褐色土 暗褐色土粒子多量、1層より灰白色帯含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒了多量
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子少量

第252号遺跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土を帯びる、粘粒あり、2層との間に若干の黄褐色土あり
- 2 暗褐色土 黄褐色土を帯びる、1層よりやや明るい灰白色土ブロック下に多く混入する、粘粒あり
- 3 暗褐色土 やや黄褐色土を帯びる、2層より灰白色帯含む、粘粒あり



第117図 溝跡 (12)

第21号溝跡

H・I-14、J-13・14、K-9～12グリッドに位置する。集落の中央を東西に走り、東側の集落が切れる辺りから北に大きく曲がる。K-9グリッド付近で東西に走る第80号溝跡に合流する。第21号溝跡は集落内の排水機能をもった溝跡であり、さらに、第80号溝跡に排水したものと見られる。合流点に向かって徐々に溝幅を広げ、底面の西側に浅い掘り込みが連続してみられた。しかし、堰などの施設跡は検出できなかった。

規模は、長さ60.5m、溝幅は西側で70cm、中央付近で120cm～142cm、北側の合流付近で194cmである。深さは西側で58cm中央付近で42cm～62cm、北側の合流付近で58cmである。

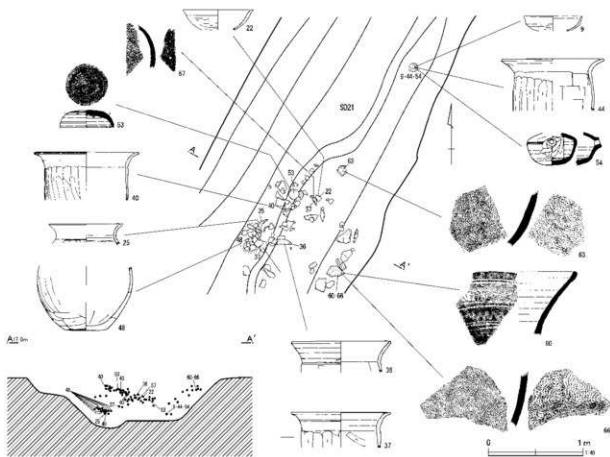
本溝跡は、西側調査区においても検出された。

出土遺物は、第119～121図1～66に図示した。土師器は模倣環・比企型環・北武蔵型環・鉢・小型丸底甕・甕・甕などを多く検出した。須恵器は環田・甕・瓶類のほか甕の破片を多く検出した。その他、石製紡錘車、石製模造品を検出した。

1は口径の小さな小型の有段口縁環である。2は模倣環、4～8・11・12は有段口縁環である。13は統比企型環、15～21は口縁部が内屈または内湾気味に立ち上がる北武蔵型環である。27～30は鉢型の甕と見られる。31・32は小型丸底の甕である。

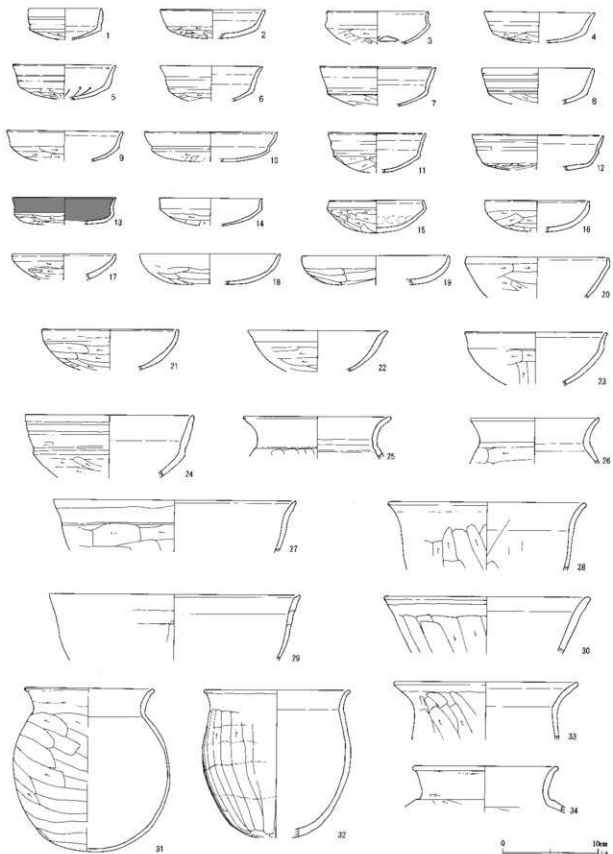
34・35・45は壺の口縁部破片と見られる。36～44は甕の破片である。胴部外面のヘラケズリには、縦方向、斜め方向、横方向が見られる。46は大型甕である。把手は小型化し短い。

53は須恵器環蓋である。天井部外面に回転ヘラケ



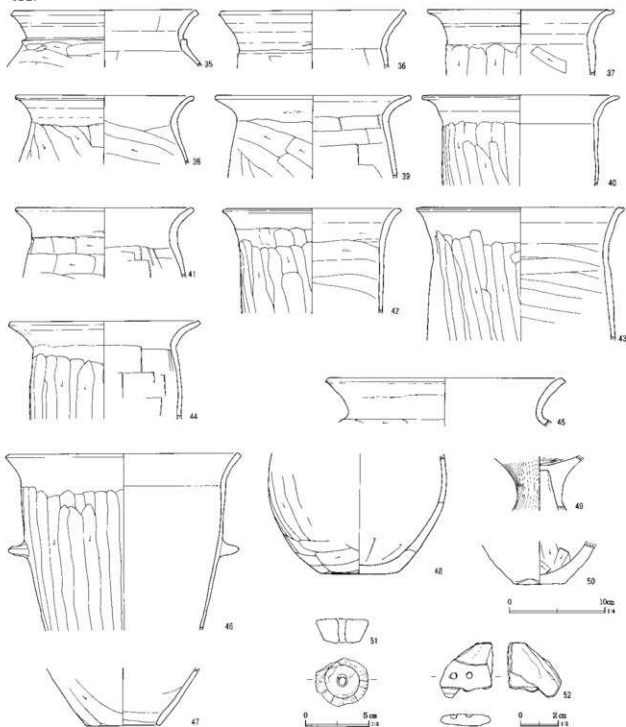
第118図 第21号溝跡遺物出土状況 (i)

SD21



第119図 溝跡出土遺物 (1)

SD21

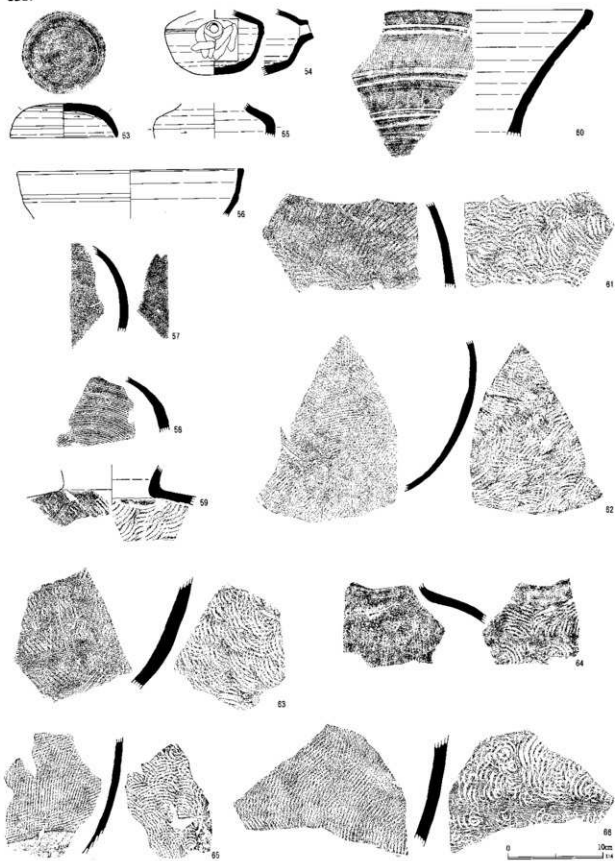


第120図 溝跡出土遺物(2)

ズリを施す。54は甕である。注口部分は外面指ナテを施す。60は須恵器甕の口縁部破片である。外面には、沈線区画を施し、口唇部に破状文、その下段は櫛歯による縦方向の条線、その下段には破状文を施

す。57・58は提瓶の破片と見られる。57には回転ヘラケズリ、58にはカキ目が巡る。61～66はいずれも甕の破片である。外面には平行叩き、内面には青海波文が残る。

SD21



第121图 清跡出土遺物(3)

第80号溝跡

G-6・7、H-J-7、I-J-8、K-8~10
グリッドに位置する。北西から南東方向にはほぼ地形に沿って西から東方向に流路をとる人工的な溝跡と
考えられる。

本溝跡の北側では、第168号溝跡が分岐する。また、
南側では、第21・166・167・169・171~173号溝跡が
繋がる。その中で、第166・167・171・173号溝跡は、
中央に竪穴住居跡が位置し、この住居跡の周囲を巡
ることから、住居跡に伴う周溝と見られる。また、
第169号溝跡および第21号溝跡は、集落内の排水溝
と見られ、両溝跡は西側調査区のD-14グリッド付
近で本溝跡と繋がる。おそらくこの溝跡も第52~59
号住居跡に伴い周囲に掘削された住居跡の周溝と考
えられる。しかし、両溝跡は一軒ごとの住居跡の外
側を巡る周溝とは異なり、住居群あるいは居住エリ
アを意識した溝跡と考えられる。

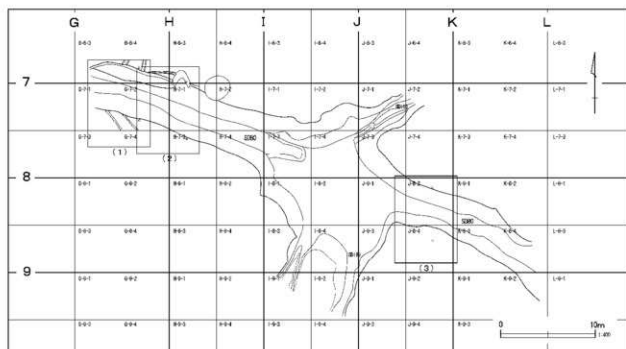
規模は、長さ49.6m、幅は西側付近で5.94m、中
央付近で12.40m、深さは西側付近で90cm、中央付近
で92cmである。

出土遺物は、第126~133図1~156に図示した。

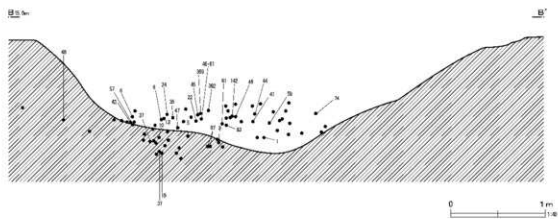
土師器環は、1~37・59・60が有段口縁環である。
このうち1~3は橙褐色の酸化焰焼成された環であ
る。4~12と19~37・59・60は黒色有段口縁環であ
る。33~37は有段の造り出しが弱く、軽いナデを上
下に施し段を表現している。38~43・46~53・61は
模倣環、44・45・56は模倣環Cである。54・55・57・
58は比企型環である。62・63・66は北武蔵型、64・
65は皿である。69~71は底部内面に放射状暗文を施
す。

須恵器は、83~85は環Hの環蓋である。83は天井
部外面回転ヘラケズリ、口縁部との境に弱い沈線状
の稜を造り出す。器肉厚い。胎土はやや細かく、器
面は滑らかである。84は胎土、焼成とも良好である。
85は天井部外面回転ヘラケズリ、口縁部との境に弱
い沈線状の稜を造り出し、器高が低い。87は蓋であ
る。88・89は坯身である。88は還元焼成され堅致で
ある。89は還元焼成を受け器面やや軟質である。

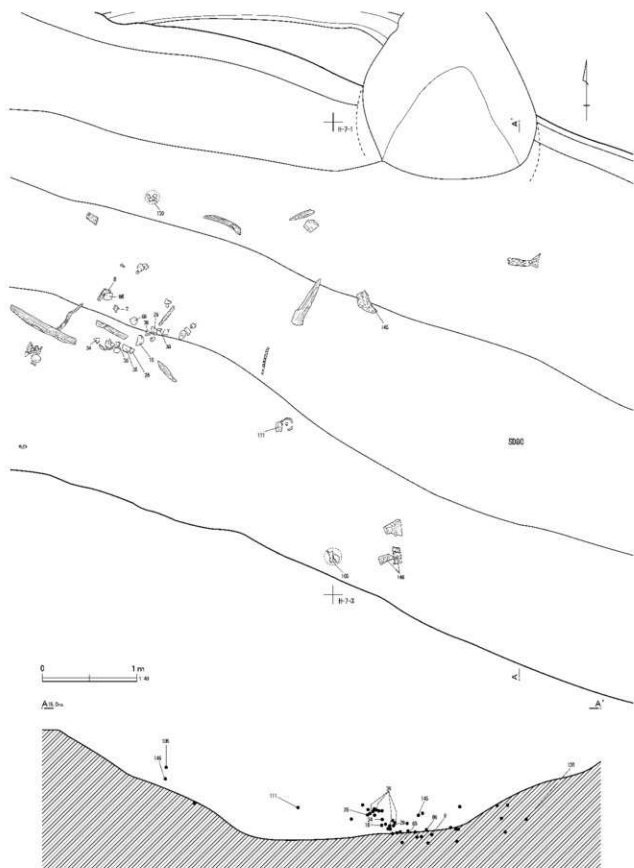
91~110は土師器甕である。口縁部の造り出しに
形態差を認めることができる。91は口唇部が尖る。
92・97はやや丸く肥圧する。93・96・98・100・101・
103・105は外側に向けた平坦な面をもつ。



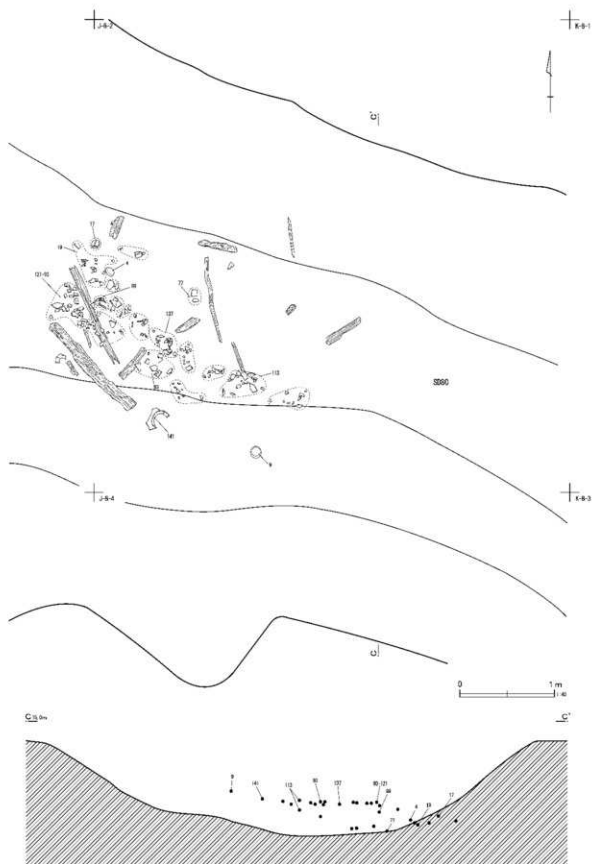
第122図 第80号溝跡区割図



第123图 第80号清跡遺物出土狀況(1)

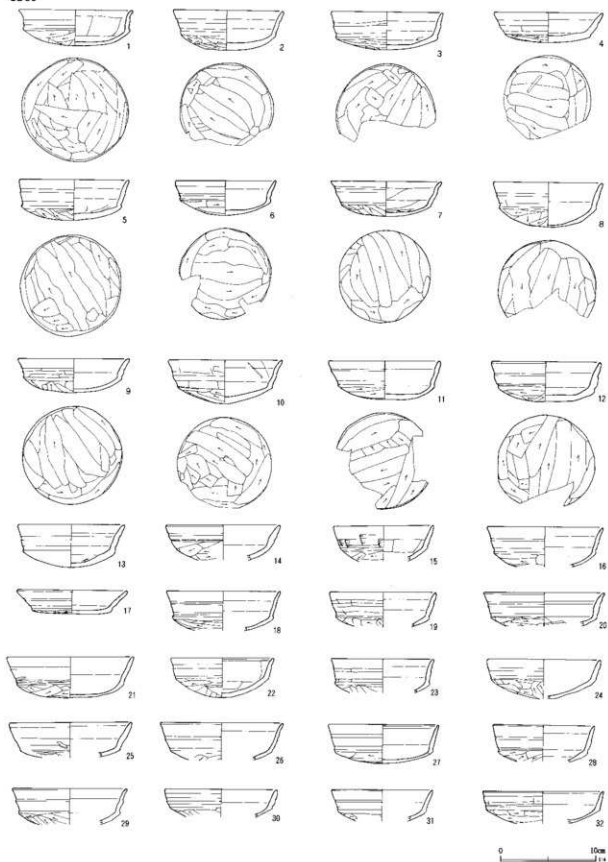


第124图 第80号清跡遺物出土状況(2)



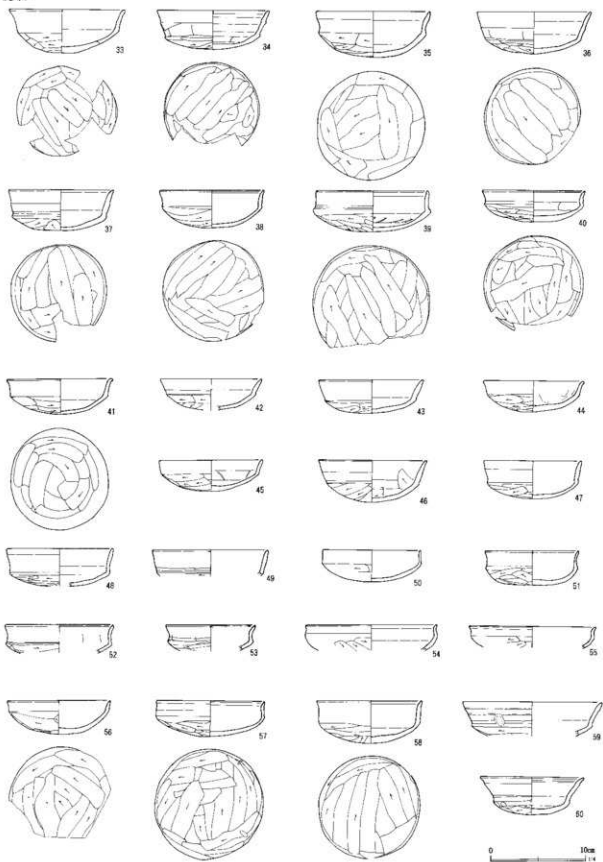
第125图 第80号沟迹遗物出土状况(3)

SD80



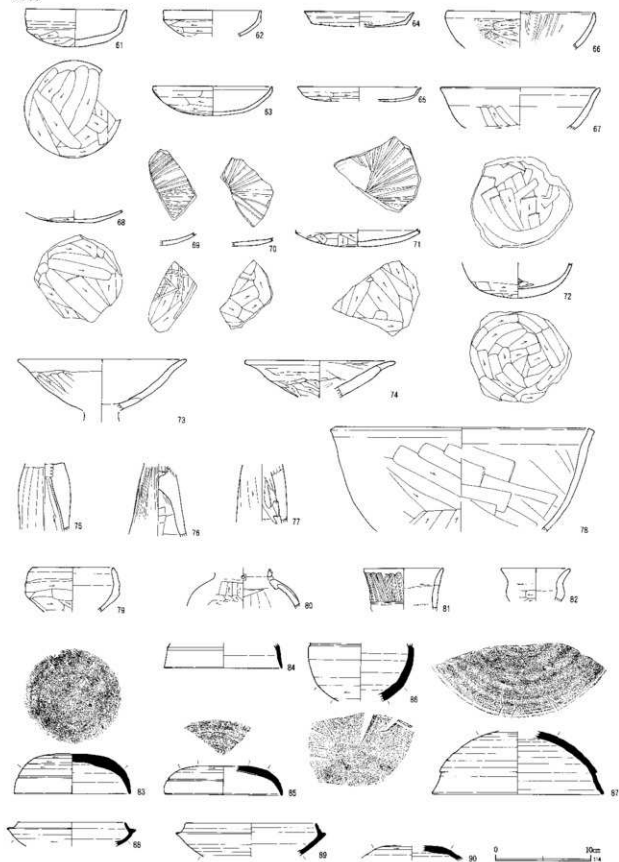
第126図 溝跡出土遺物 (4)

SD80



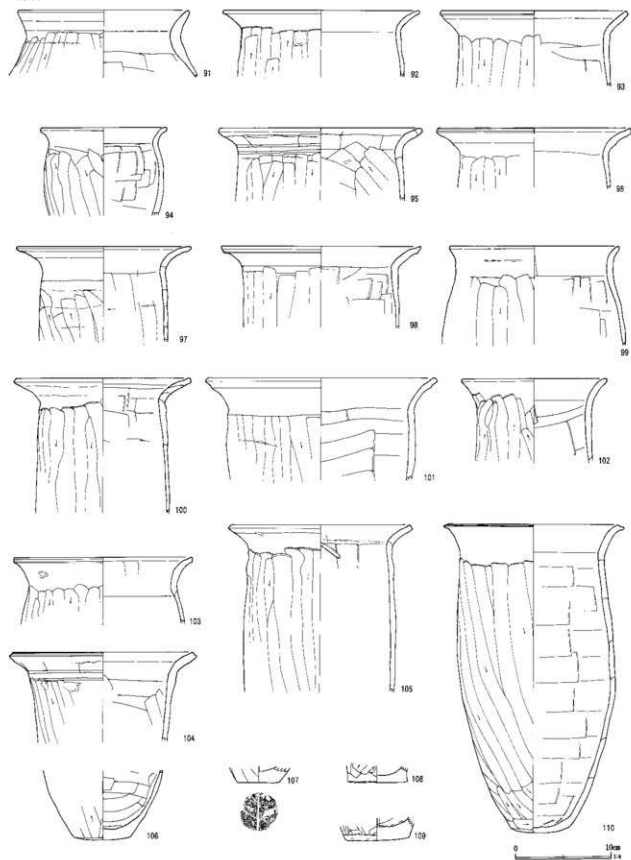
第127图 清跡出土遺物 (5)

SD80



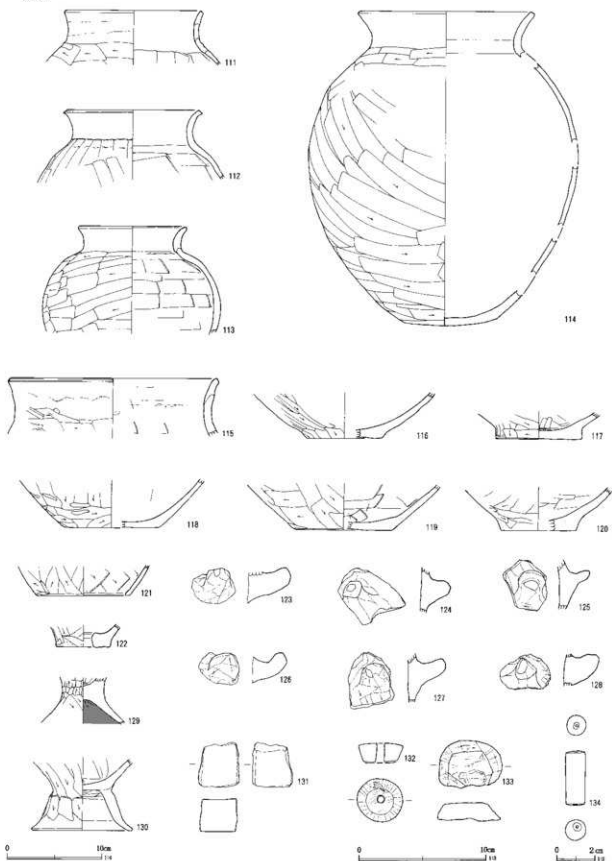
第128图 沟跡出土遺物 (6)

SD80



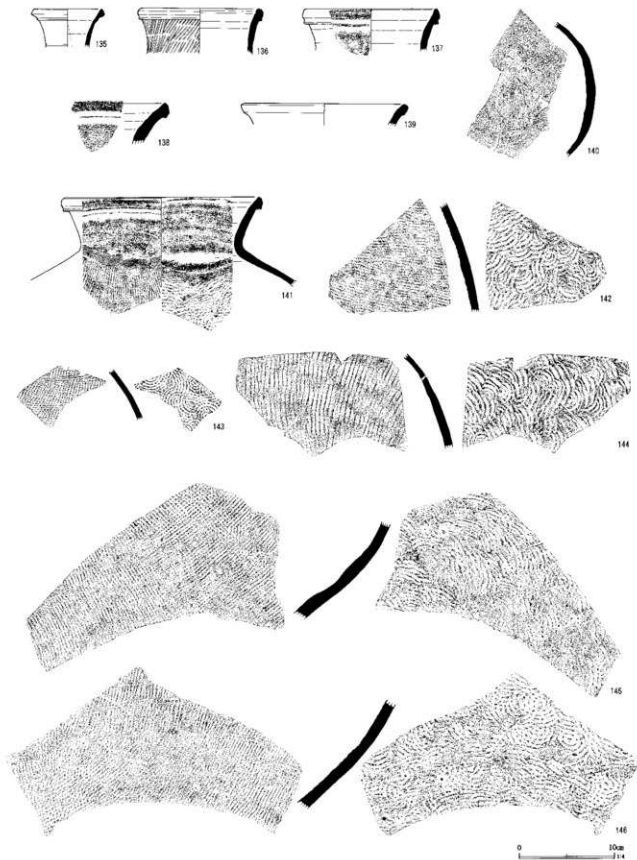
第129図 溝跡出土遺物 (7)

SD80



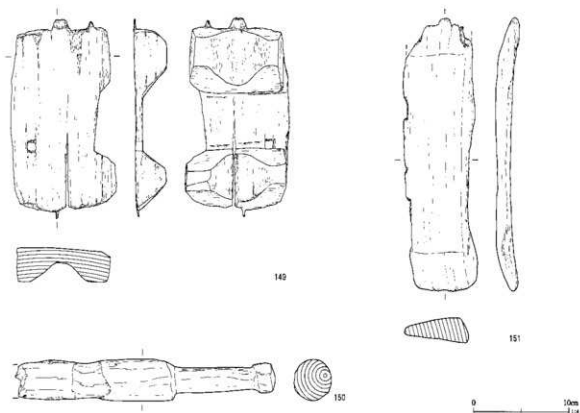
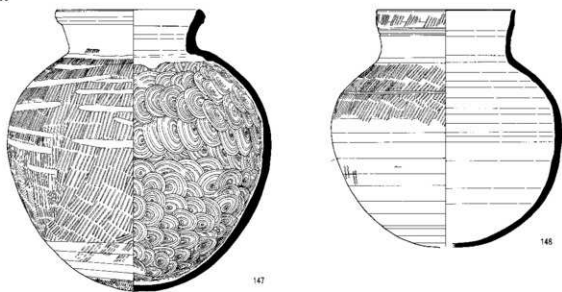
第130図 溝跡出土遺物 (8)

SD80



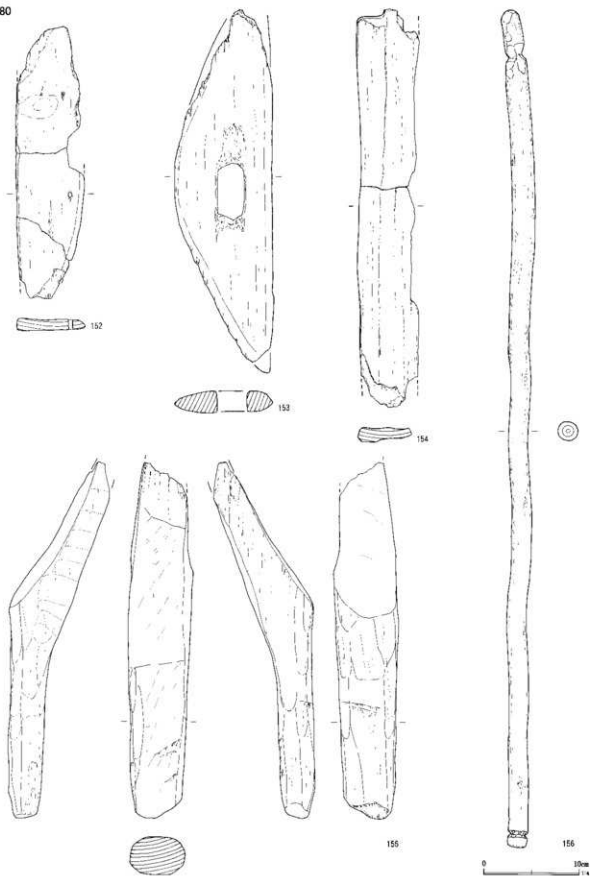
第131图 清跡出土遺物 (9)

SD80



第132圖 溝跡出土遺物 (10)

SD80



第133図 清跡出土遺物 (II)

95・102は丸く器内が全体に厚い。104・110は口縁が大きく開き、口唇端部が外側に面をもち中心部が窪む。

111～120は土師器壺である。口縁部形態は甕と同様の分類が認められる。121～128は土師器甗である。121は大型甗の底部破片である。122は小型の鉢型甗である。

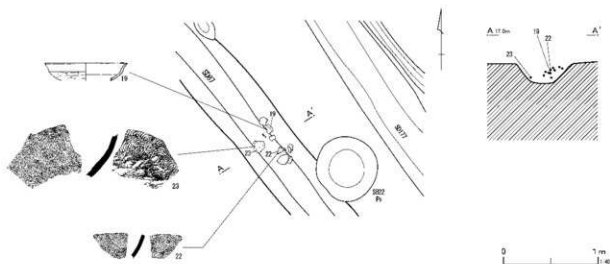
131は砥石である。132は石製紡錘車、133は石製紡錘車の未製品とみられる。134は碧玉製管玉である。

135～148に須恵器壺・甗類を図示した。135はフラスコ型須恵器の口縁部破片とみられる。自然釉が内外面に付着。137～139は壺口縁部破片である。136は口縁部に平行叩きが残る。140は胎土中に透明石英が混入する。カキ目が調整が施される。内面はロクロ目が残る。141は丸底壺。口縁部および胴部外面に平行叩き、内面青海波文が残る。硬質の造りである。142～146は甗の胴部破片である。148は外面細かい格子叩き、142～146は平行叩きである。

147は中型の丸底壺である。青灰色で焼成は良好であるが、胴部中央の一部に窯詰め後、焼成段階で

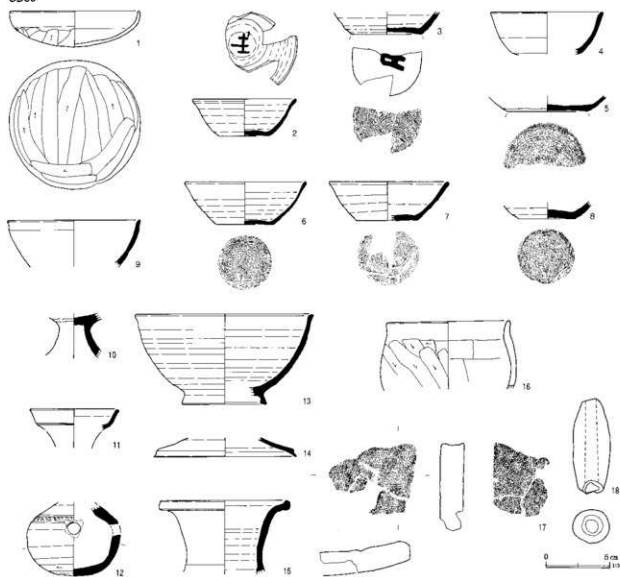
転倒し、窪みの痕跡が見られる。整形は、口縁部ヨコナテ、一部口唇部に平行叩きが見られる。胴部外面に平行叩きの後、肩部にヨコナテを施す。内面には全面青海波文が明瞭に残る。148はやや小ぶりの丸底壺である。口縁部ヨコナテ、中央に二条の沈線が巡る。上端には平行叩きが残る。胴部外面は、平行叩き後、上半はナテ整形で沈線が一条巡る。下半は回転ヘラケズリを丁寧に施す。内面は、上半ナテ消し、下半ナテを施す。

第132・133図149～156は木製品である。149は下駄である。一木造りである。先端、後端部および右側面を欠損している。刃部は中央が切り込みをもち断面V字状である。150は横槌と考えられ、握り部分の柄部先端は縁を造り出している。152は板状であるがわずかに湾曲が見られる。153は板状品の中央部分に方形の装着部が切り込まれている。柄のようなものを差し込んだ可能性があるが、用途は不明である。156は細長い丸い棒である。両端に加工痕が見られる。加工は、いずれも、細いノミ口で切り込みを施している。弓矢にしてはやや太い。

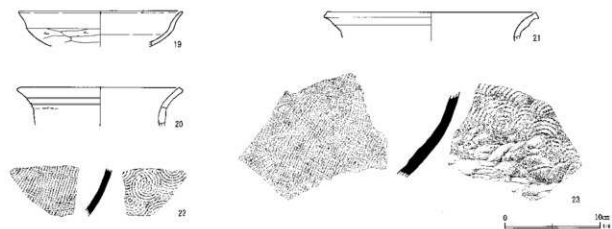


第134図 第87号溝跡遺物出土状況

SD85



SD87



第135図 清跡出土遺物 (12)

第85号溝跡

G-9・10、H-10・11、I-11、J-11・12、K-13、L-13-15グリッドに位置する。北西から南東方向に斜めに調査区を縦断する。また、西側は西側調査区でも続きが検出されている。東側は調査区域外に伸びる。

本溝跡はほぼ地形に沿って造られていると考えられ、遺跡の北側境界を意識させる。また、奈良・平安時代および中世の時期に至るまでの溝跡が何条も検出された。

規模は、長さ69.0m、幅50-94cm、深さ18cm-20cmである。

出土遺物は、土師器環、須恵器環・甕、瓦を検出した。第135図2・3は黒書土器である。

第87号溝跡

G-10、H-11・12、I-12グリッドに位置する。北西から南東方向に斜めに調査区を縦断する。また、西側は西側調査区でも続きが検出されている。東側は調査区中央のJ-13グリッドで途切れるが、南側は、第180号溝跡に繋がるものと考えられる。

規模は、長さ26.3m、幅40-60cm、深さ10cm前後である。

出土遺物は、土師器皿、須恵器甕の胴部破片を検出した。

第94号溝跡

G-9、H・I-10・11、J-11・12、K・L-12グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる溝跡である。重複関係は、第52号住居跡や直行する第21・169・178・194号溝跡を切る。また、本溝跡北側の第162号溝跡に切られている。

規模は、長さ60.0m、幅は、西側で60cm、中央部分で40cm、東側で154-212cm、深さ20-26cmである。

出土遺物は、土師器の模倣環・北武蔵型環・鉢・壺、須恵器蓋・甕などを検出した。第136図6は末野産の坏蓋である。7は口唇部外面に波状文を施す。10は胴部外面に平行明きが残る。

第95号溝跡

G-K-6グリッドに位置する。東西方向に走る溝跡である。本溝跡は、奈良・平安時代の集落域を画する溝跡と考えられる。西側調査区でも検出された。東側は調査区域外に伸びる。

規模は、長さ45.6m、幅は西側で448cm、東側で452cm、深さは西側で104cm、東側で106cmである。

出土遺物は、須恵器の環・高台付壺・耳皿・甕、羽釜、内面を研磨した内黒土器壺、瓦、椀形萍、土鍾などである。第137図2は体部外面に「大」の黒書がみられる。5-8・12・13はロクロ土師器である。14・15は黒色土器である。16は灰釉陶器の耳皿である。

第105号溝跡

G-J-10グリッドに位置する。東西方向に走る細長い溝跡である。本溝跡は集落内を巡る溝跡である。西側調査区から続いており、第94号溝跡に切られて途切れるが、さらに東側の第194号溝跡と繋がるものと考えられる。

規模は、長さ13.8m、幅36cm、深さ10cmである。

出土遺物は、土師器の破片が少量で図示できなかった。

第127号溝跡

H-15、I-15・16、J-16・17、K-17グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる溝跡である。西側は、西側調査区に繋がり、東側は調査区域外に伸びる。重複関係は、いずれの遺構よりも新しい。

規模は、長さ30.6m、幅146cm、深さ54cmである。溝跡の断面形態は、船底状である。

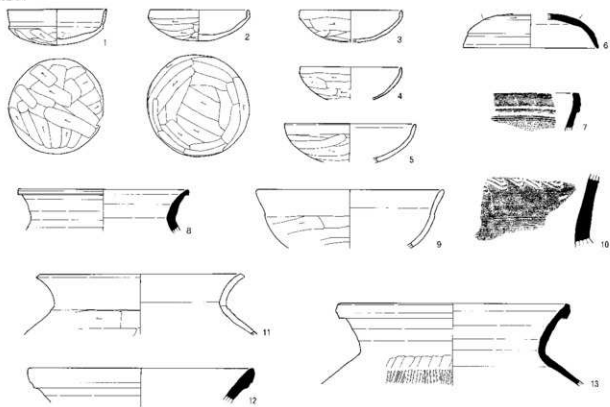
出土遺物は青磁碗、中世陶器の甕底部を検出した。

第153号溝跡

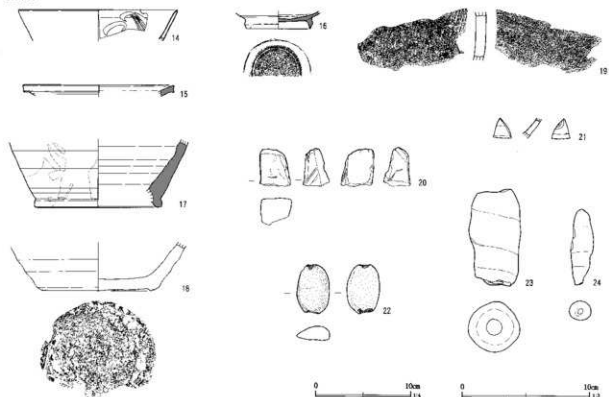
J-2グリッドに位置する。南北に走る短い溝跡である。本溝跡は調査区の北側に位置し、地形は緩やかに傾斜し低くなる。集落が形成される自然堤防の北端にあたと見られ、溝跡以外の遺構は存在しない。重複関係は溝跡の南側で第154号溝跡を切る。

規模は、長さ5.0m、幅10-12cm、深さ8-12cmで

SD94

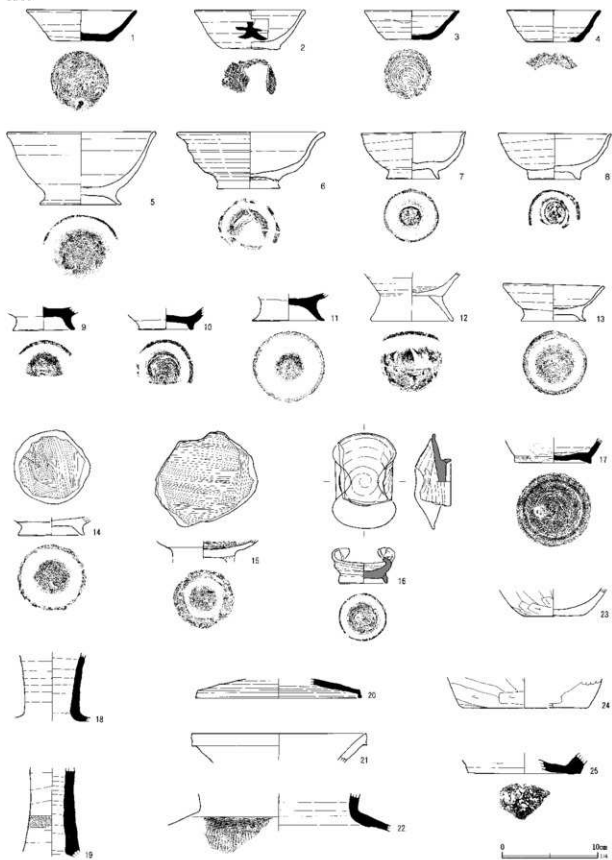


SD127



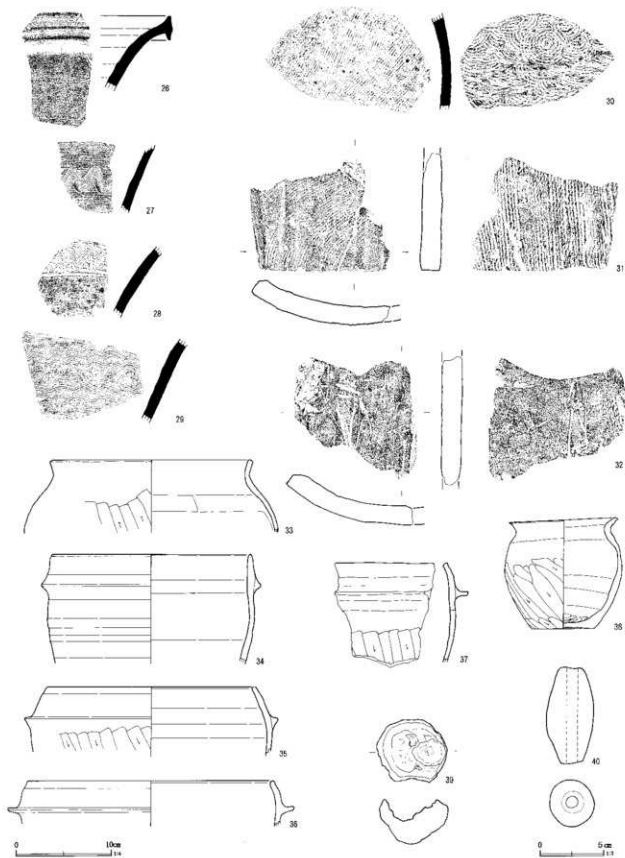
第136図 清跡出土遺物 (13)

SD95



第137图 溝跡出土物 (14)

SD95



第138図 清跡出土遺物 (15)

ある。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第154号溝跡

G～J-3グリッドに位置する。東西方向に走る溝跡である。「く」の字状に湾曲し、南端および東端はいずれも調査区域外に伸びる。

規模は、長さ36.5m、幅40～56cm、深さ14～30cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第155号溝跡

G-3、H-3・4、I-4・5、J・K-5グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる溝跡である。南端および東端はいずれも調査区域外に伸びる。重複関係はJ-5グリッドで第156号溝跡に切られる。

規模は、長さ47.1m、幅64～148cm、深さ20～30cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第156号溝跡

K-3、J-4～6グリッドに位置する。南北方向に伸びる細い溝跡である。北側は調査区域外に伸びる。南側は第163号溝跡に繋がる。重複関係はJ-6グリッドの位置で第95号溝跡に切られ、第157・159号溝跡と交叉している。

規模は、長さ36.0m、幅60cm前後、深さ北側で24cm、南側に伸びるに従って確認面から深くなり40cmにおよぶ。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第157号溝跡

F-4、G-4・5、H-J-6グリッドに位置する。西側は調査区域外に伸びる。東側は第163号溝跡と重複する。本溝跡は北側に位置する第155号溝跡とはほぼ平行して検出されており、間隔は西側で15.5m、東側で18.5mである。「く」の字状に屈曲する。

規模は、長さ21.1m、幅40～46cm、深さ20～26cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第158号溝跡

G-3・4、H-4・5、I-5・6グリッドに位置する。北西から南東方向にまっすぐ伸びる溝跡である。溝跡の南東部分で第95号溝跡と重複し切られている。また、本溝跡の南側に第159号溝跡がほぼ平行して走る。

規模は、長さ69.0m、幅70～94cm、深さ10～18cmである。

出土遺物は、高環の破片を1点図示した。

第159号溝跡

G-3・4、H-4・5、I-5・6、J-6・7、K-7グリッドに位置する。北西から南東方向にまっすぐ伸びる溝跡である。溝跡の南東部分では第95号溝跡に切られ、南側で再び検出され調査区域外に伸びる。また、本溝跡の北側に第158号溝跡がほぼ平行して走る。

規模は、長さ68.0m、幅90～128cm、深さ28～50cmである。

出土遺物は、土師器破片少量を検出し、高環の口縁部破片を図示した。

第160号溝跡

H～J-5・6グリッドに位置する。第158号溝跡と第159号溝跡の間を南北方向に走る。

規模は、長さ20.5m、幅48cm、深さ32cmである。

出土遺物は、刷毛目を施した甕の底部破片を図示した。

第161号溝跡

H～I-4～6グリッドに位置する。北西から南東方向に細長い溝跡である。自然堤防の北端をほぼ地形に沿って位置する。南側に第158～160号溝跡が位置する。

規模は、長さ24.0m、幅52cm、深さ18cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第162号溝跡

G-8、H-8・9、I-9・10、J-10～12、K-11～13、L-13・14グリッドに位置する。北西から南東方向に走る溝跡である。両端とも調査区域

SD158



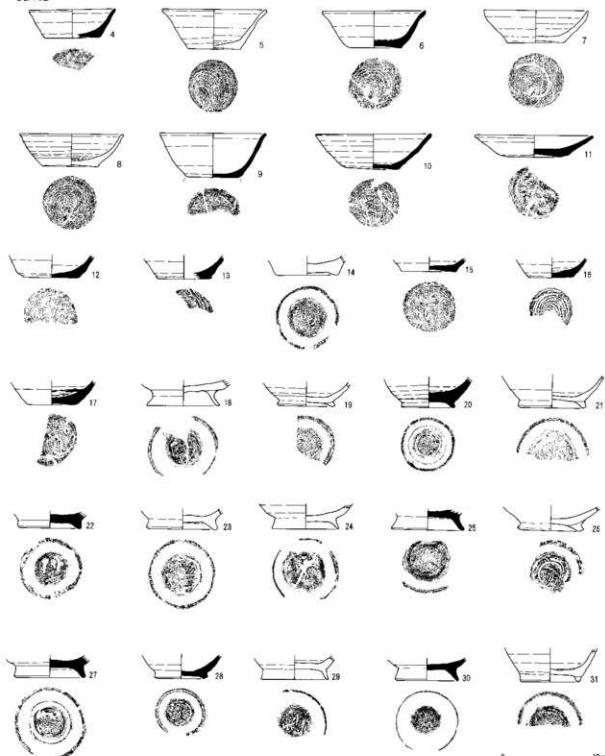
SD159



SD160

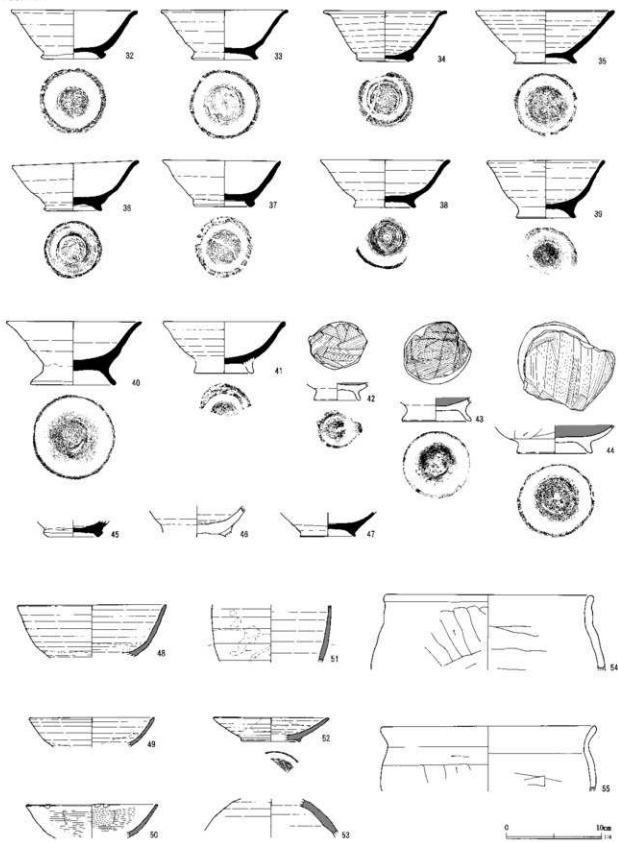


SD162



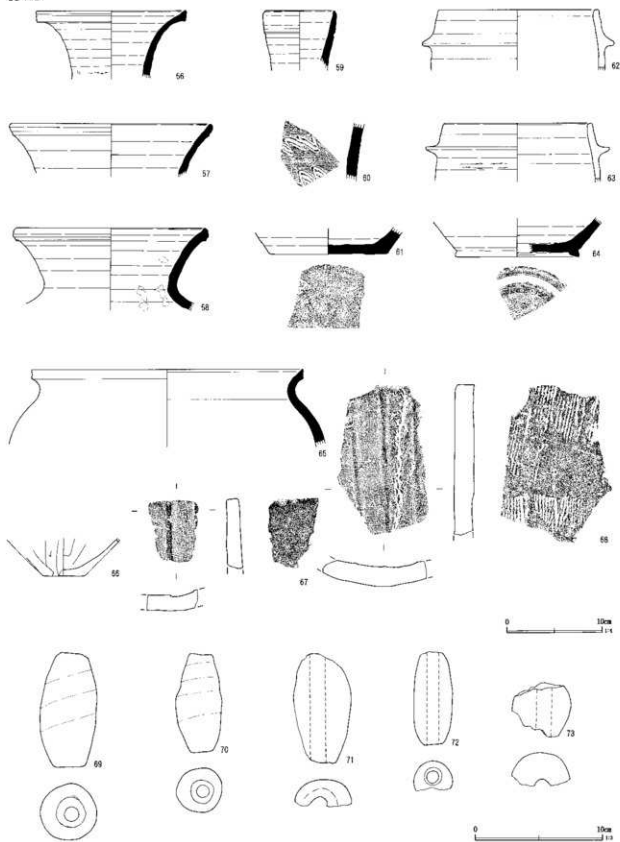
第139図 清跡出土遺物 (16)

SD162



第140图 溝跡出土遺物 (17)

SD162



第141図 清跡出土遺物 (18)

外に伸びる。西側調査区のF-6グリッドで第95号溝跡と分岐していたものと見られる。重複遺構は、第80号溝跡から分岐している溝跡を全て切り込む。古代以降の溝跡である。

溝跡の規模は大きく、幅、深さともにある。検出された規模は、長さは83.0m、幅は254~300cm、南東端で346cmを測る。深さは40~52cmである。

出土遺物は、須恵器環・高台付埴・甕、羽釜、瓦、土錘などを検出した。

第163号溝跡

J・K-7グリッドに位置する。西端は第80号溝跡につながり、東端は調査区域外に伸びる。第80号溝跡から北側に伸びる溝跡は本溝跡のみである。第80号溝跡が、集落の北側を画する溝跡と考えられることから調査区東側の様相が問題である。新たな居住ブロックの存在の可能性がある。

規模は、長さ17.9m、幅324cm、深さ64cmである。

出土遺物は、須恵器甕、土師器高環・甕を検出した。

第164号溝跡 欠番

第165号溝跡

G-7、H-8、I-9、J-10、K-11グリッドに位置する。北西~南東方向に伸びる溝跡である。北側は調査区域外に伸び第95号溝跡と繋がるものと推測される。南側は、K-11グリッドで一度途切れるが、再びL-12グリッドで検出され調査区域外に伸びる。溝跡が途切れて検出されない距離は6mである。区画溝と考えれば入り口施設の可能性もある。本溝跡の南側には平行して第162号溝跡が走る。

規模は、長さ60.5m、幅は80~140cm、最も広がる地点で192cmを測る。深さは30cm前後である。

出土遺物は、土師器甕、羽釜を検出した。

第166号溝跡

I-8グリッドに位置する。第80号溝跡から南に伸びる溝跡である。本溝跡は弧を描き、中心部分には第66号住居跡が位置し、住居外側周溝と見られる。

規模は、長さ10.0m、幅48cm、深さ30cmである。

出土遺物は、土師器模倣環・甕の把手破片・甕を

検出した。

第167号溝跡

I-9グリッドに位置する。第80号溝跡から南に伸びる溝跡である。本溝跡はわずかに弧を描き、中心部分には第60号住居跡または第67号住居跡が位置し、住居外側周溝と見られる。

規模は、長さ9.7m、幅56cm・深さ32cmである。

出土遺物は、土師器の模倣環、有段口縁環を検出した。

第168号溝跡

I-9グリッドに位置する。

規模は、長さ8.2m、幅46cm、深さ16cmである。

出土遺物は、模倣環・有段口縁環・北武蔵型環が共存。

第169号溝跡

I-9・10、H-10・11、J-9グリッドに位置する。本溝跡は、南北方向に伸び、南側は細く、北に向かって溝幅は広がる。北側は、第80号溝跡と繋がる。接続部分は、取水口とみられるが、施設遺構は確認できなかった。

規模は、長さ37.1m、幅62~354cm、深さ14~72cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環・鉢・内面に放射状暗文を施す埴・甕・壺を検出した。甕は長胴甕が覆土中から検出された。第145図24はほぼ完形に近い須恵器平甕である。胎土はきめ細かく産地は群馬産と見られる。

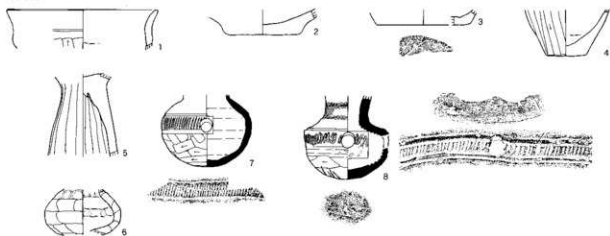
第170号溝跡

H-8・9、H-9・10、I-10グリッドに位置する。北西から南東方向に走る溝跡である。北側は第162号溝跡と重複し、南側は第191号溝跡と交差し第162号溝跡と再び重なる。

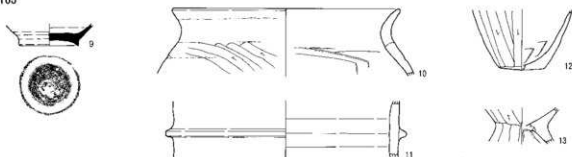
規模は、長さ33.3m、幅60cm、深さ22cmである。

出土遺物は、土師器の模倣環・北武蔵型環、須恵器の坏身、土師器壺などを検出した。第146図1の北武蔵型環は胎土が粉っぽい。

SD163



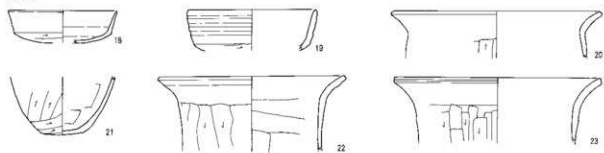
SD165



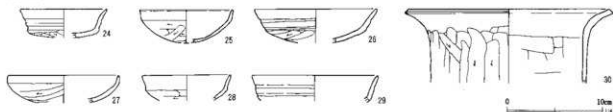
SD166



SD167

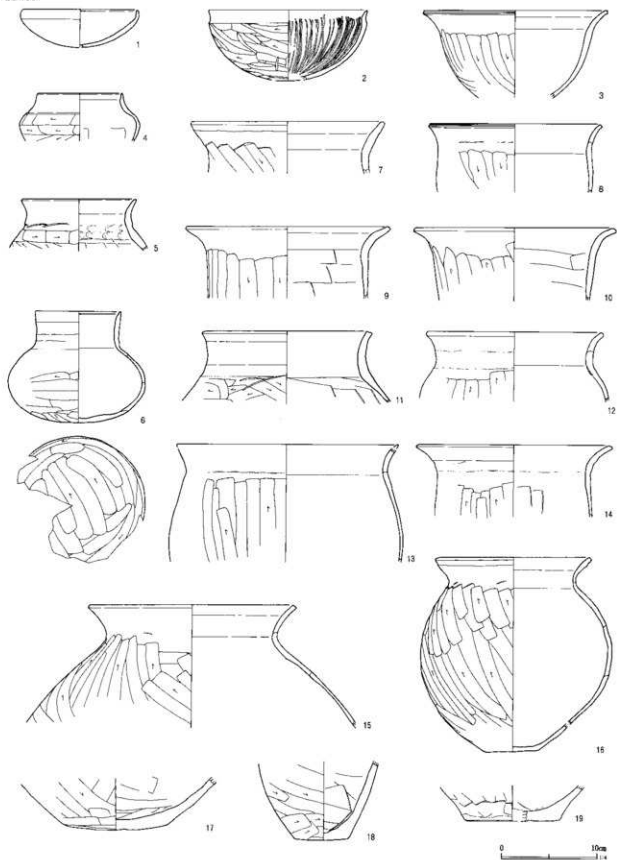


SD168



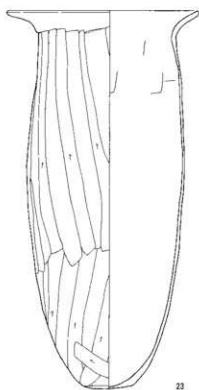
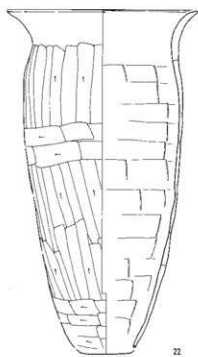
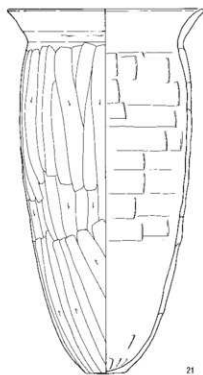
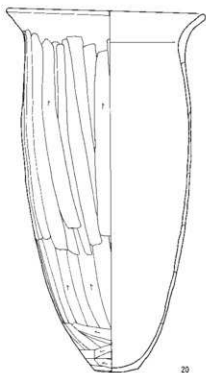
第142図 清跡出土遺物 (19)

SD169



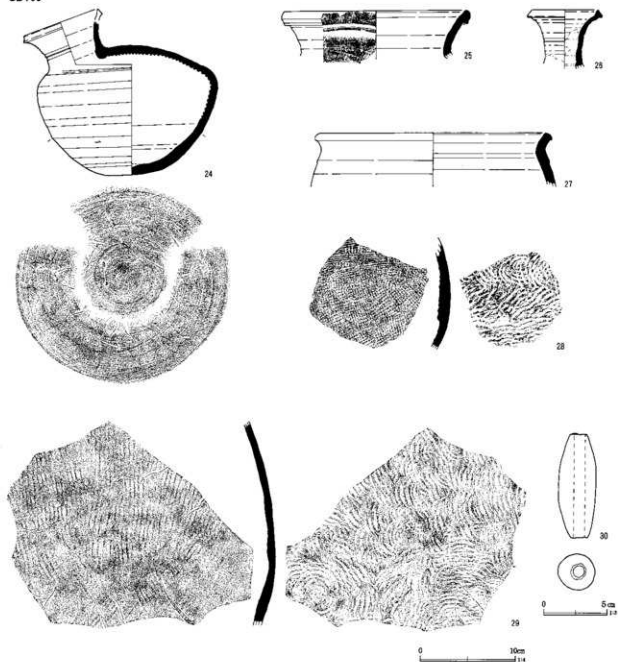
第143组 溝跡出土遺物 (20)

SD169



第144図 清跡出土遺物 (21)

SD169



第145図 溝跡出土遺物 (22)

第171号溝跡

H-7、G-8・9グリッドに位置する。南北方向に弧を描くように検出した。南側は細くやや東西方向を向き、第80号溝跡に向かって徐々に幅を広げて取り付く。溝跡の中心部には第60号住居跡が位置し、住居外側周溝の可能性がある。

規模は、長さ24.3m、幅92cm、深さ42cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環・赤彩を施された比企型環・甕・壺、須恵器の甕などを検出した。

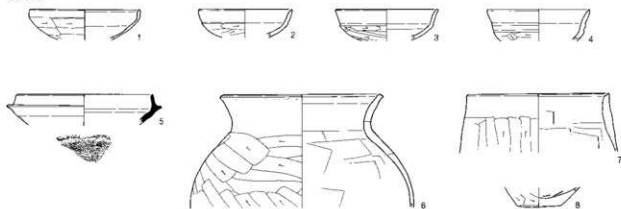
第172号溝跡

G-7グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。北側は第80号溝跡に繋がる。

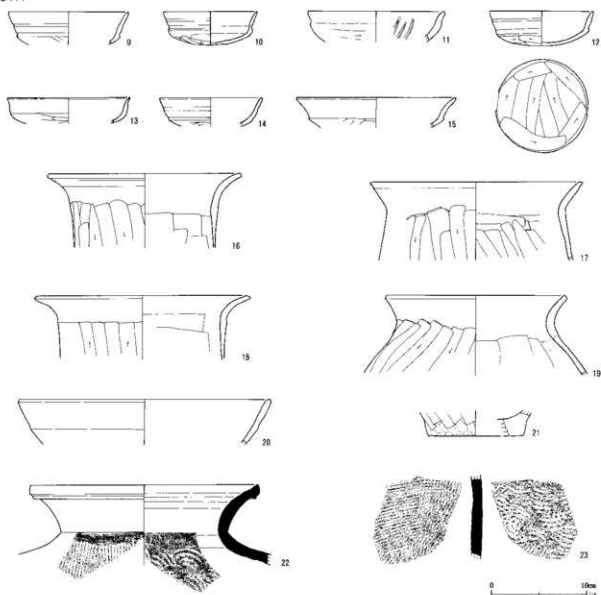
規模は、長さ4.8m、幅74cm、深さ44cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環・有段口縁環・

SD170



SD171



第146図 清跡出土遺物 (23)

模倣環・甕を検出した。

第173号溝跡

I-9グリッドに位置する。第80号溝跡から南に伸びる溝跡である。本溝跡はわずかに弧を描き、中心部には第60号住居跡または第67号住居跡が位置し、住居外側周溝と見られる。この他、東側に第167号溝跡、西側に第166号溝跡が位置し、本溝跡は両溝跡の中間にあたる。

規模は、長さ3.5m、幅20cmである。

出土遺物は、土師器台付甕の脚部破片を検出した。

第174号溝跡

G-7グリッドに位置する。東西に伸びる短い溝跡である。

規模は、長さ4.9m、幅18cm、深さ10cmである。

出土遺物は、土師器模倣環・甕・甕を検出した。

第175号溝跡

G-10、H-10・11、I-11・12、J-12-14、K-14-16、L-16・17グリッドに位置する。調査区中央から南端にかけて斜めに伸びる細長い溝跡である。ほぼ直線的ではあるが、緩やかに蛇行する。本溝跡は西側調査区に伸びる第86号溝跡と繋がるものとみられる。調査区では、本溝跡と同じ方向に走る溝跡を多く検出した。いずれも古代の溝跡であり、北西から南東方向の地形に沿った溝跡が幾重にも掘り返されていたことが明らかになった。

規模は、長さ83.2m、幅42-74cm、深さ20-30cmである。

出土遺物は、土師器の環・甕、須恵器の環・甕などである。須恵器環は器高やや浅く、底径大きく回転ヘラケズリを施す。

第176号溝跡

H-11グリッドに位置する。

規模は、長さ3.5m、幅36cm、深さ5cmである。

出土遺物は、土師器の環・甕を検出したが小破片で図示できなかった。

第177号溝跡

I-11・12、J-13・14、K-14グリッドに位置

する。地形に沿って伸びる細長い溝跡である。本溝跡の南側部分は、第175号溝跡と重複する。

規模は、長さ35.4m、幅40cm、深さ12cmである。

出土遺物は、須恵器蓋・環H蓋・底部でちりちりタイプの高台付環、土師器の甕を検出した。

第178号溝跡

I-12グリッドに位置する。弧を描いて伸びる溝跡である。溝跡の中心部には、第52号住居跡が位置する。本溝跡は住居外側周溝とみられる。北側の第169号溝跡に伸び、第80号溝跡へと段階的に排水したものと考えられる。

規模は、長さ15.0m、幅56cm、深さ24cmである。

出土遺物は、土師器破片、羽釜片を検出したが小破片で図示できなかった。

第179号溝跡

I-11、J-11・12グリッドに位置する。地形に沿って伸びる細長い溝跡である。本溝跡の両側には奈良・平安時代の溝跡が同様の方向に伸びる。重複関係は、北側の第52号住居跡を切り込み、南側の第21号溝跡を切り込む。

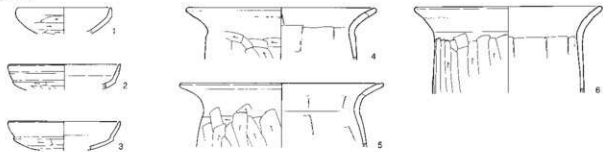
規模は、長さ20.5m、幅70cm、深さ30cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環、須恵器の環、この他、須恵器甕の破片を検出した。第148図9は底部外周回転ヘラケズリを施し、「一」の篋書を持つ南北企産の環、10は糸切り離しのままの環である。12は底部外周手持ちヘラケズリである。8・14は末野産須恵器環で内面に油煙が付着する。

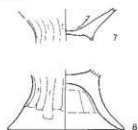
第180号溝跡

J-13・14、K-14グリッドに位置する。本溝跡は、北側に直線的に伸びる第87号溝跡と繋がるものと考えられる。僅かに、J-13グリッドの位置から南側は、溝幅が広がる。このため溝跡番号が第180号となっている。東側は第253号溝跡に繋がる。重複関係は、J-13グリッドで第177号溝跡、第175号溝跡とそれぞれ交差する。また、直交する第105・169・21・213・220号溝跡は古墳時代後期の溝跡であり本溝跡よりも古い。

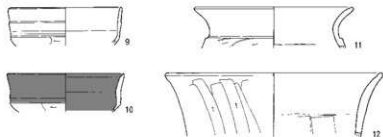
SD172



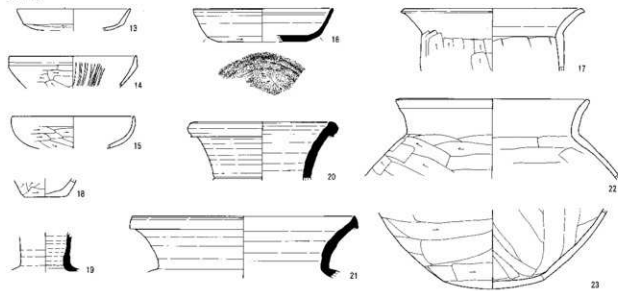
SD173



SD174



SD175

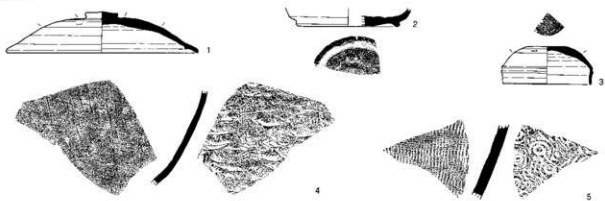


SD177

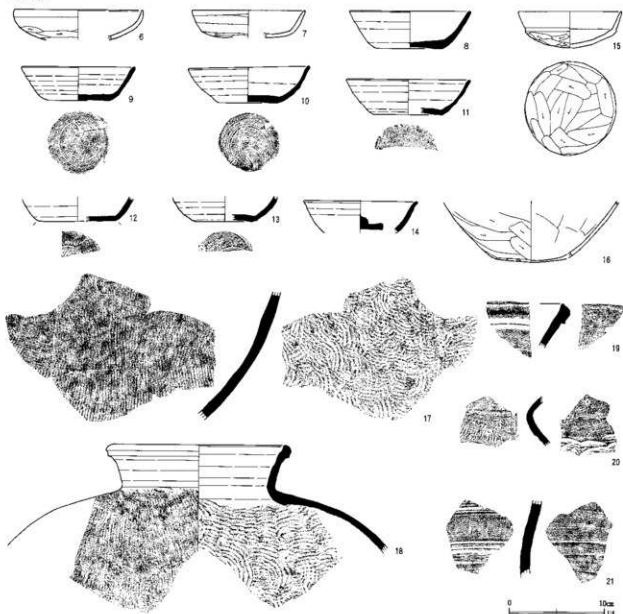


第147图 清跡出土遺物 (24)

SD177

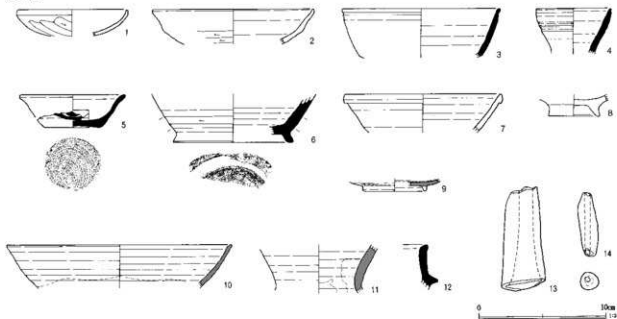


SD179

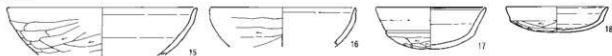


第148図 溝跡出土遺物 (25)

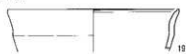
SD180



SD181



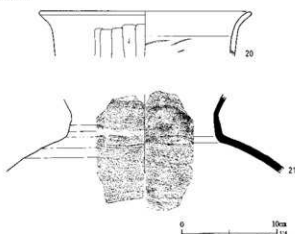
SD184



SD186



SD185



第149図 溝跡出土遺物 (26)

規模は、長さ58m、幅80~100cm、深さ10~22cmである。

出土遺物は、須恵器壺、羽釜、灰軸陶器を検出。

第181号溝跡

H・I-11~13グリッドに位置する。地形に沿って伸びる細長い溝跡である。南側は第21号溝跡で途

切れる。

規模は、長さ32m、幅34cm、深さ12cmである。

出土遺物は、土師器環を検出した。

第182号溝跡

H-12~13グリッドに位置する。形態は、円形周溝状で南側に開口部分が見られる。本溝跡の西側は

第184号溝跡であるが一連の溝跡と考えられる。円形周溝状遺構はこのほかに第224号溝跡が検出されている。

規模は、長さ13m、幅40～60cm、深さ34～44cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第183号溝跡

I-12グリッドに位置する。南西から北東方向にほぼ直線的に伸びる細い溝跡である。重複関係は、南西側で第59号住居跡、北東側で第178号溝跡と重なる。また、直交する奈良・平安時代の第181・87・177号溝跡に切られている。

規模は、長さ15.7m、幅29cm、深さ6cmである。

出土遺物は、土師器破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第184号溝跡

H-12～14グリッドに位置する。南北方向に伸びるやや幅広い溝跡である。本溝跡は住居外周に造られる排水溝としての機能が考えられる。特に本溝跡の東側に位置する住居跡を意識した排水溝であると考える。同様の溝跡は第171・178号溝跡が考えられるが、いずれも、北西側に溝跡が掘り込まれ、南東側に住居跡が位置する構造になっている。

規模は、長さ2.6m、幅46cm、深さ12cmである。

出土遺物は、土師器破片を少量検出した。

第185号溝跡

H・I-13グリッドに位置する。東西方向に伸びる短い溝跡である。重複関係は、第182・184・187号溝跡と重なる。

規模は、長さ7.5m、幅44cm、深さ14cmである。

出土遺物は、土師器破片を少量検出した。

第186号溝跡

H-15・I-15・J-13グリッドに位置する。北東から南西方向にやや湾曲して伸びる溝跡である。北側は第177号溝跡と第180号溝跡に挟まれた位置から掘り込まれている。南側は溝跡の掘り込みが浅

く一部途切れる箇所があるものの、第187号土坑と重複し途切れる。本溝跡は、住居外側周溝と同様に、溝跡の北側に展開する住居跡群、又は、建物跡の排水機能を備えた溝跡で、西側に位置する第184・187号溝跡と対になると考えられる。

規模は、長さ30.8m、幅40～64cm、深さ6～26cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環を検出した。

第187号溝跡

H-14グリッドに位置する。南北方向に伸びる溝跡である。南側は第184号溝跡と重複する。北側は、枝分かれし東側に伸び、第55号住居跡の外側周溝である。この他、本溝跡の東側には第56～58号住居跡が位置し、第186号溝跡とともにこれらの住居跡群の排水機能を兼ねた外側周溝と考えられる。

規模は、長さ10.7m、幅90cm、深さ50cmである。

出土遺物は、第150図1～26に示した。I-12は土師器の環である。有段口縁環・北武蔵型環が共存する。8・10は器高が浅い環である。11・12はやや器高の深い環である。13は大型甔の口縁部破片と見られる。14は鉢の口縁部破片である。15～19・21は甕、20は壺である。

第188号溝跡

I・J-13グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。西側は第184・187号溝跡、東側は第177号溝跡が位置する。本溝跡と重複して第88・91・95号井戸跡が存在する。

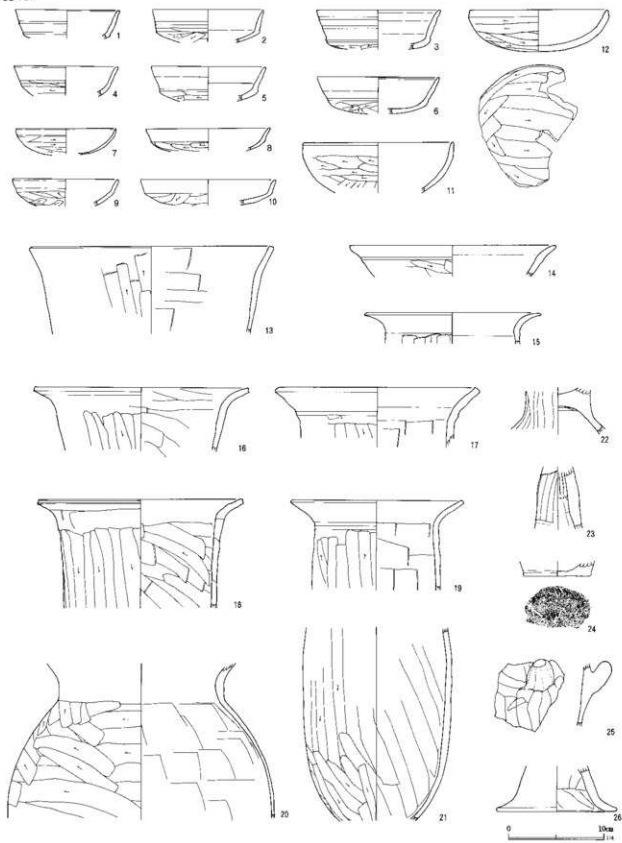
規模は、長さ14.0m、幅28～80cm、深さ6～16cmである。

出土遺物は、土師器は模倣環・有段口縁環・内面に放射状暗文を施す身模倣環などである。第151図4は有段口縁環で、底部丸く器高が深い。器壁薄く口縁部の稜は明瞭である。

第189号溝跡

G-8・9、H-9、I-10グリッドに位置する。細長く地形に沿って「L」字状に検出された。北側は第165号溝跡から始まり南北方向に掘り込まれて

SD187



第150図 清跡出土遺物 (27)

いるが、G-9グリッドで東西方向に向きを変え地形に沿って掘り込まれ、南側は第191号溝跡付近で途切れる。

規模は、長さ33.1m、幅41～82cm、深さ5～14cmである。

出土遺物は、須恵器の高台付埴を検出した。

第190号溝跡

J-12グリッドに位置する。北西から南東方向に直線的に伸びる細く短い溝跡である。北側には第54号住居跡が位置し、南側は第193号溝跡が位置する。

規模は、長さ6.2m、幅36cm、深さ14cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第191号溝跡

I-10グリッドに位置する。住居跡の外側を巡る溝跡の第178号溝跡と東北コーナー部分で合流し、第169号溝跡に繋がると見られる。溝幅もやや広い。

規模は、長さ4.7m、幅196cm、深さ20cmである。

出土遺物は、須恵器製の口縁部破片を検出した。

第192号溝跡

H-8グリッドに位置する。南北方向に走る細く短い溝跡である。北側には第165・171・189号溝跡、南側には第162号溝跡が位置する。

規模は、長さ4.6m、幅48cm、深さ7.2cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが小破片で図示できなかった。

第193号溝跡

G-10グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる短い溝跡を検出した。西側は調査区以外に伸びる。

規模は、長さ2.9m、幅24cm、深さ5.6cmである。

出土遺物は、検出できなかった。

第194号溝跡

I・J-10グリッドに位置する。東西方向に伸びる細長い溝跡である。西側に検出された第105号溝跡と繋がると考えられる。さらに、第105号溝跡は西側調査区で検出されている。東側はJ-10グリッド付近において途切れてしまっているが、本来は、第

80号溝跡まで伸びていたと考えられる。いずれにせよ、古墳時代後期の集落形成において中心的な溝跡であったと考えられる。

規模は、長さ33.9m、幅32cm、深さ12cmである。

出土遺物は、検出できなかった。

第195号溝跡

H-12グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。南側は、第248号溝跡と重複する。

規模は、長さ3.8m、幅34cm、深さ7.2cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第196号溝跡

I-13グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。南側で第197号溝跡と重複する。

規模は、長さ5.2m、幅20cm、深さ3cmである。

出土遺物は、検出できなかった。

第197号溝跡

I・J-13グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。北側には第186号溝跡が、南側には第21号溝跡が位置する。

規模は、長さ5.4m、幅24～42cm、深さ3～5cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第198号溝跡

J-15グリッドに位置する。溝跡は南北方向にわずかに「く」の次状に屈曲して伸びる。形態は幅広く、浅く短い。本溝跡は第25号掘立柱建物跡と重複する。

規模は、長さ5.3m、幅86cm、深さ6cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第199号溝跡

I・J-15グリッドに位置する。東西方向にわずかに屈曲して伸びる溝跡である。西側には第186号溝跡が位置する。また、東側には第25号掘立柱建物跡のP1が位置する。溝跡の性格については、地形とは平行せず不明であるが、周囲には同様の不規則な第186・203・204・207・211・217・222号溝跡が存在

SD188



SD189



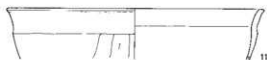
SD191



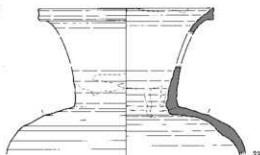
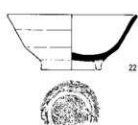
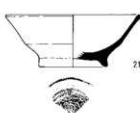
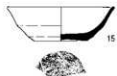
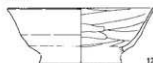
SD200



SD190



SD202



0 10cm

0 5cm

第151図 清跡出土遺物 (28)

し、何らかの機能を持っていたと考えられる。

規模は、長さ10.6m、幅24～52cm、深さ12～18cmである。

出土遺物は、土師器環の破片、須恵器蓋の破片などを検出したが、小破片のため図示できなかった。

第200号溝跡

J-15グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる幅広で短い溝跡である。北側には第25号掘立柱建物跡が位置する。南側は第212号溝跡が位置する。

規模は、長さ7m、幅98cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量。身模倣環を検出したが、小片で図示できなかった。

第201号溝跡

J-14グリッドに位置する。「コ」の字状に伸びる細い溝跡である。東側には第171号土坑が位置する。本溝跡は、北側に位置する第25号掘立柱建物跡の周囲に取り付く溝跡、もしくは堀の可能性が考えられる。さらに、本溝跡の南側には第217号溝跡が平行して検出されている。一方、北側には空間を置いて第186号溝跡がほぼ同様の方向に伸びている。これらの溝跡は、第22・25号掘立柱建物跡の付属施設と考えられる。

規模は、長さ15.1m、幅28～44cm、深さ14cm前後である。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第202号溝跡

J-15グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。北側は、第176号土坑が位置する。本溝跡との重複関係は、溝跡中央部分に第204号溝跡が交差し、本溝跡のほうが新しい。

規模は、長さ4.5m、幅66cm、深さ12cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。このほか、須恵器環、灰釉陶器壺である。

第203号溝跡

J-15・16グリッドに位置する。北西から南東方

向に伸びる短い溝跡である。西側には第176号土坑が位置する。南側には本溝跡と平行して第204号溝跡が位置する。

規模は、長さ8.1m、幅35cm、深さ10cmである。

出土遺物は、検出できなかった。

第204号溝跡

J-15・16グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる短い溝跡である。西側には第103号井戸跡が位置する。東側には第213号溝跡が位置する。北側には本溝跡と平行して第203号溝跡が位置する。出土遺物から奈良時代の溝跡であるが、周囲にはこの時期の第186・212号溝跡が存在するものの、建物遺構は確認されていない。

規模は、長さ14.6m、幅50cm、深さ6cmである。

出土遺物は、土師器の皿・北武蔵型環が出土しているが、小破片で図示できなかった。

第205号溝跡

J-11グリッドに位置する。地形に沿って検出された。本溝跡に接して北側には第94号溝跡が位置する。

規模は、長さ6.2m、幅82cm、深さ6cmである。

出土遺物は、須恵器の甕口縁を検出した。外面にはやや粗い波状文が4段施文されている。このほか、灰釉陶器壺を検出した。

第206号溝跡

I-14グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。北側には第21号溝跡が位置し、本溝跡はその南側に広がる。

規模は、長さ7.0m、幅80cm、深さ14cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環・北武蔵型環・甕である。

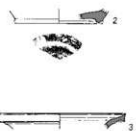
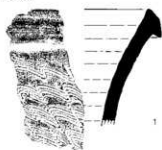
第207号溝跡

I-14グリッドに位置する。南西から北東方向に弧を描くように伸びる溝跡である。西側は第222号溝跡、東側は第21号溝跡と重複し合流する。

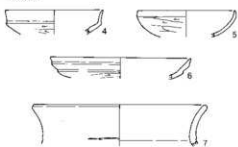
規模は、長さ9.0m、幅42cm、深さ15cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環・北武蔵型環・

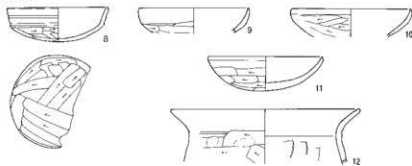
SD205



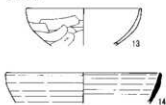
SD206



SD207



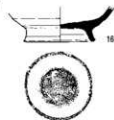
SD208



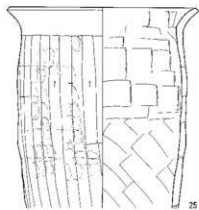
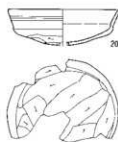
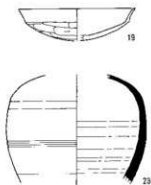
SD209



SD211



SD213



0 10cm

第152図 清跡出土遺物 (29)

襲である。

第208号溝跡

I-14グリッドに位置する。地形に沿って南北方向に伸びる短い溝跡である。北側は第207号溝跡と重複する。南側は第186号溝跡と重複する。

規模は、長さ3.6m、幅66cm、深さ5cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環、須恵器環を検出した。

第209号溝跡

J・K-14グリッドに位置する。東西方向に伸びる短い溝跡である。本溝跡は第24号掘立柱建物跡を「コ」の字状に囲む溝跡の西側部分と捉えられる。北側は開口し、南側は第213号溝跡が位置し重複するが、僅かに溝幅を膨らませていることが認められ、東側の一部がやや開き気味に1.5mほど北に向かって突き出している。

この形態は、隣接する第25号掘立柱建物跡に付属する第201号溝跡とまったく同じである。僅かに本溝跡のほうが溝幅が広い。

規模は、長さ4.6m、幅50cm、深さ8cmである。

出土遺物は、土師器襲の底部に木葉痕が見られる。

第210号溝跡

J-15・16グリッドに位置する。東西方向に伸びる細く短い溝跡である。西側は第204号溝跡、東側は第213号溝跡が位置する。

規模は、長さ3.6m、幅18cm、深さ12cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第211号溝跡

I-16グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。西側は第63号住居跡、東側には第65号住居跡が位置し、溝跡の東端には第182号土坑が位置する。

規模は、長さ3.5m、幅44cm、深さ10cmである。

出土遺物は、須恵器の環・高台付壺を検出した。

第212号溝跡

J-16グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。西側先端は南方向に伸び、第127号溝跡に切られる。東側は第220号溝跡と重複する。

規模は、長さ14.6m、幅64cm、深さ12cmである。

出土遺物は、土師器の襲・環、須恵器環を少量検出した。

第213号溝跡

K-13-16・J-16・17グリッドに位置する。南北方向に直線的に伸びる溝跡である。北側は第228号溝跡、南側は第224号溝跡で途切れている。また、本溝跡の東側には、平行して第220号溝跡が走り、対になっているものと考えられる。両溝跡の間隔は、約3mである。直線的に伸びる溝跡であること、2本が平行して間隔を保っていること、溝跡の規模が近似することなどから考えて道路状遺構に伴う両脇側溝の可能性を指摘しておきたい。

規模は、長さ31.1m、幅50～88cm、深さ30～36cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環・高環・襲、須恵器の壺、襲口縁などを検出した。第152図25は土師器の襲である。胴部の成形は粘土紐作りで、指頭圧痕によって行われている。外面の整形は縦方向のヘラケズリである。内面は上半が横ヘラナデ、下半が斜め方向のヘラナデである。

第214号溝跡

K-15グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。北側は第201号溝跡が位置する。南側は第213号溝跡が位置する。

遺構の性格は不明である。周囲には第186・199・204・222号溝跡など、この時期の遺構が不規則な方向に検出されている。

規模は、長さ3.3m、幅38cm、深さ5cmである。

出土遺物は、須恵器環を検出した。

SD214



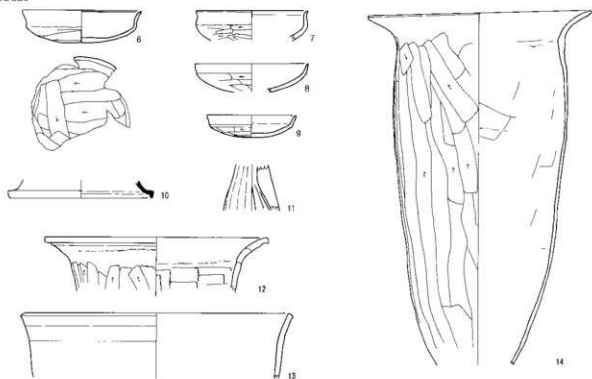
SD218



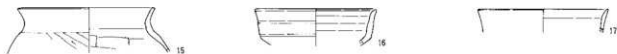
SD216



SD220



SD221



SD222



第153図 清跡出土遺物 (30)

第215号溝跡

K-16グリッドに位置する。南北方向に伸びる短い溝跡である。北側は第201号溝跡、南側は第102号井戸跡が位置する。溝跡の中央部分に第100号井戸跡が位置する。

規模は、長さ8.0m、幅20cm、深さ4cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出したが、小破片で図示できなかった。

第216号溝跡

K-15・16グリッドに位置する。南北方向に「く」の字状に伸びる細長い溝跡である。第175号溝跡に切れ、第212・218・219・220号溝跡を切り込む遺構である。

規模は、長さ8.7m、幅30cm、深さ5cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環・破片を少量検出した。

第217号溝跡

J-15グリッドに位置する。北東から南西方向に伸びる細い溝跡である。本溝跡の北側には第201号溝跡が平行して検出されている。

規模は、長さ6.5m、幅16cm、深さ5cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第218号溝跡

I-17、J-16・17、K-16グリッドに位置する。東西に伸びる長い溝跡である。西側は調査区域外に伸びる。東側は第220号溝跡と重複した付近で途切れる。本溝跡の南側には第219号溝跡が平行して走る。

規模は、長さ27.0m、幅40cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の折返し口縁の鉢・高環などを検出した。

第219号溝跡

I-16・17、J・K-16グリッドに位置する。東西に伸びる長い溝跡である。本溝跡の北側に第218号溝跡が平行して走る。西側は調査区域外に伸び、東側は第220号溝跡と重複した付近で途切れる。

規模は、長さ26.5m、幅60cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第220号溝跡

K-13~17、J-17グリッドに位置する。南北方向に直線的に伸びる溝跡である。北側は第162号溝跡、南側は調査区域外に伸びる。本溝跡の西側に平行して第213号溝跡が走り、両溝跡の間隔は約3mで、対になっているものと考えられる。溝跡の規模が近似することなどから考えて、道路状遺構に伴う両脇側溝の可能性を指摘しておきたい。

規模は、長さ49.0m、幅56~136cm、深さ14~20cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環・比企型環・甕・甕などを検出した。

第221号溝跡

J-16グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。溝跡は、第218・219・213号溝跡を切り込んで造られている。

規模は、長さ6.7m、幅46cm、深さ38cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第222号溝跡

H-14~15グリッドに位置する。南北方向に伸びる細長い溝跡である。「く」の字状に屈曲する。北側には第21号溝跡・第22号掘立柱建物跡、南側には第23号掘立柱建物跡が位置する。

規模は、長さ19.8m、幅56cm・深さ8cmである。

出土遺物は、土師器の北武蔵型環、須恵器外周ヘラケズリ環などを検出した。

第223号溝跡

J-11グリッドに位置する。南北に伸びる短い溝跡である。北側は第162号溝跡に、南側は第94号溝跡に切られる。本溝跡は、第191・178号溝跡とつながり、第52号住居跡の排水溝としての機能を持っていたものと考えられる。

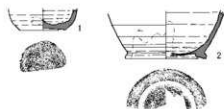
規模は、長さ2.4m、幅56cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第224号溝跡

J-17グリッドに位置する。円形周溝状遺構であ

SD224



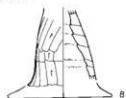
SD229



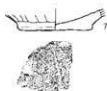
SD231



SD233



SD234



SD238



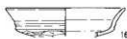
SD244



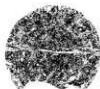
SD249



SD240



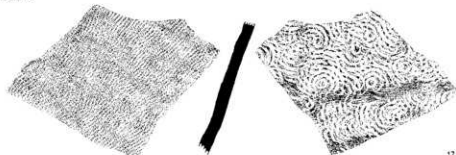
SD250



SD263



SD260



17

0 10cm

第154図 清跡出土遺物 (31)

る。形態は楕円形で、掘り込みの形態は楕円形である。

規模は、長さ14.2m、幅40～50cm、深さ24cmである。

出土遺物は、灰釉陶器小瓶・長頸壺を検出した。

第225号溝跡

J-17グリッドに位置する。円形周溝状遺構の内部に検出した。南北方向に伸びる短い溝跡である。

規模は、長さ2.3m、幅28cm、深さ7cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第226号溝跡

J-13グリッドに位置する。第21号溝跡の南側に「L」字状に検出した。

規模は、長さ11.0m、幅24cm、深さ18cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量、須恵器甕の破片を少量検出した。

第227号溝跡

H-10、I-10・11グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる。西側には、第85号溝跡が平行する。

規模は、長さ14m、幅28cm、深さ8.2cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第228号溝跡

K-13グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡である。西側は第21号溝跡、東側は第213・220号溝跡に直行し、第162号溝跡に切られる。

規模は、長さ13.1m、幅84cm、深さ24cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第229号溝跡

K-13グリッドに位置する。地形に沿って伸びる溝跡である。北側は第85号溝跡から分岐して延びる。南側は調査区域外に伸びる。

規模は、長さ34.5m、幅50～62cm、深さ18cmである。

出土遺物は、須恵器環・高台付壺を検出した。

第230号溝跡

K-15グリッドに位置する。西側には、第175号溝

跡が南北方向に平行して走る。

規模は、長さ2.85m、幅25cm、深さ7.5cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第231号溝跡

K-16グリッドに位置する。東西方向に伸びる短い溝跡である。西側は屈曲して第218号溝跡と繋がる。東側は第175号溝跡と重複して途切れる。

規模は、長さ5.0m、幅60cm、深さ11cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第232号溝跡 欠番

第233号溝跡

H-16グリッドに位置する。南北方向に屈曲して伸びる細い溝跡である。北側は調査区域外に伸びる。南側は第62号住居跡の北側で途切れる。

規模は、長さ9.2m、幅22cm、深さ10cmである。

出土遺物は、土師器高杯を検出した。成形は粘土紐の巻上げである。

第234号溝跡

H-16グリッドに位置する。北西から南東方向に弧を描く溝跡である。北側は調査区域外に伸び、南側は第62号住居跡の北側で途切れる。

規模は、長さ3.9m、幅46cm、深さ10cmである。

出土遺物は、土師器壺の口縁部破片を検出した。

第235号溝跡

I-16グリッドに位置する。第233号溝跡から分岐した細く短い溝跡である。溝跡の中央部分は第172号土坑と重複する。

規模は、長さ3.1m、幅36cm、深さ8cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第236号溝跡

K・L-12グリッドに位置する。南西から北東方向に伸びる細い溝跡である。南側は第237号溝跡と重複する。北側は調査区域外に伸びる。

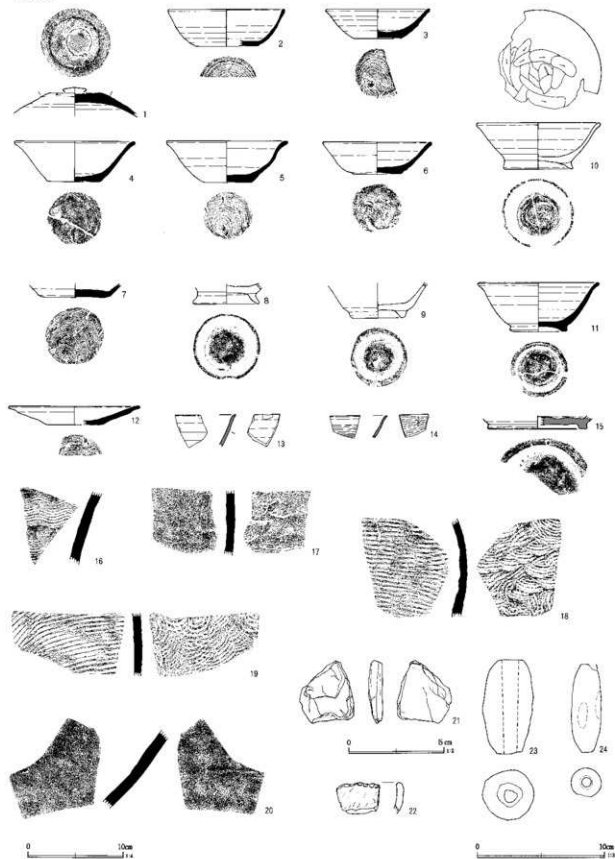
規模は、長さ6.8m、幅22cm、深さ8cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第237号溝跡

K-12グリッドに位置する。南西から北東方向に

SD253



第155图 清跡出土遺物 (32)

伸びる細い溝跡である。本溝跡の南側には第238号溝跡、北側には第236号溝跡が位置し、両溝跡に挟まれている。東側は調査区域外に伸びる。

規模は、長さ7.1m、幅36cm、深さ7cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。また、須恵器製の胴部破片も検出した。

第238号溝跡

K-12グリッドに位置する。南西から北東方向に伸びるやや幅広い溝跡である。南側は第239号溝跡、北側には第236・237号溝跡が位置する。溝跡の北側は第239号溝跡と重複し調査区域外に伸びる。

規模は、長さ8.2m、幅108cm、深さ28cmである。

出土遺物は、土師器・須恵器を多く検出した。第154図11の甕は胴部沈線区画の中に櫛歯の刺突文が連続する。底部外面には「一」のヘラ描きが施されている。

第239号溝跡

K-12・13グリッドに位置する。南西から北東方向に伸びる直線的な溝跡である。本溝跡は南側に直線的に伸びる第312号溝跡の延長線上に確認された。

規模は、長さ8.7m、幅52cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第240号溝跡

K-16グリッドに位置する。第219号溝跡と第220号溝跡の中間に位置する細く短い溝跡である。

規模は、長さ1.8m、幅16cm、深さ5cmである。

出土遺物は、カワラケ、瓦の破片を検出した。

第241号溝跡

H・I-15グリッドに位置する。第103号井戸跡から西側に伸びる溝跡である。西側には第187号土坑が位置する。

規模は、長さ3.0m、幅90cm、深さ24cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第242号溝跡

H-15グリッドに位置する。南北方向に伸びる短く細い溝跡である。

規模は、長さ2.7m、幅36cm、深さ8cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第243号溝跡

K・L-12・13グリッドに位置する。地形に沿って検出した。北側には第94号溝跡、南側には第244号溝跡が位置する。

規模は、長さ3.9m、幅84～114cm、深さ30cm前後である。

出土遺物は、土師器破片、須恵器底部糸切底の坏を検出した。

第244号溝跡

K-12・13、L-13グリッドに位置する。第94号溝跡の南側にほぼ沿って検出された。溝跡の中央部を第162号溝跡に切られる。

規模は、長さ6.0m、幅60～96cm、深さ54cmである。

出土遺物は、石製支脚を検出した。

第245号溝跡

I-17グリッドに位置する。北西から南東方向に伸びる溝跡である。

規模は、長さ4.2m、幅48cm、深さ10cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第246号溝跡

I-14グリッドに位置する。南北方向に伸びる溝跡である。北側には第21号溝跡が重複する。

規模は、長さ5.6m、幅30cm、深さ8cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第247号溝跡

I-17グリッドに位置する。南北方向に伸びる細長い溝跡である。北側は第218・219号溝跡、南側は第188号土坑と重複し調査区域外に伸びる。

規模は、長さ6.7m、幅21cm、深さ5cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第248号溝跡

I-12グリッドに位置する。東西方向に伸びる細い溝跡である。南側は第187号溝跡に合流する。

規模は、長さ2.8m、幅30cm、深さ5cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第249号溝跡

I-12グリッドに位置する。東西方向に伸びる短い溝跡である。

規模は、長さ1.6m、幅50cm、深さ32cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環、破片を少量検出した。

第250号溝跡

H-17グリッドに位置する。調査区南西隅に検出した。斜めに伸びる溝跡である。

規模は、長さ2.7m、幅80cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の有段口縁環、破片を少量検出した。

第251号溝跡

I-17グリッドに位置する。調査区南西端に南北に伸びる細く短い溝跡である。

規模は、長さ2.0m、幅28cm、深さ12cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第252号溝跡

H-11グリッドに位置する。南西から北東方向に伸びる短い溝跡である。北側は第87号溝跡、南側では第175-176号溝跡と重複する。南側には第169号溝跡が位置する。

規模は、長さ4.4m、幅30cm、深さ8cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第253号溝跡

K-17グリッドに位置する。調査区の南東端に斜めに検出した。東側および西側は調査区域外に伸びる。北側では第175・180号溝跡が重複する。

規模は、長さ16.9m、幅250cm、深さ42cmである。

出土遺物は、第155図1～24に図示した。須恵器甕・底部回転糸切りの環・高台付壺、灰釉陶器長頸瓶、緑釉陶器、鉄製品、土錘、貝果穴岩などを検出した。8～10はクロコ整形ではあるが、焼成が酸化焙で胎土もやや砂質である。いわゆるクロコ土師である。10は内面底部にヘラによるナデ痕が見られる。13・14は緑釉陶器壺片である。15は灰釉陶器長頸瓶の底部である。22は鉄製品であるが铸造鉄器の可能

性があり、鋳などの口縁部破片とも考えられる。

第254号溝跡

H-4グリッドに位置する。東西方向に伸びる溝跡を検出した。断面U字状である。西側は調査区域外に伸びる。

規模は、長さ17.4m、幅38～54cm、深さ22cm前後である。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第255号溝跡

I・J-5・6グリッドに位置する。地形に沿って北西から南東方向に直線的に伸びる溝跡である。北側は第158号溝跡と重複し、南側は第95号溝跡と重複する。

規模は、長さ16.9m、幅32～40cm、深さ12～18cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第256号溝跡

H-7グリッドに位置する。地形に沿って北西から南東方向に直線的に伸びる溝跡である。第80号溝跡と重複する。

規模は、長さ17.6m、幅26cm、深さ5cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第257号溝跡

H-13グリッドに位置する。南北にわずかに蛇行して伸びる溝跡である。南側は187号溝跡と重複する。

規模は、長さ3.9m、幅56cm、深さ22cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第258号溝跡

K-6グリッドに位置する。第95号溝跡と第163号溝跡に挟まれて、「L」字状に屈曲する溝跡である。規模は、長さ11.3m、幅68cm、深さ20cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第259号溝跡

K-12・13グリッドに位置する。第85号溝跡と第229号溝跡に挟まれて重複する溝跡である。

規模は、長さ1.9m、幅30cm、深さ11cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第260号溝跡

L-13グリッドに位置する。第220・261号溝跡と平行して検出された。北側は調査区域外に伸びる。南側は第162号溝跡と重複する。

規模は、長さ4.0m、幅88cm、深さ17cmである。

出土遺物は、須石器製の胴部片を検出した。

第261号溝跡

L-13グリッドに位置する。北側は、調査区域外に伸びる。南側は、第162号溝跡と重複する。本溝跡の中央部分を第244号溝跡が交差する。西側には、平行して第220・260号溝跡が走る。

規模は、長さ235cm、幅43cm、深さ13.4cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第262号溝跡

G-6グリッドに位置する。第95号溝跡と重複する短い溝跡である。

規模は、長さ2.2m、幅40cm、深さ16cmである。

出土遺物は、小破片で図示できなかった。

第263号溝跡

G-6グリッドに位置する。第95号溝跡と第80号溝跡に挟まれた位置に、細く短い溝跡を検出した。東側には第264号溝跡がほぼ平行して走る。

規模は、長さ3.6m、幅48cm、深さ24cmである。

出土遺物は、土師器環を検出した。第154図18は口

縁部が外方に大きく開いて立ち上がる模倣環である。19は須石器環身の模倣環である。20は小型室であるが、口縁部に小孔があく。

第264号溝跡

G-6グリッドに位置する。第263号溝跡の東側に位置する。

規模は、長さ4.0m、幅39cm、深さ8cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第265号溝跡

G-5グリッドに位置する。西側は、調査区域外に伸びる。また、南東側は、第95号溝跡と重複する。

規模は、長さ760cm、幅126cm、深さ24.1cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第266号溝跡

G-5グリッドに位置する。第265号溝跡の南側にあたり平行し、西側は、調査区域外に伸びる。

規模は、長さ420cm、幅35cm、深さ14.4cmである。

出土遺物は、検出されなかった。

第267号溝跡

L-13グリッドに位置する。第85号溝跡と第162号溝跡に挟まれた位置に検出した。北側で検出した第220号溝跡もしくは第261号溝跡に繋がる可能性が考えられる。

規模は、長さ2.6m、幅118cm、深さ38cmである。

出土遺物は、土師器の破片を少量検出した。

第36表 溝跡出土遺物観察表(1)

検出番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
119	1	SD	21	土師器	環	(7.8)	[3.4]	—	破片	雲角白粒	普通	明赤褐	有段口縁環	
119	2	SD	21	土師器	環	(11.0)	[3.2]	—	1/2	石英 赤粒 白粒	不良	橙	模倣環	
119	3	SD	21	土師器	環	(10.6)	[3.6]	—	1/4	長石 赤粒 白粒	不良	にふい褐	赤彩、北金型	
119	4	SD	21	土師器	環	(11.8)	[3.3]	—	1/2	雲角 長石 白粒	普通	橙	有段口縁環	
119	5	SD	21	土師器	環	(11.0)	[3.7]	—	1/2	雲 赤粒 白粒	普通	明赤褐	有段口縁環	
119	6	SD	21	土師器	環	(11.0)	[3.7]	—	1/5	長石 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	有段口縁環	
119	7	SD	21	土師器	環	(12.4)	[4.2]	—	1/4	雲角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	黒色有段口縁環	
119	8	SD	21	土師器	環	(11.8)	[3.7]	—	破片	雲角 長石 白粒	普通	にふい褐	有段口縁環	
119	9	SD	21	土師器	環	(12.4)	[3.2]	—	1/4	雲角 白粒	普通	にふい褐	No.1	
119	10	SD	21	土師器	環	(15.0)	[3.2]	—	破片	角 赤粒 白粒	普通	褐		
119	11	SD	21	土師器	環	(10.3)	[4.2]	—	1/4	角 赤粒 白粒	普通	褐	有段口縁環	
119	12	SD	21	土師器	環	(14.0)	[3.7]	—	1/3	石英 白粒	普通	黒	黒色有段口縁環	

第37表 溝跡出土遺物観察表 (2)

探り番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
119 13	SD	21	土師器	環	(11.0)	[2.9]	—	破片 雲 長石 石英 白粒	普通	橙	赤系, 赭比金型環		
119 14	SD	21	土師器	環	(11.0)	[2.9]	—	破片 雲 角 長石 白粒	普通	にふい橙			
119 15	SD	21	土師器	環	(9.9)	3.4	—	1/2 雲 角	普通	橙	北武藏型環		
119 16	SD	21	土師器	環	10.9	[3.3]	—	1/2 角 赤粒 白粒	不良		北武藏型環	26	
119 17	SD	21	土師器	環	(10.8)	[2.8]	—	1/3 角 白粒	普通	にふい橙	北武藏型環		
119 18	SD	21	土師器	環	(15.0)	[3.3]	—	1/3 雲 角 長石 白粒	普通	にふい橙	北武藏型環		
119 19	SD	21	土師器	環	(15.6)	[3.1]	—	1/5 雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	にふい橙	北武藏型環		
119 20	SD	21	土師器	環	(15.0)	[4.4]	—	破片 石英 赤粒	普通	にふい橙	赤系, 北武藏型環		
119 21	SD	21	土師器	環	(14.3)	[4.3]	—	1/3 角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	北武藏型環		
119 22	SD	21	土師器	環	(15.0)	[4.3]	—	破片 雲 角 白粒	普通	にふい赤褐	黒色, No25		
119 23	SD	21	土師器	壺	(15.0)	[5.7]	—	破片 角 石英 白粒	普通	橙			
119 24	SD	21	土師器	鉢	(17.7)	[6.7]	—	破片 雲 角 赤粒 白粒	普通	灰白			
119 25	SD	21	土師器	壺	(15.6)	[4.5]	—	破片 角 石英 白粒 礫	普通	にふい橙	No70, 摩滅顯著		
119 26	SD	21	土師器	小型甕	(13.5)	[4.9]	—	破片 角 砂粒 白粒	普通	黄灰			
119 27	SD	21	土師器	鉢型甕	(25.7)	[5.5]	—	破片 雲 石英 赤粒 白粒	普通	褐灰	I—14G		
119 28	SD	21	土師器	鉢型甕	(20.2)	[7.0]	—	破片 角 石英 赤粒	普通	褐灰			
119 29	SD	21	土師器	鉢型甕	(26.4)	[7.0]	—	破片 赤粒 白粒	普通	にふい赤褐	J—13G		
119 30	SD	21	土師器	鉢型甕	(21.5)	[6.0]	—	破片 石英 赤粒 白粒 礫	普通	にふい橙	J—13G		
119 31	SD	21	土師器	小型甕	13.4	17.4	—	4/5 雲 角 赤粒 白粒	普通	橙・黒斑あり	K—11G	26	
119 32	SD	21	土師器	小型甕	(15.3)	[15.6]	—	1/2 雲 角 石英 赤粒 白粒 礫	普通	橙・黒斑あり	I—14G	26	
119 33	SD	21	土師器	甕	(19.2)	[6.2]	—	破片 雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい黄橙			
119 34	SD	21	土師器	甕	(15.0)	[4.9]	—	破片 雲 石英 赤粒 白粒	普通	灰褐	J—13G		
120 35	SD	21	土師器	壺	(19.2)	[6.1]	—	破片 雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい橙			
120 36	SD	21	土師器	甕	(19.1)	[6.1]	—	破片 雲 石英 赤粒 黒粒	普通	にふい黄橙			
120 37	SD	21	土師器	甕	(19.0)	[7.0]	—	破片 雲 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	J—13, No83		
120 38	SD	21	土師器	甕	(18.5)	[7.1]	—	破片 雲 白粒	普通	にふい黄橙			
120 39	SD	21	土師器	甕	(20.4)	[8.8]	—	破片 雲 石英 白粒 黒粒	普通	にふい黄橙			
120 40	SD	21	土師器	甕	(19.8)	[9.6]	—	1/5 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい褐	J—13G	26	
120 41	SD	21	土師器	甕	(18.4)	[7.4]	—	破片 雲 角 石英 赤粒	普通	にふい黄橙			
120 42	SD	21	土師器	甕	(19.0)	[11.2]	—	破片 角 赤粒 白粒	良好	浅黄橙		26	
120 43	SD	21	土師器	甕	(20.9)	[14.2]	—	破片 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	軽い		
120 44	SD	21	土師器	甕	20.0	[10.4]	—	1/5 石英 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	H—14G		
120 45	SD	21	土師器	壺	(24.5)	[5.1]	—	破片 角 長石 赤粒 白粒	普通	浅黄			
120 46	SD	21	土師器	甕	(24.0)	[18.7]	—	破片 雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい黄橙	K—11G		
120 47	SD	21	土師器	甕	—	[6.1]	(7.8)	破片 雲 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	K—10G		
120 48	SD	21	土師器	甕	—	[12.8]	8.3	1/5 雲 角 赤粒 白粒 礫	普通	にふい橙	J—13G		
120 49	SD	21	土師器	高環	—	[5.8]	—	1/4 雲 角 赤粒 白粒	普通	黒褐	K—10G		
120 50	SD	21	土師器	甕	—	[4.5]	(5.5)	破片 角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	内面J字ナ字		
120 51	SD	21	石製品	紡錘車	—	厚1.9	4.1	4/5			滑石	44	
120 52	SD	21	石製品	有孔円板	長さ(2.6)幅(2.6)厚(3.6)			破片			滑石, 未製品		
121 53	SD	21	須恵器	環蓋	11.3	4.1	—	(3)2完形 雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰黄褐	J—13G, 未野産	26	
121 54	SD	21	須恵器	施	—	[6.9]	—	4/5 白粒 黒粒	普通	灰白	底部破刻	26	
121 55	SD	21	須恵器	施	—	[4.6]	—	破片 角 石英 白粒 黒粒	普通	灰	未野産		
121 56	SD	21	須恵器	鉢	(24.0)	[5.1]	—	破片 白粒	普通	灰	良好	J—3G	
121 57	SD	21	須恵器	提瓶	—	[9.4]	—	破片 白粒	普通	灰	No24		
121 58	SD	21	須恵器	提瓶	—	—	—	破片 白粒 黒粒	良好	灰			
121 59	SD	21	須恵器	壺	—	[4.3]	—	破片 白粒	普通	灰	J—13G		
121 60	SD	21	須恵器	甕	—	[13.4]	—	口縁破片 雲 白粒	普通	暗青灰	J—13		
121 61	SD	21	須恵器	甕	—	[9.1]	—	破片 白粒	普通	灰			
121 62	SD	21	須恵器	甕	—	—	—	破片 砂粒 赤粒 白粒	普通	灰白	未野産		
121 63	SD	21	須恵器	甕	—	—	—	破片 白粒	良好	灰	No15		
121 64	SD	21	須恵器	甕	—	—	—	破片 雲 長石 赤粒 白粒	普通	灰白	未野産		
121 65	SD	21	須恵器	甕	—	—	—	破片 白粒	普通	にふい黄橙	未野産		
121 66	SD	21	須恵器	甕	—	[11.7]	—	破片 白粒	普通	灰			
126 1	SD	80	土師器	環	12.0	3.8	—	完形 雲 角 白粒	普通	にふい褐	有段口縁環	27	
126 2	SD	80	土師器	環	(11.6)	4.2	—	2/3 角 赤粒 白粒	普通	褐灰	黒色有段口縁環	27	
126 3	SD	80	土師器	環	(11.8)	4.0	—	1/2 雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	有段口縁環	27	

第38表 溝跡出土遺物観察表(3)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	
126 4	SD	80	土師器	環	(11.4)	3.3	—	3/4 角 赤粒 白粒	普通	褐灰	黒色有段口縁環	27
126 5	SD	80	土師器	環	11.6	4.3	—	ほぼ完成 赤粒 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	27
126 6	SD	80	土師器	環	10.5	3.7	—	3/4 角 石英 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	27
126 7	SD	80	土師器	環	11.7	3.7	—	完成 角 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	27
126 8	SD	80	土師器	環	11.5	4.7	—	2/3 角 白粒	普通	黒	黒色有段口縁環	27
126 9	SD	80	土師器	環	11.8	3.6	—	完成 角 赤粒 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	27
126 10	SD	80	土師器	環	12.0	4.6	—	3/4 角 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	27
126 11	SD	80	土師器	環	(12.0)	4.0	—	2/3 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	28
126 12	SD	80	土師器	環	11.6	4.2	—	4/5 雲 赤粒 白粒 黒粒	良好	黒濁	黒色有段口縁環	28
126 13	SD	80	土師器	環	11.3	4.5	—	ほぼ完成 雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい濁	有段口縁環	28
126 14	SD	80	土師器	環	(12.2)	[3.7]	—	1/3 白粒 黒粒	普通	明赤濁	有段口縁環	
126 15	SD	80	土師器	環	(10.5)	[3.7]	—	破片 雲 白粒	良好	にふい橙	有段口縁環	
126 16	SD	80	土師器	環	(12.1)	[4.2]	—	1/5 雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	明赤濁	有段口縁環	
126 17	SD	80	土師器	環	(11.7)	2.5	—	1/3 雲 角 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	明赤濁	有段口縁環	
126 18	SD	80	土師器	環	12.0	[4.1]	—	1/2 雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	有段口縁環	28
126 19	SD	80	土師器	環	11.2	[3.7]	—	2/3 雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	28
126 20	SD	80	土師器	環	(12.8)	[3.5]	—	1/4 雲 白粒 黒粒	良好	黒濁	黒色有段口縁環	
126 21	SD	80	土師器	環	(13.3)	4.3	—	1/3 雲 角 赤粒 白粒	普通	黒	黒色有段口縁環	28
126 22	SD	80	土師器	環	(10.9)	4.2	—	1/4 雲 角 赤粒 白粒 礫	良好	黒	黒色有段口縁環	
126 23	SD	80	土師器	環	(10.8)	[3.6]	—	1/5 角 赤粒 白粒	良好	黒	黒色有段口縁環	
126 24	SD	80	土師器	環	(11.9)	[4.2]	—	1/2 角 赤粒 白粒 礫	普通	黒	黒色有段口縁環	28
126 25	SD	80	土師器	環	(12.9)	[3.7]	—	破片 雲 角 白粒	普通	にふい黄橙	黒色有段口縁環	
126 26	SD	80	土師器	環	(13.0)	[3.9]	—	破片 角 赤粒 白粒	普通	黒	黒色有段口縁環	
126 27	SD	80	土師器	環	(11.1)	4.1	—	3/4 雲 角 赤粒 白粒	普通	灰白	黒色有段口縁環	28
126 28	SD	80	土師器	環	(11.8)	[3.8]	—	1/3 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	
126 29	SD	80	土師器	環	(12.2)	[3.8]	—	1/4 赤粒 白粒 黒粒	普通	暗黒	黒色有段口縁環	
126 30	SD	80	土師器	環	(11.7)	[2.9]	—	1/5 角 赤粒 白粒	良好	黒	黒色有段口縁環	
126 31	SD	80	土師器	環	(10.7)	[3.3]	—	1/5 雲 角 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	
126 32	SD	80	土師器	環	(12.6)	[3.3]	—	1/5 雲 角 赤粒 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	
127 33	SD	80	土師器	環	12.2	4.5	—	3/5 白粒 黒粒	普通	暗黒	黒色有段口縁環	28
127 34	SD	80	土師器	環	11.8	4.1	—	3/4 角 赤粒 黒粒	普通	黒	黒色有段口縁環	28
127 35	SD	80	土師器	環	12.0	4.8	—	ほぼ完成 雲 赤粒 白粒 礫	普通	黒	黒色有段口縁環	29
127 36	SD	80	土師器	環	12.0	4.5	—	4/5 雲 角 赤粒 白粒	普通	褐灰	黒色有段口縁環	29
127 37	SD	80	土師器	環	11.0	4.3	—	4/5 雲 角 赤粒 白粒	普通	黒	黒色有段口縁環	29
127 38	SD	80	土師器	環	11.0	4.0	—	3/4 石英 赤粒 白粒 礫	普通	にふい濁	赤彩、模倣環	29
127 39	SD	80	土師器	環	11.8	4.3	—	4/5 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	模倣環	29
127 40	SD	80	土師器	環	10.8	3.3	—	4/5 角 赤粒 白粒 礫	普通	にふい黄濁	赤彩、模倣環	29
127 41	SD	80	土師器	環	11.1	3.7	—	完成 雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	破片、模倣環	29
127 42	SD	80	土師器	環	(10.7)	[3.3]	—	1/4 雲 角 白粒	普通	にふい黄橙	模倣環	
127 43	SD	80	土師器	環	(10.9)	3.5	—	1/3 雲 赤粒 白粒	普通	にふい橙	模倣環	
127 44	SD	80	土師器	環	(10.6)	3.3	—	1/2 雲 白粒 礫	普通	橙	西宮台跡、堀灰	29
127 45	SD	80	土師器	環	(10.9)	3.3	—	2/3 雲 赤粒 白粒	普通	にふい橙	破片、模倣環C	29
127 46	SD	80	土師器	環	11.4	4.4	—	4/5 雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙	模倣環	29
127 47	SD	80	土師器	環	10.4	4.0	—	3/4 雲 角 赤粒 白粒	普通	橙、黒灰あり	模倣環	30
127 48	SD	80	土師器	環	(11.2)	[4.0]	—	1/3 雲 片 角 白粒 礫	普通	褐灰	黒色模倣環	30
127 49	SD	80	土師器	環	(12.1)	[2.8]	—	破片 雲 角 白粒	良好	橙	模倣環	
127 50	SD	80	土師器	環	(10.2)	3.4	—	1/4 雲 赤粒 白粒	普通	赤濁	模倣環	30
127 51	SD	80	土師器	環	(10.0)	[3.1]	—	1/4 長石	普通	にふい濁	赤彩、模倣環	30
127 52	SD	80	土師器	環	(11.6)	[3.0]	—	破片 白粒 黒粒	良好	赤濁	赤彩、模倣環	
127 53	SD	80	土師器	環	(9.6)	[2.7]	—	破片 雲 角 白粒	普通	褐灰	赤彩、模倣環	
127 54	SD	80	土師器	環	(14.0)	[2.7]	—	破片 長石 赤粒	普通	赤濁	赤彩、比企型環	
127 55	SD	80	土師器	環	(13.4)	2.2	—	破片 長石 赤粒	普通	赤濁	赤彩、比企型環	
127 56	SD	80	土師器	環	(10.9)	3.6	—	2/3 雲 角 赤粒 白粒	普通	灰黄	模倣環C	30
127 57	SD	80	土師器	環	11.4	3.8	—	ほぼ完成 角 石英 赤粒 白粒 礫	普通	にふい濁	赤彩、比企型環	30
127 58	SD	80	土師器	環	11.1	4.5	—	ほぼ完成 雲 角 石英 赤粒 白粒 礫	普通	にふい黄橙	赤彩、比企型環	30
127 59	SD	80	土師器	環	(14.6)	[3.6]	—	破片 角 石英 赤粒 白粒	普通	黒濁	黒色有段口縁環	
127 60	SD	80	土師器	環	(10.8)	4.0	—	1/4 角 白粒	良好	黒	黒色有段口縁環	

第39表 溝跡出土遺物観察表 (4)

標号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
128 61	SD	80	土師器	環	10.7	4.0	—	3/4 雲角赤粒白粒	普通	明赤褐	横紋環	30
128 62	SD	80	土師器	環	10.2	[2.8]	—	1/5 雲角長石白粒	普通	にふい褐	北武藏型環	
128 63	SD	80	土師器	環	12.6	3.1	—	1/2 雲角長石赤粒白粒	普通	にふい褐	北武藏型環	30
128 64	SD	80	土師器	皿	11.6	1.6	—	破片 雲角白粒	不良	にふい黄粒	黒色	
128 65	SD	80	土師器	皿	13.2	[1.5]	—	破片 雲角赤粒白粒	普通	にふい褐		
128 66	SD	80	土師器	皿	15.6	[3.9]	—	破片 雲角赤粒白粒	普通	明赤褐		
128 67	SD	80	土師器	鉢	17.2	[3.8]	—	破片 雲角赤粒白粒	普通	にふい褐		
128 68	SD	80	土師器	環	—	[1.3]	—	1/2 雲角白粒	普通	灰黄褐		
128 69	SD	80	土師器	環	—	[1.3]	—	破片 赤粒白粒	普通	橙赤褐	放射状暗文	
128 70	SD	80	土師器	環	—	[0.9]	—	破片 雲角長石赤粒	普通	灰黄褐	放射状暗文	
128 71	SD	80	土師器	環	—	[1.9]	—	破片 雲白粒	普通	にふい橙	放射状暗文	
128 72	SD	80	土師器	環	—	[3.7]	—	底部のみ 雲赤粒白粒 礫	良好	にふい黒		
128 73	SD	80	土師器	高環	18.0	[5.4]	—	1/5 雲角長石白粒黒粒	普通	赤褐		
128 74	SD	80	土師器	高環	16.0	[3.9]	—	破片 雲長石白粒	良好	灰黄褐		
128 75	SD	80	土師器	高環	—	[7.2]	—	脚部のみ 雲角長石白粒黒粒	普通	にふい赤褐		
128 76	SD	80	土師器	高環	—	[7.3]	—	脚部のみ 雲角白粒	普通	赤褐	赤彩	
128 77	SD	80	土師器	高環	—	[6.2]	—	脚部のみ 雲角長石白粒黒粒	普通	にふい赤褐		
128 78	SD	80	土師器	鉢	26.8	[11.0]	—	1/3 角赤粒白粒黒粒	不良	黒		
128 79	SD	80	土師器	鉢	8.6	[4.7]	—	1/3 雲白粒黒粒	不良	灰白		
128 80	SD	80	土師器	小型壺	—	[4.3]	—	破片 赤粒	普通	黒褐	頸部に孔あり	
128 81	SD	80	土師器	手捏	8.4	4.4	—	破片 雲砂粒	普通	黒褐	黒色	
128 82	SD	80	土師器	手捏	7.3	3.5	—	破片 雲白粒	普通	褐		
128 83	SD	80	須恵器	環蓋	12.4	4.2	—	ほぼ完成 雲石英白粒	普通	灰	木野産	30
128 84	SD	80	須恵器	環蓋	12.6	2.6	—	破片 石英白粒	良好	灰		
128 85	SD	80	須恵器	環蓋	12.5	3.0	—	1/4 雲石英砂粒	良好	にふい黄粒	木野産	
128 86	SD	80	須恵器	壺	—	[6.1]	—	胴部破片 石英白粒	普通	灰白	木野産	
128 87	SD	80	須恵器	蓋	18.0	[6.7]	—	1/3 石英白粒	良好	灰		
128 88	SD	80	須恵器	環身	11.4	2.5	—	破片 砂粒	良好	灰		
128 89	SD	80	須恵器	環身	13.7	[3.5]	—	破片 雲砂粒	普通	にふい褐		
129 90	SD	80	須恵器	蓋	—	[1.5]	—	破片 雲石英赤粒白粒	普通	橙		
129 91	SD	80	土師器	甕	18.0	[7.1]	—	破片 雲角赤粒白粒	普通	にふい黄粒		
129 92	SD	80	土師器	甕	20.6	[7.0]	—	破片 雲石英赤粒白粒礫	普通	にふい黄粒		
129 93	SD	80	土師器	甕	19.5	[8.0]	—	破片 雲角赤粒白粒	普通	にふい黄粒		
129 94	SD	80	土師器	甕	13.0	[9.3]	—	破片 雲石英赤粒礫	普通	にふい橙		
129 95	SD	80	土師器	甕	21.1	[7.7]	—	破片 雲石英赤粒白粒	普通	灰黄褐		
129 96	SD	80	土師器	甕	20.3	[6.3]	—	破片 雲石英赤粒白粒	普通	にふい黄粒		
129 97	SD	80	土師器	甕	18.1	[10.0]	—	破片 雲角長石石英白粒黒粒	普通	灰黄褐		
129 98	SD	80	土師器	甕	21.1	[8.6]	—	破片 雲石英赤粒白粒礫	普通	灰黄褐		
129 99	SD	80	土師器	甕	17.8	[10.4]	—	破片 雲石英赤粒白粒	普通	灰褐		
129 100	SD	80	土師器	甕	18.4	[14.2]	—	破片 雲長石赤粒白粒礫	普通	にふい橙		
129 101	SD	80	土師器	甕	24.0	[10.8]	—	破片 雲石英赤粒白粒礫	普通	にふい黄粒		
129 102	SD	80	土師器	甕	15.2	[8.9]	—	破片 雲白粒	良好	にふい黄粒		
129 103	SD	80	土師器	甕	18.8	[7.0]	—	破片 雲角白粒	普通	にふい黄粒		
129 104	SD	80	土師器	甕	19.0	[9.5]	—	破片 雲角石英赤粒黒粒	良好	黄灰	口縁部凹む	
129 105	SD	80	土師器	甕	20.0	[17.7]	—	1/5 雲赤粒白粒礫	普通	褐灰		
129 106	SD	80	土師器	甕	—	[7.4]	5.9	底部 雲角赤粒白粒	普通	黒	外面スチ付着	
129 107	SD	80	土師器	甕	—	[1.8]	4.4	底部のみ 雲黒粒	普通	褐灰		
129 108	SD	80	土師器	甕	—	[1.8]	6.5	破片 角砂粒白粒	普通	黒		
129 109	SD	80	土師器	甕	—	[2.5]	6.8	底部のみ 雲角長石赤粒白粒	普通	不良	にふい黄粒	
129 110	SD	80	土師器	甕	19.0	32.8	6.1	ほぼ完成 雲石英赤粒	普通	橙		
130 111	SD	80	土師器	壺	14.1	[5.7]	—	破片 雲赤粒白粒礫	普通	にふい黄粒		
130 112	SD	80	土師器	壺	14.0	[7.4]	—	口縁のみ 雲角	不良	にふい橙		
130 113	SD	80	土師器	壺	11.6	[11.3]	—	1/3 雲長石石英赤粒	普通	灰黄	器面摩滅激しい	
130 114	SD	80	土師器	壺	18.8	33.2	10.0	3/4 石英砂粒赤粒	良好	黄褐		
130 115	SD	80	土師器	壺	21.7	[6.3]	—	破片 角赤粒白粒黒粒	普通	黄灰		
130 116	SD	80	土師器	壺	—	[4.8]	8.0	破片 雲石英赤粒白粒	普通	灰黄褐		
130 117	SD	80	土師器	壺	—	[2.9]	9.1	破片 雲角白粒	普通	灰黄褐		

第40表 溝跡出土遺物観察表(5)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
130 118	SD	80	土師器	壺	—	[5.1]	(10.0)	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	底部外面へう割り	
130 119	SD	80	土師器	壺	—	[4.9]	(10.5)	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒	底部外面へう割り	
130 120	SD	80	土師器	壺	—	[4.6]	(8.0)	破片	雲 角 礫	普通	灰黄褐		
130 121	SD	80	土師器	瓶	—	[3.1]	(10.8)	破片	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	黒		
130 122	SD	80	土師器	瓶	—	[2.4]	5.1	底部のみ	雲 角 長石 石英	普通	にふい黄橙		
130 123	SD	80	土師器	瓶	—	[3.7]	—	把手破片	白粒 礫	普通	灰		
130 124	SD	80	土師器	瓶	—	[6.1]	—	把手のみ	雲 赤粒 白粒	普通	褐灰		
130 125	SD	80	土師器	瓶	—	[6.1]	—	把手破片	石英 赤粒 白粒	普通	褐灰		
130 126	SD	80	土師器	瓶	—	[3.2]	—	把手破片	角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい橙		
130 127	SD	80	土師器	瓶	—	(5.1)	—	把手破片	角 赤粒 白粒	普通	にふい橙		
130 128	SD	80	土師器	瓶	—	[3.1]	—	把手のみ	雲 角 長石 石英 赤粒 白粒	普通	にふい赤褐		
130 129	SD	80	土師器	高坏	—	[5.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	浅黄橙	赤彩	
130 130	SD	80	土師器	台付甕	—	[7.6]	(10.2)	脚部のみ	雲 角 白粒	普通	黒褐		
130 131	SD	80	石製品	砥石	長さ[4.6]	幅[4.3]	厚さ3.4					50	
130 132	SD	80	石製品	紡錘車	径3.6	高さ1.5						44	
130 133	SD	80	石製品	紡錘車	径5.0	高さ1.4						44	
130 134	SD	80	石製品	管玉	長さ[2.9]	径1.0	孔径0.15					44	
131 135	SD	80	須臾器	壺	(7.2)	[4.0]	—	口縁破片	雲 白粒	良好	灰	口縁部碎り返し	
131 136	SD	80	須臾器	壺	13.0	[4.8]	—	口縁破片	石英 白粒	普通	灰	未野産	
131 137	SD	80	須臾器	壺	(14.0)	[4.4]	—	口縁破片	砂粒 白粒	良好	灰褐		
131 138	SD	80	須臾器	壺	—	[4.2]	—	破片	石英 砂粒	良好	灰		
131 139	SD	80	須臾器	壺	(17.0)	[2.3]	—	破片	雲 石英	普通	白灰	東区中央	
131 140	SD	80	須臾器	横瓶	—	—	—	胸部破片	雲 砂粒 赤粒	良好	灰	未野産	
131 141	SD	80	須臾器	壺	10.6	[9.5]	—	口縁部/2	砂粒 白粒	良好	灰	平井甲 青海波	
131 142	SD	80	須臾器	壺	—	—	—	胸部破片	雲 石英	普通	灰	平井甲 青海波	
131 143	SD	80	須臾器	甕	—	[5.2]	—	胸部破片	石英 白粒	普通	黄灰	未野産	
131 144	SD	80	須臾器	甕	—	—	—	胸部破片	雲	普通	灰白	平井甲 青海波	
131 145	SD	80	須臾器	甕	—	—	—	胸部破片	長石 石英	良好	青灰	平井甲 青海波	
131 146	SD	80	須臾器	甕	—	—	—	胸部破片	長石 石英	良好	青灰	青海波	
132 147	SD	80	須臾器	壺	20.0	29.7	—	ほぼ完形	雲 砂粒 白粒	良好	灰	K-8G	31
132 148	SD	80	須臾器	壺	14.6	25.0	—	ほぼ完形	片岩 石英 赤粒	良好	にふい黄橙	K-8G	31
132 149	SD	80	木製品	下駄	長さ21.1	幅10.8	厚さ3.6					東区No319	32
132 150	SD	80	木製品	横楯	長さ[27.5]	径4.4						東区	32
132 151	SD	80	木製品	板	長さ[28.9]	幅7.3	厚さ2.6					東区	32
133 152	SD	80	木製品	板	長さ[28.7]	幅7.2	厚さ1.3					J-8G	32
133 153	SD	80	木製品	板	長さ[37.2]	幅10.2	厚さ2.3					本取りは椀目	32
133 154	SD	80	木製品	板	長さ[42.2]	幅6.6	厚さ1.6					本取りは椀目	32
133 155	SD	80	木製品	槽	長さ[37.6]	長径6.5	短径4.0						32
133 156	SD	80	木製品	天杆棒	長さ133	径1.6							32
135 1	SD	85	土師器	環	13.1	3.8	—	ほぼ完形	雲 角 石英	普通	灰黄褐	SD175-No1	33
135 2	SD	85	須臾器	環	(10.8)	3.9	5.4	1/4	白粒 針	普通	褐灰	「黒書」	33
135 3	SD	85	須臾器	環	—	[2.4]	7.4	1/5	角 白粒 針	普通	灰	黒書	33
135 4	SD	85	須臾器	環	(11.8)	[4.5]	(7.2)	破片	砂粒 針	普通	灰		
135 5	SD	85	須臾器	環	—	[1.6]	8.6	底部のみ	砂粒 針	普通	灰白		
135 6	SD	85	須臾器	環	(12.8)	4.5	6.0	1/2	赤粒 針	普通	橙		
135 7	SD	85	須臾器	環	12.7	4.1	6.5	2/3	針	普通	灰白		
135 8	SD	85	須臾器	環	—	1.8	6.0	底部のみ	砂粒 針	普通	灰褐		
135 9	SD	85	須臾器	鉢	(14.0)	[4.9]	—	破片	砂粒 針	普通	青灰	南比企産	
135 10	SD	85	須臾器	高坏	—	[4.7]	—	脚部のみ	砂粒 針	普通	紫灰	内面に降灰	
135 11	SD	85	須臾器	甕	(9.0)	[2.2]	—	破片	白粒	良好	灰白	内面に降灰	
135 12	SD	85	須臾器	甕	—	[7.8]	—	口縁欠損	雲 赤粒	普通	灰白	未野産	33
135 13	SD	85	須臾器	高台付埴	(19.0)	9.4	—	1/2	雲 針 黒粒	良好	灰白		33
135 14	SD	85	須臾器	壺	(15.1)	[2.0]	—	破片	針	普通	灰		
135 15	SD	85	須臾器	壺	(13.6)	[7.8]	—	口縁破片	針	普通	灰		
135 16	SD	85	土師器	鉢	(13.0)	[7.2]	—	1/3	砂粒 白粒	普通	灰褐		
135 17	SD	85	瓦	平瓦	—	—	—	破片	長石 砂粒	普通	不良	内面布目	49
135 18	SD	85	土製品	土鎌	長さ7.5	幅2.9	孔径1.0	ほぼ完形	砂粒	普通	橙		45

第41表 溝跡出土遺物観察表 (6)

採回番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
135 19	SD	87	土師器	甕	(17.4)	[3.7]	—	1/4 雲 角 石英 赤粒	普通	橙		
135 20	SD	87	土師器	甕	(16.8)	[5.2]	—	破片 雲 角 赤粒	普通	浅黄橙		
135 21	SD	87	土師器	甕	(22.2)	[3.0]	—	破片 雲 片 石英	普通	橙		
135 22	SD	87	須恵器	甕	—	—	—	破片 白粒 黒粒	良好	灰		
135 23	SD	87	須恵器	甕	—	—	—	破片 雲 角	良好	黄灰		
136 1	SD	94	土師器	環	10.5	3.8	—	ほぼ完形 雲 角 石英 白粒	普通	黒	木野産	33
136 2	SD	94	土師器	環	(10.4)	[3.3]	—	完形 雲 角 白粒 黒粒	良好	橙	北武藏型環	33
136 3	SD	94	土師器	環	(10.8)	[3.4]	—	1/2 雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	北武藏型環	33
136 4	SD	94	土師器	環	(10.7)	[3.5]	—	1/4 雲 赤粒 白粒	普通	にふい橙	北武藏型環	
136 5	SD	94	土師器	環	(13.8)	[4.1]	—	1/5 角 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい黄橙		
136 6	SD	94	須恵器	環蓋	(14.1)	[3.6]	—	1/5 角 石英 白粒	普通	灰白	木野産	
136 7	SD	94	須恵器	壺	—	—	—	破片 白粒	良好	灰		
136 8	SD	94	須恵器	壺	(17.9)	[4.6]	—	破片 白粒 黒粒	普通	灰白		
136 9	SD	94	土師器	鉢	(19.8)	[6.1]	—	破片 赤粒	普通	にふい橙		
136 10	SD	94	須恵器	甕	—	—	—	破片 長石 白粒	普通	灰		
136 11	SD	94	土師器	壺	(21.4)	[6.4]	—	破片 雲 赤粒 白粒 黒粒 磯	普通	灰黄褐		
136 12	SD	94	須恵器	壺	(23.6)	[4.1]	—	破片 白粒	普通	黒		
136 13	SD	94	須恵器	壺	(24.1)	[8.7]	—	破片 黒粒	普通	灰白		
136 14	SD	127	青磁	碗	(16.9)	[3.3]	—	破片 白粒 黒粒	良好	灰 黒白		
136 15	SD	127	灰軸陶器	長頸瓶	(16.0)	[1.2]	—	破片 白粒 黒粒	良好	灰白 黒白		44
136 16	SD	127	灰軸陶器	壺	—	[1.9]	6.8	1/5 白粒 黒粒	良好	灰 黒(灰白+700)	浜北	48
136 17	SD	127	灰軸陶器	長頸瓶	—	[7.2]	(13.4)	破片 白粒 黒粒	良好	灰 黒(灰白+7)	浜北	47
136 18	SD	127	常滑	甕	—	[5.1]	12.0	底部 雲 石英 白粒	普通	灰		
136 19	SD	127	常滑	甕	—	[5.1]	—	破片 白粒	普通	灰		
136 20	SD	127	石製品	砥石	長さ[3.5]幅3.3厚さ2.8		—	破片	普通	灰		50
136 21	SD	127	青磁	碗	—	—	—	破片 白粒	良好	灰 黒(灰白+7)		44
136 22	SD	127	石製品	石鉢	長さ5.2幅3.5厚さ1.5		—	—	普通	灰		35
136 23	SD	127	土製品	土鉢	長さ7.7幅4.0孔径1.3		ほぼ完形	雲	普通	暗灰		45
136 24	SD	127	土製品	土鉢	長さ6.0幅1.5孔径0.4		ほぼ完形	雲 角 長石	不良	明赤褐		45
137 1	SD	95	須恵器	環	12.6	3.3	6.0	ほぼ完形 雲 角 小石	普通	灰		34
137 2	SD	95	須恵器	環	11.8	5.2	6.2	4/5 雲 石英	普通	灰	黒書「大」か?	34
137 3	SD	95	須恵器	環	(10.0)	3.0	5.0	2/3 雲 黒粒	普通	褐灰		
137 4	SD	95	須恵器	環	(9.8)	3.3	(5.6)	1/5 雲 角 長石	普通	灰黄	砂っぽい	
137 5	SD	95	須恵器	高台付壺	(15.8)	[7.7]	—	1/2 雲 砂粒	普通	橙褐	内黒色クワ土師	34
137 6	SD	95	須恵器	高台付壺	15.8	[5.1]	—	3/4 黒粒	普通	黄褐	クワ土師	34
137 7	SD	95	須恵器	高台付壺	11.0	4.9	5.6	2/3 雲 角 赤粒	普通	にふい黄橙	クワ土師	34
137 8	SD	95	須恵器	高台付壺	6.9	4.9	5.5	1/2 雲 角 赤粒	普通	橙	クワ土師	34
137 9	SD	95	須恵器	高台付壺	—	[2.4]	(6.6)	底部のみ 雲 石英 砂粒	普通	橙	砂が多い	
137 10	SD	95	須恵器	高台付壺	—	[2.3]	(3.8)	破片 雲 石英	普通	灰	雲母多量	
137 11	SD	95	須恵器	高台付壺	—	[2.9]	7.7	底部のみ 雲 石英 赤粒	普通	にふい橙		
137 12	SD	95	須恵器	高台付壺	—	[5.1]	(8.8)	底部のみ 雲 角 長石 小石	普通	橙	クワ土師	
137 13	SD	95	須恵器	高台付壺	(10.9)	3.9	7.0	2/3 雲	普通	にふい橙	クワ土師	34
137 14	SD	95	内黒土器	高台付壺	—	[1.8]	6.0	底部のみ 雲 砂粒	不良	浅黄	ミガキ	
137 15	SD	95	内黒土器	高台付壺	—	[1.8]	—	底部のみ 雲 赤粒	普通	にふい黄橙		
137 16	SD	95	灰軸陶器	耳皿	(10.1)	[3.8]	5.1	2/3 白粒 黒粒	良好	灰 黒(灰白+7)	二川	34
137 17	SD	95	須恵器	壺	—	[2.6]	8.0	底部のみ 砂粒 白粒	良好	灰白		47
137 18	SD	95	須恵器	長頸壺	—	[7.4]	—	頸部破片 雲 白粒	普通	灰		
137 19	SD	95	須恵器	長頸壺	—	[9.4]	—	頸部破片 白粒 黒粒	普通	灰白	器面滑らか、鉄面	
137 20	SD	95	須恵器	蓋	(17.6)	2.1	—	破片 石英 針	良好	青灰		
137 21	SD	95	須恵器	壺	(18.6)	[2.8]	—	破片 雲 角 白粒	普通	黒褐		
137 22	SD	95	須恵器	壺	—	[4.0]	—	破片 白粒	普通	灰	胎土緻密	
137 23	SD	95	土師器	甕	—	[2.8]	(6.6)	底部 雲 石英 砂粒	普通	灰黄褐	雲母多量	
137 24	SD	95	土師器	甕	—	[3.2]	(13.4)	破片 雲 角 石英	普通	にふい黄橙	胎土粗い	
137 25	SD	95	須恵器	甕	—	[2.2]	(12.0)	底部破片 白粒	普通	灰	胎土緻密	
138 26	SD	95	須恵器	甕	—	[8.5]	—	口縁破片 雲 石英 砂粒 白粒	普通	灰	細かい砂粒子	
138 27	SD	95	須恵器	甕	—	[8.6]	—	破片 白粒	普通	灰	胎土非常に緻密	
138 28	SD	95	須恵器	甕	—	[7.6]	—	破片 石英 白粒 黒粒	普通	灰	流状文7本1單位	

第42表 溝跡出土遺物観察表 (7)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図取
138 29	SD	95	須恵器 甕	—	[8.4]	—	破片	白粒	普通	灰	白色粒子多し	
138 30	SD	95	須恵器 甕	—	[10.2]	—	破片	白粒 黒粒	普通	暗灰	黒色粒多し	
138 31	SD	95	瓦	平瓦	長さ[12.3]幅[14.8]厚さ2		破片	雲 石英 黒粒	普通	褐	縄叩き全面	49
138 32	SD	95	瓦	平瓦	長さ[13.5]幅[13.5]厚さ2		破片	雲 石英 砂粒	良好	明褐	縄叩き十字目	49
138 33	SD	95	土師器 甕	(20.8)	[7.7]	—	破片	雲 砂粒 黒粒	不良	茶褐	器面摩滅顯著	
138 34	SD	95	須恵器 羽釜	(21.0)	[11.6]	—	1/4	雲 砂粒	普通	茶褐	在器面	
138 35	SD	95	須恵器 羽釜	(22.0)	[7.4]	—	破片	砂粒 赤粒	不良	茶褐	在地	
138 36	SD	95	須恵器 羽釜	(26.3)	[4.8]	—	破片	砂粒 赤粒	不良	茶褐	在地	
138 37	SD	95	須恵器 羽釜	—	[10.4]	—	破片	砂粒 赤粒	普通	茶褐	在地	
138 38	SD	95	土師器 小型甕	11.6	11.5	6.7	—	完形	雲 砂粒	良好	暗褐	
138 39	SD	95	鉄滓 椀型滓	長さ6.3幅7.5厚さ2.6			ほぼ完形					
138 40	SD	95	土製品 土練	長さ7.7幅3.5孔径1.1			完形	長石 赤粒	普通	黒		34
139 1	SD	158	土師器 高坏	—	[3.5]	—	脚部	雲 砂粒 赤粒	普通	にふい橙		45
139 2	SD	159	土師器 高坏	(13.2)	[2.7]	—	1/5	雲	普通	橙		
139 3	SD	160	土師器 甕	—	[2.2]	(7.9)	底部破片	雲 白粒	普通	にふい黄橙		
139 4	SD	162	須恵器 環	(9.1)	3.0	(6.0)	1/5	雲 角 赤粒 白粒 黒粒 礫	不良	にふい橙	銀雲母多量	
139 5	SD	162	須恵器 環	11.0	4.2	5.5	4/5	赤粒 白粒 黒粒	不良	橙	ロクロ土師器	35
139 6	SD	162	須恵器 環	10.9	3.9	5.2	4/5	雲 角 白粒 黒粒	不良	にふい褐		35
139 7	SD	162	須恵器 環	11.0	3.4	6.3	ほぼ完形	角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	ロクロ土師器	35
139 8	SD	162	須恵器 環	(10.7)	3.4	6.0	3/4	雲 赤粒 白粒	不良	橙	ロクロ土師器	35
139 9	SD	162	須恵器 環	(11.2)	4.7	(5.6)	1/2	赤粒 黒粒	普通	灰		35
139 10	SD	162	須恵器 環	12.0	3.7	5.2	4/5	雲 角 赤粒 白粒 黒粒 礫	不良	灰黄		35
139 11	SD	162	須恵器 皿	(12.2)	2.3	5.8	1/3	雲 赤粒 礫	不良	にふい黄橙		35
139 12	SD	162	須恵器 環	—	[2.4]	5.9	1/4	角 赤粒 白粒	普通	灰白		
139 13	SD	162	須恵器 環	—	[2.5]	(5.6)	1/5	石英 白粒 黒粒	普通	灰		
139 14	SD	162	須恵器 環	—	[2.0]	(6.3)	底部破片	雲 砂粒 赤粒 白粒	不良	褐	ロクロ土師器	
139 15	SD	162	須恵器 環	—	[1.5]	—	破片	雲 角 石英 赤粒	普通	灰黄		
139 16	SD	162	須恵器 環	—	[2.1]	4.6	1/4	雲 石英 白粒 針	普通	灰白		
139 17	SD	162	須恵器 環	—	[2.6]	5.2	1/4	赤粒 白粒	普通	灰白	内面油煙	35
139 18	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.7]	(7.8)	脚部	雲 長石 赤粒 白粒	不良	明橙		
139 19	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.6]	(6.2)	1/5	角 石英 砂粒 白粒	不良	橙褐		
139 20	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[3.3]	5.8	1/3	雲 角 長石 赤粒	不良	黄灰	雲母多量含む	
139 21	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[3.5]	—	1/4	角 長石 砂粒	不良	にふい黄橙	砂粒多量	
139 22	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[1.8]	6.8	底部のみ	角 赤粒 黒粒	不良	赤橙	土師質	
139 23	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.2]	(7.6)	底部	片 石英 砂粒	不良	にふい橙	ロクロ土師器	
139 24	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.7]	7.2	1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	橙	土師質	
139 25	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.1]	(7.8)	破片	角 長石 石英	普通	灰白		
139 26	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.6]	(7.0)	底部破片	角 赤粒 白粒	不良	にふい橙	ロクロ土師器	
139 27	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.4]	7.6	底部のみ	雲 角 石英 白粒	普通	灰白		
139 28	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.5]	5.6	1/3	雲 長石 白粒	不良	灰・内暗灰		
139 29	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.6]	7.2	1/5	雲 角 長石 赤粒	不良	灰白	ロクロ土師器	
139 30	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[2.4]	6.8	底部	雲 角 赤粒	普通	灰	粘土粉っぽい	
139 31	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[3.6]	3.0	1/4	雲 角 赤粒	不良	橙	内側割離粘土	
140 32	SD	162	須恵器 高台付埴	13.5	5.3	7.0	ほぼ完形	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	橙	ロクロ土師器	35
140 33	SD	162	須恵器 高台付埴	(13.3)	5.3	7.2	2/3	雲 角	普通	黄灰		36
140 34	SD	162	須恵器 高台付埴	(13.1)	5.9	6.1	1/2	角 長石 石英	普通	黄灰		36
140 35	SD	162	須恵器 高台付埴	(14.8)	[5.6]	(6.7)	1/4	雲 角 白粒	普通	黄灰		36
140 36	SD	162	須恵器 高台付埴	13.5	5.3	6.2	ほぼ完形	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰白		36
140 37	SD	162	須恵器 高台付埴	(12.6)	[4.9]	(6.1)	3/4	雲 角 白粒 黒粒	不良	にふい黄橙	ロクロ土師器	36
140 38	SD	162	須恵器 高台付埴	(13.8)	5.0	(6.6)	1/2	雲 角 赤粒	普通	灰白		
140 39	SD	162	須恵器 高台付埴	(12.6)	[6.1]	(6.3)	1/3	雲 角 長石 赤粒 白粒	不良	にふい黄	ロクロ土師器	36
140 40	SD	162	須恵器 高台付埴	(14.4)	6.7	9.1	1/2	雲 角 白粒	普通	黄灰		36
140 41	SD	162	須恵器 高台付埴	(13.1)	[4.6]	—	1/4	雲 角 長石 白粒	普通	灰白		
140 42	SD	162	内黒土器 高台付埴	—	[1.7]	5.0	底部のみ	雲 黒粒	不良	淡灰	ミガキ	
140 43	SD	162	内黒土器 高台付埴	—	[2.5]	7.5	底部のみ	雲 角 赤粒	不良	淡褐	ミガキ	
140 44	SD	162	内黒土器 高台付埴	—	[2.9]	9.0	底部のみ	雲 石英 砂粒	不良	褐	ミガキ	
140 45	SD	162	須恵器 高台付埴	—	[1.7]	(6.4)	破片	角 白粒	不良	灰白		

第43表 溝跡出土遺物観察表 (8)

採番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
140	46	SD	162	須恵器	高台付埴	—	[3.3]	—	破片	雲 赤粒	不良	にぶい赤褐色	ロクロ土師器	
140	47	SD	162	須恵器	高台付埴	—	[2.5]	(6.0)	1/5	雲 赤粒	不良	にぶい黄橙		
140	48	SD	162	灰釉陶器	埴	(15.6)	[5.5]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東遺	48
140	49	SD	162	灰釉陶器	埴	(13.1)	[3.1]	—	1/5	白粒 黒粒	良好	灰白, 釉灰白	東遺	48
140	50	SD	162	緑釉陶器	輪花埴	(13.9)	[3.5]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰, 釉灰	二次被熱か 東遺	46
140	51	SD	162	灰釉陶器	轆	—	[6.0]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰, 釉灰	河北	47
140	52	SD	162	灰釉陶器	皿	(12.2)	2.5	(6.3)	1/5	白粒 黒粒	良好	灰, 釉灰	東遺	48
140	53	SD	162	灰釉陶器	長頸瓶	—	[4.0]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰, 釉灰	河北	47
140	54	SD	162	土師器	甕	(22.2)	[7.9]	—	破片	雲 角 白粒	普通	黒褐色		
140	55	SD	162	土師器	甕	(23.0)	[6.9]	—	破片	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	にぶい褐色		
141	56	SD	162	須恵器	長頸瓶	(15.8)	[7.2]	—	破片	長石 小石か礫	普通	黒		
141	57	SD	162	須恵器	壺	(21.2)	[5.7]	—	破片	白粒 黒粒	不良	にぶい黄橙		
141	58	SD	162	須恵器	壺	(19.9)	[8.7]	—	破片	角 石英 白粒	普通	にぶい橙		
141	59	SD	162	須恵器	壺	(7.2)	[6.3]	—	口縁破片	石英 白粒 黒粒	良好	灰白	木野産	
141	60	SD	162	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰白		
141	61	SD	162	須恵器	甕	—	[2.8]	(12.6)	底部のみ	白粒	良好	オリーブ灰		
141	62	SD	162	須恵器	羽釜	(27.2)	[6.4]	—	破片	雲 角 長石 白粒	普通	黄灰		
141	63	SD	162	須恵器	羽釜	(15.8)	[6.4]	—	破片	角 長石 白粒 礫	普通	黒褐色		
141	64	SD	162	須恵器	壺	—	[4.1]	(13.2)	1/5	白粒	良好	灰		
141	65	SD	162	須恵器	鉢	(28.8)	[8.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	橙		
141	66	SD	162	土師器	甕	—	[4.0]	(4.4)	底部	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	橙	底部離れ砂	
141	67	SD	162	瓦	平瓦	長さ[7.3]	厚さ1.8	—	破片	雲 赤粒	普通	にぶい橙	西面布日供首直	49
141	68	SD	162	瓦	平瓦	長さ[16.0]	厚さ2.0	—	破片	小石	普通	にぶい黄橙	西面覆明面布日	49
141	69	SD	162	土製品	土鍾	長さ9.0	幅4.5	孔径1.2	完形	雲 角 石英 礫 小石	普通	にぶい橙		45
141	70	SD	162	土製品	土鍾	長さ7.8	幅3.6	孔径1.0	完形	雲 角	普通	黒, にぶい橙		45
141	71	SD	162	土製品	土鍾	長さ8.2	幅4.5	孔径1.2	1/2	雲 白粒	不良	灰白		45
141	72	SD	162	土製品	土鍾	長さ7.5	幅3.1	孔径1.0	2/3	雲 角 白粒	普通	黄灰		45
141	73	SD	162	土製品	土鍾	長さ[4.0]	幅4.6	孔径1.2	破片	雲 長石	普通	灰白		45
142	1	SD	163	土師器	鉢	(16.2)	[4.1]	—	破片	砂粒 赤粒	普通	にぶい橙		
142	2	SD	163	土師器	壺	—	[2.7]	8.0	底部1/2	砂粒	普通	浅黄		
142	3	SD	163	土師器	甕	—	[1.6]	(10.0)	底部破片	赤粒 白粒	普通	浅黄橙		
142	4	SD	163	土師器	甕	—	[4.8]	4.3	底部のみ	雲 長石 砂粒 赤粒	普通	橙		36
142	5	SD	163	土師器	高坏	—	[8.8]	—	脚部1/2	砂粒 赤粒	不良	浅黄橙	№1	
142	6	SD	163	土師器	手捏	—	[4.8]	—	1/4	砂粒 赤粒	普通	にぶい黄橙		
142	7	SD	163	須恵器	甕	—	[7.5]	—	1/2	白粒	良好	灰		37
142	8	SD	163	須恵器	甕	—	8.8	—	口縁欠損	雲 片岩 石英	普通	灰	木野産	37
142	9	SD	165	須恵器	高台付埴	—	[2.3]	—	底部のみ	角 石英 針	不良	にぶい黄橙		
142	10	SD	165	土師器	甕	(24.0)	[7.2]	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	黒褐色	在地	
142	11	SD	165	須恵器	羽釜	—	[5.9]	—	破片	雲	普通	橙	№1	
142	12	SD	165	土師器	甕	—	[6.5]	5.0	底部1/2	雲 赤粒	普通	褐色		
142	13	SD	165	土師器	台付甕	—	[3.9]	—	脚部破片	石英 砂粒	普通	橙褐色		
142	14	SD	166	土師器	坏	(10.1)	[3.9]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
142	15	SD	166	土師器	坏	(13.9)	[3.9]	—	破片	赤粒 白粒	普通	橙		
142	16	SD	166	土師器	甕	—	—	—	把手	雲 赤粒 礫	普通	にぶい黄橙		
142	17	SD	166	土師器	甕	(18.0)	[7.6]	—	破片	赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
142	18	SD	167	土師器	坏	(11.4)	[3.4]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
142	19	SD	167	土師器	埴	(13.5)	[4.3]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒		
142	20	SD	167	土師器	甕	(21.7)	[5.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
142	21	SD	167	土師器	甕	—	[6.2]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 礫	普通	黒褐色		
142	22	SD	167	土師器	甕	(19.5)	[8.0]	—	破片	赤粒 白粒	普通	灰黄		
142	23	SD	167	土師器	甕	(21.7)	[7.0]	—	破片	石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
142	24	SD	168	土師器	坏	(9.2)	[3.0]	—	1/5	雲 石英 砂粒	不良	にぶい橙	有段口縁坏	
142	25	SD	168	土師器	坏	(9.8)	[3.5]	—	1/4	角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
142	26	SD	168	土師器	坏	(12.9)	[3.6]	—	破片	石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙	有段口縁坏	
142	27	SD	168	土師器	坏	(11.7)	[2.9]	—	破片	角 石英 白粒	普通	橙	北武藏型坏	
142	28	SD	168	土師器	坏	(9.3)	[2.6]	—	破片	石英 赤粒 白粒	普通	橙		
142	29	SD	168	土師器	坏	(13.2)	[2.7]	—	破片	角 赤粒 白粒	普通	橙	有段口縁坏	

第44表 溝跡出土遺物観察表 (9)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
142	30	SD	168	土師器	甕	(21.2)	[7.8]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい濁	
143	1	SD	169	土師器	埴	(12.4)	[4.0]	—	1/5	雲 角 白粒	普通	橙	北武藏型環
143	2	SD	169	土師器	埴	(17.0)	[7.5]	—	1/4	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい濁	内面放射状暗文
143	3	SD	169	土師器	鉢	19.4	[9.3]	—	1/2	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰黄	
143	4	SD	169	土師器	小型壺	(8.9)	[5.1]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	赤彩
143	5	SD	169	土師器	小型甕	(12.0)	[5.5]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒	良好	にふい橙	
143	6	SD	169	土師器	小型壺	8.9	11.9	—	3/4	赤粒 白粒 硨	普通	明褐	
143	7	SD	169	土師器	甕	20.1	[5.5]	—	破片	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい黄橙	37
143	8	SD	169	土師器	甕	(18.4)	[7.2]	—	口縁破片	雲 角 砂粒 白粒	普通	黒	
143	9	SD	169	土師器	甕	21.8	[7.6]	—	口縁のみ	雲 砂粒	普通	にふい黄	
143	10	SD	169	土師器	甕	(21.6)	[7.8]	—	口縁破片	雲 角 長石 赤粒 黒粒	普通	にふい橙	36
143	11	SD	169	土師器	壺	(17.0)	[7.6]	—	口縁破片	雲 角 赤粒	普通	にふい濁	
143	12	SD	169	土師器	壺	(18.8)	[7.3]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	
143	13	SD	169	土師器	壺	(23.2)	[12.2]	—	破片	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	
143	14	SD	169	土師器	壺	(20.8)	[7.7]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	
143	15	SD	169	土師器	壺	22.2	[12.9]	—	1/2	砂粒 赤粒	普通	にふい黄橙	
143	16	SD	169	土師器	甕	16.8	20.6	5.5	3/4	雲 長石 石英 赤粒	普通	にふい黄橙	37
143	17	SD	169	土師器	壺	—	[5.5]	10.8	破片	雲 砂粒 赤粒 白粒 黒粒	普通	黒	胎土砂質
143	18	SD	169	土師器	甕	—	[8.4]	(5.7)	底部のみ	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒濁	
143	19	SD	169	土師器	壺	—	[3.8]	(10.0)	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい橙	
144	20	SD	169	土師器	甕	21.0	38.2	4.7	3/4	砂粒 赤粒	普通	明褐	二次被熱
144	21	SD	169	土師器	甕	20.8	38.4	4.2	2/3	雲 長石 赤粒	普通	黒濁	38
144	22	SD	169	土師器	甕	20.2	[35.7]	—	4/5	長石 砂粒 赤粒	良好	浅黄	38
144	23	SD	169	土師器	甕	20.0	40.1	5.1	4/5	角 赤粒	普通	灰黄—黒濁	38
145	24	SD	169	須恵器	平瓶	(8.4)	17.7	—	ほぼ完形	白粒 黒粒	良好	黄濁	群馬産
145	25	SD	169	須恵器	壺	(19.4)	[5.4]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	灰黄	
145	26	SD	169	須恵器	長頸壺	(6.9)	[6.2]	—	口縁破片	白粒	良好	暗リブ灰	自然熱
145	27	SD	169	須恵器	鉢	(23.8)	[5.7]	—	破片	白粒 針	良好	灰	
145	28	SD	169	須恵器	壺	—	[11.8]	—	破片	角 長石 白粒	普通	灰白	
145	29	SD	169	須恵器	甕	—	[21.7]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	灰白	
145	30	SD	170	土製品	土鍬	長さ8.2	幅2.9	孔径0.9	ほぼ完形	雲 砂粒 白粒	普通	橙	45
146	1	SD	170	土師器	環	(11.6)	[3.3]	—	1/4	雲 長石 赤粒	普通	橙	北武藏型環
146	2	SD	170	土師器	環	(10.0)	[3.0]	—	1/5	雲	普通	橙	
146	3	SD	170	土師器	環	(11.0)	[3.3]	—	1/5	雲 長石	普通	橙	
146	4	SD	170	土師器	環	(11.0)	[3.4]	—	破片	雲 角 長石	普通	にふい濁	有段口縁環
146	5	SD	170	須恵器	環身	(14.4)	[3.2]	—	破片	雲	普通	青灰	未野産
146	6	SD	170	土師器	壺	(16.7)	[12.0]	—	1/3	雲 長石 赤粒	普通	にふい橙	
146	7	SD	170	土師器	鉢	(15.0)	[6.2]	—	破片	雲 砂粒	普通	濁	
146	8	SD	170	土師器	甕	—	[2.0]	4.8	底部のみ	雲 砂粒 赤粒	普通	濁	
146	9	SD	171	土師器	環	(12.8)	[3.5]	—	破片	角 石英	普通	灰黄濁	有段口縁環
146	10	SD	171	土師器	環	(9.9)	3.6	—	1/2	雲 白粒 黒粒 硨	普通	灰黄濁	有段口縁環
146	11	SD	171	土師器	環	(14.4)	[3.2]	—	破片	雲 角 白粒	普通	灰濁	
146	12	SD	171	土師器	環	(11.0)	[3.7]	—	ほぼ完形	雲 赤粒 白粒	普通	橙	有段口縁環
146	13	SD	171	土師器	環	(13.0)	[2.7]	—	破片	雲 角 砂粒	普通	赤濁	比金型環、赤彩
146	14	SD	171	土師器	環	(11.0)	[3.0]	—	破片	角 石英 砂粒 白粒	普通	橙	有段口縁環
146	15	SD	171	土師器	環	(16.8)	[3.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	
146	16	SD	171	土師器	甕	(40.2)	[7.9]	—	破片	雲 硨	普通	灰濁	
146	17	SD	171	土師器	甕	(42.6)	[7.4]	—	破片	雲 角 石英 硨	不良	にふい橙	
146	18	SD	171	土師器	甕	(22.0)	[6.7]	—	破片	砂粒 赤粒	不良	にふい黄濁	
146	19	SD	171	土師器	甕	(20.4)	[8.4]	—	口縁破片	雲 長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい黄	
146	20	SD	171	土師器	鉢	(27.0)	[4.8]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙	
146	21	SD	171	土師器	壺	—	[2.7]	(10.0)	底部破片	雲 角 石英 白粒	普通	にふい黄橙	
146	22	SD	171	須恵器	壺	(20.1)	[8.4]	—	口縁破片	雲 角 白粒 黒粒 硨	良好	灰	
146	23	SD	171	須恵器	甕	—	[8.9]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	灰	
147	1	SD	172	土師器	環	(10.0)	[2.8]	—	破片	雲 赤粒	普通	明褐	北武藏型環
147	2	SD	172	土師器	環	(12.0)	[2.7]	—	破片	雲 長石	普通	赤濁	有段口縁環
147	3	SD	172	土師器	環	(12.0)	[3.0]	—	破片	雲 長石	普通	茶濁	模倣環

第45表 溝跡出土遺物観察表 (10)

標本番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
147 4	SD 172	土師器	甕	(20.3)	[5.6]	—	破片	砂粒	普通	茶褐	器面ザラつく	
147 5	SD 172	土師器	甕	(21.8)	[6.8]	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	にふい黄橙		
147 6	SD 172	土師器	甕	(20.0)	[9.2]	—	口縁破片	石英 砂粒	普通	黒褐		
147 7	SD 173	土師器	台付甕	—	[3.3]	—	脚部のみ	雲 砂粒	普通	橙褐		
147 8	SD 173	土師器	台付甕	—	[6.4]	12.5	脚部のみ	雲 砂粒	普通	にふい橙	砂質	
147 9	SD 174	土師器	環	(12.0)	[4.1]	—	破片	黒粒	普通	灰白	有段口縁環	
147 10	SD 174	土師器	環	(12.3)	[4.1]	—	破片	砂粒 黒粒	普通	橙	赤彩	
147 11	SD 174	土師器	小型甕	(19.0)	[4.4]	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	褐		
147 12	SD 174	土師器	瓶	(23.0)	[6.8]	—	破片	砂粒	普通	暗褐		
147 13	SD 175	土師器	環	(12.0)	[2.4]	—	破片	雲 角 砂粒 白粒	普通	にふい褐		
147 14	SD 175	土師器	環	(13.4)	[3.4]	—	破片	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙	内面放射状暗文	
147 15	SD 175	土師器	環	(12.9)	[3.4]	—	破片	雲 角	普通	にふい橙		
147 16	SD 175	須恵器	環	(14.7)	[3.6]	(11.9)	1/4	雲 石英 針	普通	灰	南比企産	39
147 17	SD 175	土師器	甕	(19.6)	[6.7]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にふい褐		
147 18	SD 175	土師器	甕	—	[2.0]	(4.4)	底部1/2	雲 石英 赤粒	普通	黒		
147 19	SD 175	須恵器	長頸瓶	—	[4.2]	—	頸部破片	雲 黒粒	普通	灰	外面自然釉	
147 20	SD 175	須恵器	壺	(14.2)	[6.2]	—	口縁破片	砂粒 白粒 黒粒	普通	灰白		
147 21	SD 175	須恵器	壺	(23.6)	[6.7]	—	口縁破片	長石 石英	良好	灰白	水野産	
147 22	SD 175	土師器	壺	(19.6)	[8.4]	—	口縁破片	雲 角 石英 砂粒	不良	にふい橙		
147 23	SD 175	土師器	壺	—	[8.4]	(10.6)	1/3	雲 角 赤粒 白粒	普通	にふい黄橙		
147 24	SD 177	土師器	甕	(18.9)	[4.3]	—	口縁破片	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	橙		
147 25	SD 177	土師器	甕	(25.6)	[3.1]	—	口縁破片	雲 石英	普通	褐灰		
147 26	SD 177	土師器	甕	(23.6)	[7.2]	—	口縁破片	雲 角 赤粒	普通	灰褐		
148 1	SD 177	須恵器	蓋	(20.4)	4.4	—	1/2	片 砂粒	良好	灰		39
148 2	SD 177	須恵器	蓋	—	[1.9]	(11.0)	底部破片	白粒 黒粒	良好	灰白	秋間産	
148 3	SD 177	須恵器	環蓋	(9.2)	4.0	—	1/4	白粒	良好	灰		39
148 4	SD 177	須恵器	甕	—	—	—	破片	砂粒 針	良好	灰		
148 5	SD 177	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	カキ目	
148 6	SD 179	土師器	環	(13.6)	[3.2]	—	1/3	雲 角 石英	不良	灰褐		39
148 7	SD 179	土師器	環	812.0	[3.0]	—	1/3	砂粒 赤粒	普通	にふい橙		39
148 8	SD 179	須恵器	環	12.7	4.0	7.0	2/3	雲 角 石英 砂粒	普通	にふい黄橙		39
148 9	SD 179	須恵器	環	(11.8)	[3.6]	(6.4)	1/2	針 黒粒	良好	灰白	水野産、油煙	39
148 10	SD 179	須恵器	環	12.7	3.9	6.2	(ほぼ)完形	白粒 針 黒粒	良好	灰	～29号「上」龍土産	39
148 11	SD 179	須恵器	環	(13.0)	[3.7]	(7.2)	1/4	白粒 針	良好	灰		
148 12	SD 179	須恵器	環	—	[2.6]	(8.0)	底部破片	白粒	良好	灰	外周手持ちヘラ	
148 13	SD 179	須恵器	環	—	[2.7]	(6.0)	底部破片	雲 石英 針 環	良好	にふい褐	南比企産	
148 14	SD 179	須恵器	環	(12.0)	[3.4]	—	口縁破片	雲 石英	普通	灰	水野産、油煙	
148 15	SD 179	土師器	環	10.8	3.9	—	(ほぼ)完形	雲 角 石英	普通	橙	有段口縁環	40
148 16	SD 179	土師器	壺	—	[6.5]	(9.2)	底部破片	角 赤粒 白粒	普通	にふい橙		
148 17	SD 179	須恵器	甕	—	—	—	破片	石英 砂粒 白粒	普通	暗灰		
148 18	SD 179	須恵器	壺	(18.1)	[11.3]	—	破片	白粒 黒粒	良好	黄灰	自然釉全体	
148 19	SD 179	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰		
148 20	SD 179	須恵器	壺	—	—	—	破片	石英 白粒 黒粒	良好	暗灰		
148 21	SD 179	須恵器	壺	—	—	—	破片	雲	良好	灰		
149 1	SD 180	土師器	環	(11.5)	[2.8]	—	15	雲 角 石英	普通	橙	北武蔵型環	
149 2	SD 180	土師器	皿	(17.0)	[3.7]	—	破片	角	普通	橙		
149 3	SD 180	須恵器	鉢	(16.8)	[5.2]	—	破片	雲 片 石英	普通	灰白	水野産	
149 4	SD 180	須恵器	壺	(8.0)	[4.6]	—	口縁破片	白粒 黒粒	普通	褐灰	浜北	
149 5	SD 180	須恵器	環	(11.0)	3.5	3.0	3/4	雲 角 黒粒	普通	黄灰	黒書	
149 6	SD 180	須恵器	壺	—	[5.1]	(12.7)	底部破片	雲 白粒	良好	黄灰		
149 7	SD 180	青磁	碗	(16.6)	[4.1]	—	破片	雲	良好	灰オリーブ	器面釉	44
149 8	SD 180	須恵器	高台付埴	—	[2.3]	(5.5)	底部破片	雲 赤粒	普通	にふい橙	クロコ土師器	
149 9	SD 180	灰釉陶器	埴	—	[1.3]	(6.6)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	龍造	48
149 10	SD 180	灰釉陶器	皿	(24.0)	[4.6]	—	破片	白粒 黒粒	普通	黄灰、釉灰白	浜北	48
149 11	SD 180	灰釉陶器	長頸瓶	—	[5.2]	—	破片	長石 黒粒	良好	灰白、釉灰	浜北	47
149 12	SD 180	須恵器	羽釜	—	—	—	破片	石英 黒粒	普通	灰	水野産	
149 13	SD 180	土製品	羽口	長さ[8.3]	幅3.6	孔径1.7	先端欠損	雲 白粒	普通	にふい橙		50

第46表 溝跡出土遺物観察表(11)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
149 14	SD	180	土製品	土鉢	長さ5.1	幅1.4	孔径0.4	完形	雲 砂粒	普通	にふい掲	45
149 15	SD	181	土師器	環	(20.2)	[5.1]	—	破片	雲	普通	椀	
149 16	SD	181	土師器	環	(15.4)	[4.2]	—	破片	雲 石英 赤粒	普通	椀	有段口縁環
149 17	SD	181	土師器	環	(11.6)	4.4	—	1/4	雲 白粒	普通	黒褐	
149 18	SD	181	土師器	鉢	(10.8)	[2.7]	—	1/4	雲 角	普通	椀	赤彩
149 19	SD	184	土師器	鉢	(18.1)	[4.4]	—	破片	雲 角	普通	暗赤	
149 20	SD	185	土師器	甕	(22.4)	[4.7]	—	破片	雲 石英 赤粒	普通	暗赤褐	未野産
149 21	SD	185	須恵器	甕	—	[8.4]	—	破片	雲	良好	灰	
149 22	SD	186	土師器	環	(13.49)	[2.4]	—	破片	角	普通	椀	北武蔵型環
150 1	SD	187	土師器	環	(11.0)	[3.1]	—	1/5	雲 角	不良	にふい椀	有段口縁環
150 2	SD	187	土師器	環	(11.8)	[3.5]	—	1/5	角 石英	普通	椀	
150 3	SD	187	土師器	環	(13.2)	[4.2]	—	1/5	角 石英	普通	明赤褐	有段口縁環
150 4	SD	187	土師器	環	(11.0)	[3.2]	—	破片	赤粒 白粒	不良	赤褐	
150 5	SD	187	土師器	環	(12.2)	[3.6]	—	破片	雲	普通	にふい黄椀	北武蔵型環
150 6	SD	187	土師器	環	(12.9)	[3.9]	—	1/5	雲 角	普通	褐灰	
150 7	SD	187	土師器	環	(10.6)	[2.8]	—	1/5	雲 角 砂粒 白粒	普通	にふい椀	北武蔵型環
150 8	SD	187	土師器	環	(13.2)	[2.4]	—	破片	雲 角 石英	普通	黒褐	
150 9	SD	187	土師器	環	(11.2)	[2.9]	—	1/4	白粒 黒粒	普通	椀	胎土緻密
150 10	SD	187	土師器	環	(14.4)	[2.7]	—	1/5	角 石英	不良	椀	
150 11	SD	187	土師器	環	(16.0)	[5.4]	—	1/5	白粒	普通	椀	40
150 12	SD	187	土師器	環	(14.6)	4.5	—	2/3	雲 角 石英 赤粒	普通	椀	
150 13	SD	187	土師器	瓶	(25.2)	[9.2]	—	破片	角 石英	不良	褐灰	不良
150 14	SD	187	土師器	鉢	(22.0)	[3.3]	—	破片	雲 角 石英	不良	椀	
150 15	SD	187	土師器	甕	(18.2)	[3.4]	—	破片	雲 長石 石英 赤粒	普通	椀	にふい椀
150 16	SD	187	土師器	甕	(22.8)	[6.7]	—	破片	雲 角 長石	普通	にふい椀	
150 17	SD	187	土師器	甕	(20.6)	[6.4]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい椀	にふい掲
150 18	SD	187	土師器	甕	(21.6)	[11.5]	—	2/5	長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	にふい掲	
150 19	SD	187	土師器	甕	(18.0)	[9.5]	—	破片	雲 角 赤粒	不良	褐灰	灰黄褐
150 20	SD	187	土師器	甕	—	[16.4]	—	破片	雲 長石 石英	普通	灰黄褐	
150 21	SD	187	土師器	甕	—	[20.5]	—	破片	雲	普通	黒	赤彩
150 22	SD	187	土師器	台付甕	—	[5.0]	—	脚部破片	雲 角 石英	普通	明赤褐	
150 23	SD	187	土師器	高環	—	[6.6]	—	脚部1/3	雲	普通	赤	赤彩
150 24	SD	187	土師器	甕	—	[1.6]	(7.0)	底部1/2	雲	普通	にふい椀	
150 25	SD	187	土師器	瓶	—	[6.9]	—	把手	雲 石英	不良	にふい黄椀	赤彩
150 26	SD	187	土師器	高環	—	[4.8]	(12.7)	脚部破片	雲 赤粒	普通	赤褐	
151 1	SD	188	土師器	環	(10.4)	[2.9]	—	破片	雲 角 石英	普通	椀	にふい椀
151 2	SD	188	土師器	環	(12.2)	[3.1]	—	破片	雲 角	普通	にふい椀	
151 3	SD	188	土師器	環	(12.4)	[3.3]	—	1/5	雲 角 長石 砂粒	普通	明赤褐	暗文 有段口縁環
151 4	SD	188	土師器	環	(11.2)	[4.6]	—	1/4	雲 角 石英 砂粒	不良	褐灰	
151 5	SD	189	土師器	甕	(16.1)	[3.4]	—	口縁破片	雲 角 砂粒 赤粒	普通	にふい黄椀	良好
151 6	SD	189	須恵器	高台環	(14.8)	[4.5]	—	1/4	雲 角 長石	普通	暗灰	
151 7	SD	190	土師器	甕	(20.5)	[5.4]	—	口縁破片	雲 砂粒	不良	にふい掲	良好
151 8	SD	191	須恵器	甕	—	—	—	同部破片	白粒 黒粒	良好	灰	
151 9	SD	200	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒 黒粒	普通	灰	普通
151 10	SD	200	須恵器	甕	—	—	—	破片	角 白粒 黒粒	普通	灰	
151 11	SD	200	土師器	鉢	(26.3)	[5.5]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	椀	普通
151 12	SD	202	内黒土器	高台付椀	(15.6)	[4.9]	—	1/3	雲 石英 砂粒 礫	普通	椀	
151 13	SD	202	須恵器	環	(9.8)	[4.4]	—	1/3	雲 角	普通	にふい椀	赤彩多く含む
151 14	SD	202	須恵器	環	(11.4)	3.5 (5.8)	1/2	雲 赤粒	普通	にふい椀		
151 15	SD	202	須恵器	環	(11.3)	3.6 (5.6)	1/4	砂粒	普通	不良	椀	40
151 16	SD	202	須恵器	環	—	[2.7]	(5.0)	1/4	雲 角 砂粒 礫	普通	黒	
151 17	SD	202	灰釉陶器	壺	—	[1.1]	(6.9)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	転用現 東遺
151 18	SD	202	須恵器	高台付壺	—	[2.2]	7.0	底部のみ	雲 赤粒	不良	にふい椀	尾北 東遺
151 19	SD	202	緑釉陶器	壺	—	[2.0]	(9.7)	破片	黒粒	普通	灰白	
151 20	SD	202	灰釉陶器	皿	(14.0)	[6.0]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	48
151 21	SD	202	須恵器	高台付壺	(14.3)	5.5 (7.4)	1/4	雲	普通	にふい椀		
151 22	SD	202	須恵器	環	(13.6)	5.0 (6.4)	1/4	雲 針	不良	にふい黄椀	40	

第47表 溝跡出土遺物観察表 (12)

採回番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
151	23	SD	202	灰釉陶器	長頸瓶	(18.5)	[15.7]	—	破片	石英 白粒 黒粒	良好	昭和44-7	浜北
151	24	SD	202	土製品	土埴	長さ5.9	幅1.5	孔径0.5	成形	雲	普通	橙	
152	1	SD	205	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	木野産
152	2	SD	205	灰釉陶器	長頸瓶	—	[1.3]	(9.4)	破片	—	普通	灰白	浜北
152	3	SD	205	灰釉陶器	長頸瓶	(13.9)	[1.6]	—	破片	—	良好	昭和49-7	東濃
152	4	SD	206	土師器	環	(10.4)	[2.6]	—	口縁破片	雲 角 黒粒	普通	橙	
152	5	SD	206	土師器	環	(10.3)	[2.8]	—	口縁破片	雲 角 白粒	普通	橙	北武蔵型環
152	6	SD	206	土師器	環	(15.0)	[2.2]	—	口縁破片	雲 角 白粒	普通	にふい赤褐	有段口縁環
152	7	SD	206	土師器	甕	(18.2)	[4.4]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒	普通	にふい黄緑	
152	8	SD	207	土師器	環	(10.8)	[3.6]	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒	有段口縁環
152	9	SD	207	土師器	環	(10.6)	[2.8]	—	口縁破片	雲 角	不良	橙	角閃石目立つ
152	10	SD	207	土師器	環	(12.6)	[3.0]	—	口縁破片	雲 赤粒	普通	橙	
152	11	SD	207	土師器	環	(12.2)	[3.7]	—	1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	橙	
152	12	SD	207	土師器	甕	(20.0)	[5.8]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	
152	13	SD	208	土師器	環	(12.1)	[4.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙	
152	14	SD	208	須恵器	鉢	(17.2)	[3.2]	—	破片	白粒 針 黒粒	良好	灰	
152	15	SD	209	土師器	甕	—	[2.9]	(6.0)	底部破片	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	不良	橙	底部木炭痕
152	16	SD	211	須恵器	高台付埴	—	[3.7]	7.7	1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にふい黄緑	
152	17	SD	211	須恵器	高台付埴	—	[2.6]	(6.8)	破片	雲 長石 赤粒 白粒 黒粒	不良	橙	
152	18	SD	211	須恵器	環	—	[1.4]	(5.3)	1/5	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	不良	明褐灰	木野産
152	19	SD	213	土師器	環	(12.4)	[3.4]	—	1/5	雲	不良	橙	
152	20	SD	213	土師器	環	11.8	[3.9]	—	1/2	雲	不良	暗赤褐	
152	21	SD	213	土師器	高環	—	[6.5]	—	脚部	雲 針	普通	明赤褐	40
152	22	SD	213	須恵器	甕	(44.8)	[2.6]	—	破片	白粒	良好	灰	
152	23	SD	213	須恵器	長頸甕	—	[11.6]	—	1/4	砂粒 白粒	普通	灰白	同一個体
152	24	SD	213	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	平行叩きカキ目
152	25	SD	213	土師器	甕	19.7	[21.3]	—	1/3	雲 礫	普通	橙	40
153	1	SD	214	須恵器	環	10.1	3.9	4.9	成形	雲 角 赤粒 針	普通	灰黄褐	40
153	2	SD	216	土師器	環	(13.0)	[2.6]	—	破片	角 赤粒 白粒	普通	橙	
153	3	SD	216	土師器	鉢	(16.0)	8.2	5.0	1/3	雲 赤粒 白粒	普通	橙	41
153	4	SD	218	土師器	埴	—	[3.3]	4.0	底部のみ	角 砂粒 礫	普通	橙	赤彩
153	5	SD	218	土師器	高環	—	[9.4]	(13.4)	脚部のみ	雲 角 赤粒	普通	にふい赤褐	41
153	6	SD	220	土師器	環	(12.6)	3.4	—	2/3	雲 小石	普通	にふい橙	北武蔵型環、赤彩
153	7	SD	220	土師器	環	(11.7)	[3.1]	—	破片	雲 砂粒 赤粒	普通	赤とにふい褐	赤彩
153	8	SD	220	土師器	環	(12.0)	[3.0]	—	破片	雲 長石 赤粒	普通	橙	
153	9	SD	220	土師器	環	(9.6)	2.4	—	1/3	雲 角 長石	普通	橙	
153	10	SD	220	須恵器	高環	(15.0)	[1.9]	—	破片	雲 針	良好	黄灰	
153	11	SD	220	土師器	高環	—	[4.9]	—	脚部のみ	石英 砂粒	普通	橙	
153	12	SD	220	土師器	甕	(23.6)	[6.3]	—	口縁破片	雲 赤粒 黒粒	普通	褐灰	
153	13	SD	220	土師器	甕	(14.0)	[6.9]	—	破片	角 砂粒	不良	灰赤	
153	14	SD	220	土師器	甕	23.2	37.5	—	4/5	赤粒 白粒 礫	普通	灰黄	
153	15	SD	221	土師器	小型甕	(15.0)	[4.7]	—	破片	雲 砂粒	普通	褐	
153	16	SD	221	土師器	環	(12.9)	[3.9]	—	破片	雲 砂粒	普通	褐	有段口縁環
153	17	SD	221	土師器	環	(13.8)	[2.5]	—	破片	砂粒	普通	褐	
153	18	SD	222	須恵器	甕	(13.9)	[1.4]	—	破片	片 石英 赤粒	普通	にふい黄緑	木野産
153	19	SD	222	土師器	環	(11.7)	[2.7]	—	破片	雲 角 砂粒	普通	橙	北武蔵型環
153	20	SD	222	須恵器	環	—	[1.2]	(6.8)	破片	針	普通	青灰	外周へラ削り
153	21	SD	222	土師器	環	(12.0)	[3.4]	—	破片	雲 砂粒	普通	にふい橙	北武蔵型環
153	22	SD	222	土師器	環	(13.6)	[3.6]	—	破片	長石 砂粒	普通	褐	北武蔵型環
154	1	SD	224	灰釉陶器	小瓶	—	[2.3]	4.9	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東濃
154	2	SD	224	灰釉陶器	長頸瓶	—	[5.0]	(8.6)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	浜北
154	3	SD	229	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	
154	4	SD	229	須恵器	環	—	[1.3]	6.4	底部のみ	雲 針	良好	灰	
154	5	SD	229	須恵器	高台付埴	—	[3.1]	(8.8)	破片	雲 角 石英 砂粒	普通	橙	クロコ土師
154	6	SD	231	土師器	鉢	(19.0)	[8.3]	—	破片	雲 砂粒 石英 赤粒	普通	橙	砂粒子多し
154	7	SD	231	土師器	甕	—	[2.3]	(7.6)	底部破片	石英 砂粒	普通	黒	砂粒子多し
154	8	SD	233	土師器	高環	—	[8.5]	—	脚部のみ	雲 角 赤粒	普通	橙	41

第48表 溝跡出土遺物観察表 (13)

神田番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
154	9	SD	234	土師器	壺	(18.8)	[5.2]	—	破片	雲 石英 砂粒	普通	赤褐	口縁内外赤彩	
154	10	SD	238	土師器	環	(10.2)	[2.3]	—	破片	雲 角 長石	普通	橙	北武藏型環	
154	11	SD	238	須恵器	皿	—	[9.3]	—	口縁欠損	石英	普通	黒灰	緑丸へろ器[-]	41
154	12	SD	240	かわらけ	地	(8.0)	[1.7]	—	破片	砂粒	不良	にふい黄緑	砂質	
154	13	SD	250	土師器	土師	(10.8)	[3.4]	—	1/5	雲 角 赤粒 黒粒	普通	明赤褐		
154	14	SD	244	石製品	支脚	長さ[11.1]径4.7								41
154	15	SD	249	土師器	環	(10.2)	[2.5]	—	破片	雲 角	普通	にふい褐	放射状暗文	
154	16	SD	249	土師器	環	(12.6)	[3.0]	—	1/5	雲 角	普通	明赤褐		
154	17	SD	260	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	暗灰		
154	18	SD	263	土師器	環	(16.4)	[2.8]	—	破片	雲	普通	明褐	模倣環	
154	19	SD	263	土師器	環	(12.3)	[4.2]	—	1/3	赤粒 白粒 黒粒	不良	暗灰黄	身模倣環	
154	20	SD	263	土師器	小型壺	(7.0)	[5.2]	—	1/4	雲 砂粒	不良	明赤褐		
155	1	SD	253	須恵器	蓋	—	[2.5]	—	1/3	白粒 針	良好	青灰	高台が剥落	
155	2	SD	253	須恵器	環	(12.2)	3.9	(6.6)	1/4	赤粒 針	良好	暗灰		42
155	3	SD	253	須恵器	環	(10.8)	3.1	(5.0)	1/3	角 針	??良	灰白	内外面黒斑	42
155	4	SD	253	須恵器	環	(12.5)	4.5	5.7	2/3	赤粒 白粒 針	不良	黒		42
155	5	SD	253	須恵器	環	12.6	4.4	5.0	ほぼ完形	白粒 針 黒粒 體	普通	灰		42
155	6	SD	253	須恵器	環	(11.4)	3.4	5.0	2/5	長石 赤粒 針 黒粒	普通	灰黄		42
155	7	SD	253	須恵器	環	—	1.5	6.4	底部のみ	長石 針	普通	灰褐	比企産	
155	8	SD	253	須恵器	高台付壺	—	2.1	7.1	底部のみ	雲 石英 砂粒	普通	にふい黄緑	ロクロ土師	
155	9	SD	253	須恵器	高台付壺	—	3.7	6.0	1/3	角 赤粒 白粒	普通	浅黄橙	ロクロ土師	
155	10	SD	253	須恵器	高台付壺	(13.2)	4.9	7.4	1/2	角 石英 赤粒 白粒	不良	褐灰	ロクロ土師	42
155	11	SD	253	須恵器	高台付壺	(12.6)	5.1	6.1	1/3	長石 赤粒 白粒 針	普通	灰		42
155	12	SD	253	須恵器	皿	(13.7)	2.0	(6.0)	破片	白粒 黒粒	普通	灰白		
155	13	SD	253	緑釉陶器	壺	—	—	—	破片	黒粒	普通	灰白	尾北	46
155	14	SD	253	緑釉陶器	壺	—	—	—	破片	白粒	良好	灰 黒トリーブ	尾北	46
155	15	SD	253	灰釉陶器	長頸瓶	—	[1.5]	(10.6)	破片		良好	灰 黒トリーブ	東濃	47
155	16	SD	253	須恵器	甕	—	—	—	破片	角 白粒 針	良好	灰		
155	17	SD	253	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒 小環	良好	灰	無文当て具	
155	18	SD	253	須恵器	甕	—	10.3	—	破片	白粒	良好	青黒	青海波文	
155	19	SD	253	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	青黒	未野産	
155	20	SD	253	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	回転へろ削り	
155	21	SD	253	石製品	未製品	長さ[3.1]幅2.9厚さ0.7			破片				滑石片	45
155	22	SD	253	鉄製品	容器	長さ2.5幅3.3厚さ0.5			破片				重さ20.6g	
155	23	SD	253	土製品	土錘	長さ7.4幅4.0孔径1.0			完形	雲 角 白粒	普通	黒		45
155	24	SD	253	土製品	土錘	長さ7.0幅2.3孔径0.7			ほぼ完形	雲 角 白粒	普通	淡橙		45

7. グリッド・表採

東側調査区から検出した遺構外の遺物は、グリッド及び表採扱いとして報告する。

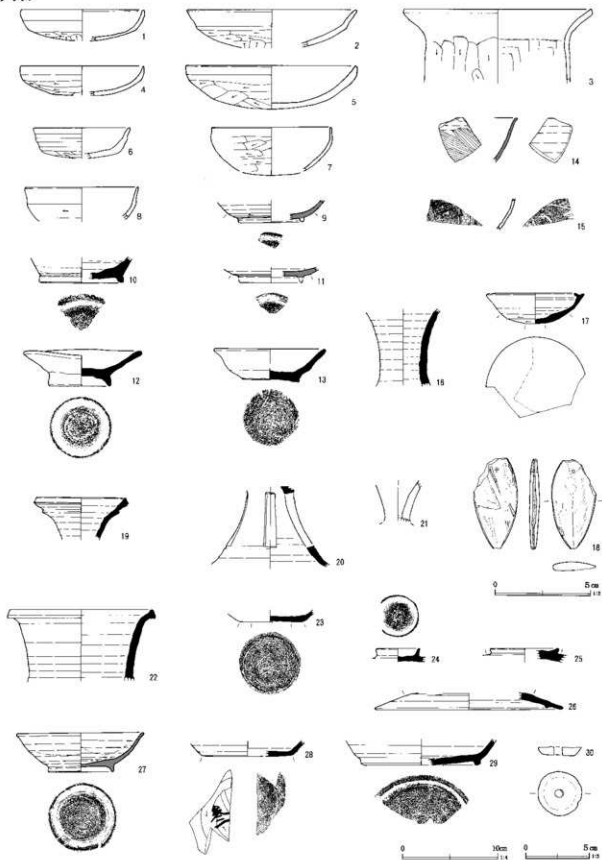
グリッド出土遺物は、第156図1～30である。1・4～8は土師器環である。3は土師器甕である。9・11・27は灰軸陶器である。14は緑軸陶器、15は青磁碗である。18は石製模造品の剣型品である。30は石製紡錘車で上半を欠損する。それ以外は須恵器である。12は高台付埴、13・23・28は坏で、28の底部外面には「参」と記された黒書が残る。17は湖西産須恵器坏身である。16・19・21・22は壺である。16は長頸壺の頸部、19はフラスコ形壺の口縁部と見られる。20は四方透かしの高坏脚部である。24～26は蓋である。29はデッチリタイプの高台付埴である。

表採遺物は、第157図1～39である。1～5は弥生後期から古墳初頭段階と考えられる。1・2は頸部に簾状文を施す。4は口縁部が内面に折り返され、外面に刷毛目が見られる。5は頸部外面に縄文を施す。6～11は土師器環である。14・15・18・23～26は灰軸陶器である。24の底部外面には「東□」と記された黒書が見られる。12・13・17・21・22・28～30は須恵器である。13は高台が非常に高い。21は長脚二段と考えられる高坏の身である。30は鉄鉢模倣の鉢で、口縁部外面に沈線が巡る。27は中世の陶器である。31～33は柳型滓である。35は石製品の未製品とみられる。34は石製紡錘車、36～39は土鐘である。いずれも小型で細い。

第49表 グリッド・表採出土遺物観察表 (1)

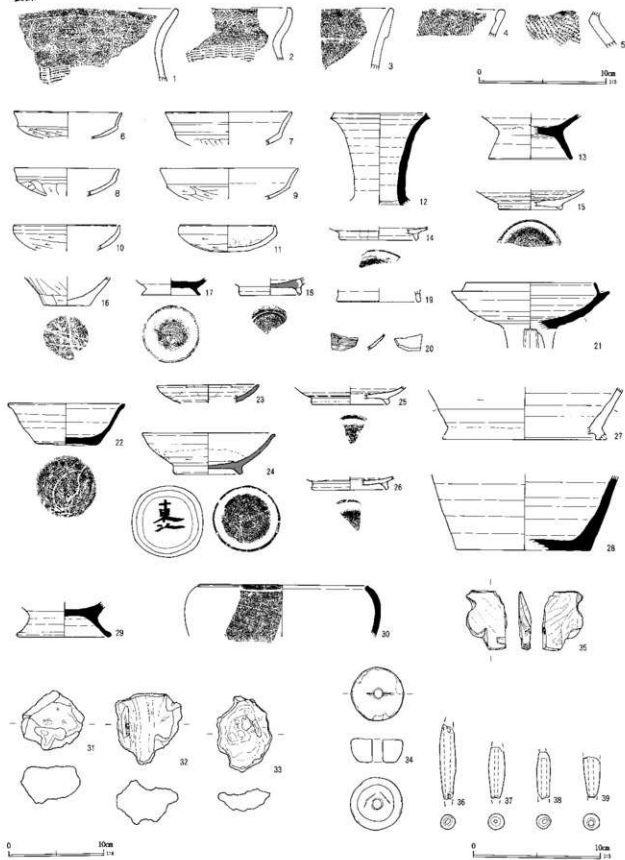
探検番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
156 1	H	14	土師器 環	(13.0)	[3.2]	—	1/4	雲 角 赤粒	普通	にぶい橙		
156 2	H	15	土師器 皿	(17.9)	[4.0]	—	1/3	角 石英 白粒	普通	橙		
156 3	H	8	土師器 甕	(19.8)	[7.9]	—	口縁1/4	雲 白粒	普通	にぶい黄橙		
156 4	I	11	土師器 環	(13.0)	[3.1]	—	1/4	雲 角 石英 白粒 針	普通	橙		
156 5	I	15	土師器 環	(18.0)	[5.0]	—	1/4	雲 角 石英	普通	橙		
156 6	I	14	土師器 環	(10.2)	[3.2]	—	1/4	雲 砂粒 赤粒	普通	橙	有段口縁環	43
156 7	I	14	土師器 環	(12.6)	[4.7]	—	1/5	雲 角 石英 白粒 針	普通	橙		
156 8	I	17	土師器 環	(12.0)	[3.4]	—	—	破片 雲 角 赤粒 白粒	不良	にぶい橙		
156 9	I	16	灰軸陶器 埴	—	[2.4]	(6.9)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東遺	48
156 10	I	15	須恵器 長頸瓶	—	[2.7]	(9.0)	破片	白粒 黒粒	普通	黄灰		
156 11	I	16	灰軸陶器 埴	—	[1.2]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	松川屋少? 東遺	48
156 12	I	15	須恵器 高台付埴	12.3	3.7	6.6	4/5	角 赤粒 白粒 黒粒 小磯	普通	にぶい橙	小磯(白色)多	43
156 13	I	15	須恵器 高坏	11.8	3.3	6.0	(ほぼ)完形	雲 長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰黄		43
156 14	I	16	緑軸陶器 埴	—	—	—	破片	白粒 黒粒	普通	瓦 緑系ナベ	尾北	46
156 15	I	15	青磁 碗	—	—	—	破片	黒粒	良好	灰白		44
156 16	I	15	須恵器 長頸壺	—	[8.0]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	自然粘付着	43
156 17	I	14	須恵器 坏身	(10.0)	3.2	—	2/3	白粒	良好	灰	自然粘。湖西	43
156 18	I	16	石製模造品 剣型品	長さ[4.6]	幅2.3	厚さ0.5	3/4	滑石	—	—		45
156 19	J	13	須恵器 フラスコ形	(9.4)	[4.5]	—	破片	黒粒	良好	灰白		
156 20	J	8	須恵器 高坏	—	[8.5]	—	脚部1/4	白粒 針	普通	青灰	二段四方透かし	
156 21	J	17	須恵器 壺	—	4.4	—	口縁破片	白粒	普通	灰	内外面灰粘	
156 22	K	14	須恵器 壺	(15.0)	[7.6]	—	口縁1/2	白粒 針	普通	灰		
156 23	K	13	須恵器 坏	—	[1.3]	6.7	底部のみ	白粒 針	良好	灰	外周回転ヘラ	
156 24	K	14	須恵器 蓋	つまみ径4.7	—	—	つまみ	針	普通	青灰		
156 25	K	14	須恵器 蓋	つまみ径(7.2)	—	—	つまみ	白粒	良好	灰	秋間産	
156 26	K	14	須恵器 蓋	(19.4)	1.8	—	破片	白粒	良好	灰白	秋間産	
156 27	L	13	灰軸陶器 埴	(13.5)	4.1	6.9	2/3	長石 白粒 黒粒	良好	灰白	内面非凸底? 東遺	43
156 28	L	16	須恵器 坏	—	[1.6]	(9.6)	破片	針 黒粒	良好	灰	黒書「参」	43
156 29	L	14	須恵器 高台付埴	—	[2.7]	12.8	底部1/3	雲 石英 白粒	普通	青灰	藤岡	
156 30	L	16	石製品 紡錘車	径3.5	厚さ0.7	—	1/2	—	—	灰白	滑石	44

グリッド



第156図 グリッド・表採出土遺物 (1)

表採



第157図 グリッド・表採出土遺物(2)

第50表 グリッド・表採出土遺物観察表 (2)

検出番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版	
157 1	SD	80	弥生土器	甕	—	[5.6]	—	破片	角 白粒 黒粒	普通	褐灰	51	
157 2	SD	80	弥生土器	甕	—	—	—	破片	角 白粒 黒粒	普通	灰黄褐	51	
157 3	SD	80	弥生土器	壺	—	[4.8]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄粒	赤彩	51
157 4	SD	80	弥生土器	壺	—	[2.2]	—	破片	角 赤粒 白粒 黒粒	普通	明赤褐	東区中央	51
157 5	SD	80	弥生土器	甕	—	[2.8]	—	破片	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄粒	51	
157 6	SD	162	土師器	坏	(11.4)	—	—	破片	角 石英 白粒	普通	橙		
157 7	SD	162	土師器	坏	(13.4)	[3.5]	—	破片	雲 角	普通	にぶい黄粒	黒色	
157 8	SD	162	土師器	坏	(11.2)	[3.0]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
157 9	SD	162	土師器	坏	(14.8)	[3.4]	—	破片	角 白粒	普通	にぶい黄粒		
157 10	SD	162	土師器	坏	(11.2)	[2.8]	—	破片	角 石英 赤粒 白粒	普通	橙		
157 11	SD	253	土師器	坏	(10.0)	2.8	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい褐	43	
157 12	SD	94	須恵器	長頸瓶	(9.8)	[9.8]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	47	
157 13	SD	21	須恵器	高台付埴	—	[4.8]	—	破片	白粒 黒粒	普通	灰		
157 14	SD	94	灰釉陶器	埴	—	[1.5]	(8.2)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東濃	48
157 15	SD	21	灰釉陶器	埴	—	[2.2]	(6.7)	1/5	長石 黒粒	良好	灰白	東濃江	48
157 16	SD	95	土師器	甕	—	[3.1]	4.6	底部	雲 石英 砂粒	普通	にぶい黄粒	木梨殿、黒鹿	
157 17	SD	179	須恵器	高台付埴	—	[1.8]	(6.3)	底部のみ	雲 針	良好	灰	南比金産	
157 18	SD	94	灰釉陶器	埴	—	[1.4]	(6.4)	破片	石英 白粒 黒粒	良好	灰白	東濃江	48
157 19	SJ	62	緑釉陶器	埴	—	[1.3]	(8.9)	破片	白粒 黒粒	普通	瓦色チーフ	東濃	46
157 20	SJ	58	緑釉陶器	埴	—	—	—	破片	黒粒	良好	瓦色チーフ	尾北	46
157 21	SD	179	須恵器	有蓋高坏	(13.7)	[4.9]	—	破片	石英 白粒	良好	黄橙	透し(四方?)	
157 22	表採	須恵器	坏	12.4	4.4	6.4	ほぼ完形	赤粒 黒粒	不良	灰		43	
157 23	表採	灰釉陶器	皿	(10.9)	[1.9]	—	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東濃	48
157 24	表採	灰釉陶器	埴	14.2	4.4	7.4	4/5	白粒	良好	灰白	京都墨書 浜北	43	
157 25	表採	灰釉陶器	埴	—	[1.9]	(8.0)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	浜北		
157 26	表採	灰釉陶器	皿	—	[1.4]	(7.9)	破片	長石 石英 黒粒	良好	灰白	東濃	48	
157 27	表採	中世陶器	壺	—	[5.6]	—	—	破片	雲 赤粒 黒粒	普通	灰白		
157 28	表採	須恵器	甕	—	[8.0]	14.3	底部1/4	白粒 針	普通	灰			
157 29	表採	須恵器	高台付埴	—	[3.7]	10.0	1/5	雲 角 白粒	普通	灰白			
157 30	表採	須恵器	鉢	18.0	5.5	—	—	破片	石英 針	普通	黒灰		
157 31	表採	鉄滓	椀型滓	長さ6.0	幅(6.4)	厚さ(3.8)	—	—	—	—	重さ149.4g	50	
157 32	表採	鉄滓	椀型滓	長さ(7.5)	幅(6.5)	厚さ(4.7)	—	—	—	—	重さ188.1g	50	
157 33	表採	鉄滓	椀型滓	長さ8.0	幅5.6	厚さ2.0	—	—	—	—	重さ123.4g	50	
157 34	表採	石製品	紡錘車	径4.1	厚さ1.8	—	—	—	—	—	—	44	
157 35	表採	石製品	滑石片	長さ6.2	幅4.2	厚さ1.2	—	—	—	—	—	45	
157 36	表採	土製品	土鎌	長さ[5.9]	幅1.2	孔径0.5	3/4	雲	普通	明赤褐		44	
157 37	表採	土製品	土鎌	長さ[4.0]	幅1.3	孔径0.2	1/3	雲	普通	にぶい赤褐		44	
157 38	表採	土製品	土鎌	長さ[3.8]	幅1.1	孔径0.4	1/2	雲 白粒	普通	褐	孔貫通しない	44	
157 39	表採	土製品	土鎌	長さ[3.3]	幅1.3	孔径0.4	1/2	赤粒 白粒	普通	橙		44	

8. 第2次調査東区出土遺物の自然科学分析

(1) 下田町遺跡出土の獣骨類の同定

埼玉県立自然史博物館

1. 試料

試料は、平成13年度発掘調査を行った下田町遺跡東側調査区の遺構から検出した獣骨類を対象として同定した。遺跡は、古墳時代後期から奈良・平安時代、中世にわたる複合遺跡である。獣骨類は、住居跡、井戸跡、溝跡、ピットから出土し、24点を数えた。試料は図版52に写真を掲載した。

2. 分析方法

試料を肉眼観察およびルーペで観察し、形態的特長から、種類および部位の特定を行う。なお、分析は埼玉県立自然史博物館の坂本治氏に依頼し分析していただいた。

3. 結果

分析の結果、歯は馬であることが明らかとなった。また、第115号井戸跡検出の骨はホンシュウジカの上顎であることが明らかとなった。その他の骨は不明である。

1は古墳時代後期の第21号溝跡から出土したウ

マの臼歯片である。2～7は古墳時代後期の第80号溝跡から出土し、種は不明であるが2の部位は大腸骨で、他は骨片である。8・9は古墳時代後期の第89号・第163号溝跡から出土し種は不明である。10は奈良時代の第175号溝跡から出土した臼歯である。11～15、23は平安時代の第253号溝跡から出土したウマの歯である。11は臼歯エナメル片、12は右上臼歯、13、15は上顎歯、14は下顎歯、23は顎歯である。16は平安時代のP1090から出土したウマと見られる足根骨で、緑釉陶器塚と共伴する。17は平安時代の第115号井戸跡から出土したホンシュウジカの右上顎である。供伴する遺物は、灰釉陶器塚・須恵器塚・壺・羽釜のほか、椀型滓・曲物がみられる。18は第54号住居跡出土のウマの臼歯である。19～21、24は第55号住居跡出土の骨片及びウマの下顎骨片である。22は古墳時代後期の第94号溝跡から出土したウマの顎歯である。

下田町遺跡東区出土骨の種別同定

資料番号	遺構名	分類名称	部位	時期	写真図版番号
1	SD-21	ウマ	臼歯片	鬼高	52
2	SD-80 (J-7・8G)	不明	大腸骨頭	鬼高	52
3	SD-80	不明	骨片	鬼高	52
4	SD-80	不明	骨片	鬼高	52
5	SD-80中央	不明	骨片	鬼高	52
6	SD-80中央	不明	骨片	鬼高	52
7	SD-80西寄	不明	骨片	鬼高	52
8	SD-89 (K-8G)	不明	骨片	鬼高	52
9	SD-163 (J-7G)	不明		鬼高	52
10	SD-175 (L-16G)	不明	臼歯複数	奈良	52
11	SD-253	ウマ	臼歯エナメル片	平安	52
12	SD-253	ウマ	右上臼歯	平安	52
13	SD-253	ウマ	上顎歯	平安	52
14	SD-253	ウマ	下顎歯	平安	52
15	SD-253	ウマ?	上顎歯	平安	52
16	P1090	ウマ?	足根骨	平安	52
17	SE-115	ホンシュウジカ	右上顎	平安	52
18	SJ-54, P4	ウマ	臼歯片	古墳後期	52
19	SJ-55	不明	骨片	古墳後期	52
20	SJ-55	不明	骨片	古墳後期	52
21	SJ-55	ウマ?	下顎骨片	古墳後期	52
22	SD-94	ウマ	顎歯	鬼高	52
23	SD-253	ウマ	顎歯	平安	52
24	SJ-55	不明	骨片	古墳後期	52

(2) 下田町遺跡東区出土木製品の樹種同定

下田町遺跡第2次調査東区から出土した出土した木製品の樹種同定について報告する。すでに本編の詳細については、埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書第296集に掲載した。ここでは、東区出土の木製品にかかる樹種同定について抜粋して報告する。なお、分析内容は分析者高橋 敦に平成15年度委託した。

1. 試料

試料は、井戸跡や溝跡などから出土した22点である。各試料の詳細は、樹種同定結果と共に表に記す。

2. 分析方法

剃刀の刃を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切片を製作し、

バリノ・サーヴェイ株式会社

ガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレバラートを作製する。作製したプレバラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

3. 結果

樹種同定結果を表1に示す。木製品は、針葉樹5種類(モミ属・スギ・ヒノキ・イヌガヤ・カヤ)と広葉樹8種類(コナラ属コナラ亜属クヌギ節・コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属アカガシ亜属・クリ・ヤマグワ・カツラ・サカキ・トネリコ属)に同定された。各種類の解剖学的特徴等を記す。

表1 樹種同定結果表

図版番号	種類	遺構番号	木取	樹種	出土位置	備考
46	1	柱	SJ 67	ミカン割	コナラ属コナラ亜属コナラ節	P4
62	2	柱根	SB 27	半裁	カヤ	P5、No1
74	6	板	SE 103	板目	ヒノキ	I-15G
74	7	板	SE 103	柾目	スギ	I-15G
74	8	枕	SE 103	断面藩鋸型	コナラ属アカガシ亜属	I-15G
74	9	板	SE 103	断面藩鋸型	コナラ属アカガシ亜属	I-15G
74	10	板	SE 103	板目	スギ	I-15G
75	5	井戸枠横木	SE 103	角材：柾目	ヒノキ	
76	4	井戸枠	SE 103	芯近くの板目板	モミ属	Na3、南西
87	20	木槌(身)	SK 179	角材、芯持	スギ	Na1
87	20	木槌(柄)	SK 179		イヌガヤ	
94	1	竖柱	SK 181	丸木	サカキ	K-10G
未掲載		棒状品	P 881	板目	ヒノキ	
103	12	柱	P 1311		ヒノキ	H-16G
132	149	下駄	SD 80		ヒノキ	東区No319
132	150	横柱	SD 80	丸木	ヒノキ	東側調査区
132	151	板	SD 80	柾目	スギ	東区西壁
133	152	板	SD 80	柾目	コナラ属アカガシ亜属	J-8G、No26
133	153	板材	SD 80	柾目	スギ	
133	154	板材	SD 80	板目	モミ属	J-8G、No26
133	155	槽	SD 80		スギ	
133	156	棒	SD 80		モミ属	Na327
						天びん棒か?